昭和29年度

事 業 成 績 書

水産廳 北海道さけ・ますふ化場

刊行のことば

北海道の鮭鱗増殖事業が国に移管されてから、3年を迎え、ここに昭和29年度の事業成績 書を刊行するに至りました。

顧りみるに本年度の鮭鰐増殖事業は北洋、北緯47度以南鮭鰐流網漁業そして道内沿岸の 豊漁と併行し、河川内における親魚の拆上も良好で、捕獲数は385,796尾に上り、又採卵数 においては334,235,400粒という戦前戦後を通じて最高の成績を挙げることができました。

このような成果を得ましたことは関係各位の絶大な御協力の賜であると深く感謝するとこ ろであります。

本書は孵化事業の全貌を知つて戴くとともに、この事業に対しての御理解と御批判とをお願いするものであります。又本書の内容については、未だ意に満たぬところもありますが、 諸賢の御指導、御鞭撻を賜われば之に過ぎる幸はないと存じます。

昭和30年12月1日

北海道さけ・ますふ化場長

荒 井 定 治



本場新庁舍

--- 庁 舍 概 要 ---

- 1. 敷地, 札幌郡豊平町字中の島, 昭和29年3月31日竣功
- 2. 坪数, [階 340.56m², 2階 326.52m², タンク室 16m²
- 3. 構造,鉄筋コンクリート造2階建
- 4. 外部仕上,壁モザイクタイル,屋根防水モルタル
- 5. 内部仕上, 床人造石研及リグノイド, 一部タイル貼, 壁プラスター, 天井トマテックス, 一部 モルタル
- 6. 附带設備, 煖房, 給排水, 衞生, 電気, 電話, 消火栓

Contract of the Contract of th		*	14.

根室支場新庁舍

--- 庁 舍 概 要 ---

- 1. 敷地,標津郡中標津町,昭和27年9月30日竣功
- 2. 構造,木造亞鉛鍍鉄板葺,平家建, [棟
- 3. 坪数, 41坪
- 4. 外部仕上, 腰人造石洗出し, その他モルタル吹付
- 5. 内部仕上、床フローリング、モルタル固地仕上、壁漆喰塗、天井テックス打揚 従来の虹別支場は支場としての位置が地勢上僻遠のため、管内の統轄に種々の支障があつたので 事業場に変更し、支場は昭和27年10月新たに根室支場として上記の通り設置したのである。

水産庁 北海道さけ・ますふ化場事業成績書

目 次

	まえ	_ がき
1.	鮭鱒	捕獲事業実施体制1
2.	鮭鱒	孵化放流事業実施体制······2
3.	鮭鱒	孵化場の予算並に現員
4.	鮭鱒	漁業の概況
5.	鮭増	殖事業
	(1) 鮭均	曾殖事業概況
	(2) 技術	新的問題点及び分析······ 6
	※ §	付 表
	1	支場別鮭親魚捕獲採卵成績比較表 9
	2	支,事業場別鮭親魚捕獲採卵成績表10
	3	支場別鮭孵化放流成績比較表12
	4	支,事業場別鮭孵化放流成績表12
	⑤	海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績表16
	6	海区水系别鮭孵化放流成績表22
6.		殖事業概況 ······-26
		曾殖事業概況26
	(2) 技術	析的問題点及び分析26
	※ β	
	桜	鱘27
	1	支場別桜腳親魚捕獲採卵成績比較表28
	2	支,事業場別桜鱘親魚捕獲採卵成績表28
	3	支場別桜鱘孵化放流成績比較表29
	4	支,事業場別核鱏孵化放流成績表29
	⑤	海区水系別桜鰤親魚捕獲採卵成績表30
	6	海区水系別桜鱘孵化放流成績表······32
	樺	太 鱒
	1	文場別樺太騁親焦捅獲採卵成績比較表····································
	(2)	女,带来物川慄众鹏柷思珊暧秌卵双穓衣

	(3)	支場別樺太鱘孵化放流成績比較表	34
	<u>4</u>	支,事業場別樺太鱘孵化放流成績表	35
	⑤	海区水系別棒太鱘親魚捕獲採卵成績表	36
	6	海区水系別樺太鱘孵化放流成績表	38
	桜鱎	尊,樺太鱘合計表	38
	1	支場別桜鱘樺太鱘親魚捕獲採卵成績比較表	38
	2	支場別桜鱒,樺太鱘捕獲採卵成績台計成績表	38
	3	支場別桜鱘,樺太鱘孵化放流成績合計比較表	39
	4	支,事業場別桜鱒,樺太鱒孵化放流成績合計成績表	40
	⑤	海区水系別桜鱒,樺太鱒親魚捕獲採卵合計成績表	40
	6	海区水系別桜鱒,樺太鱘孵化放流合計成績表	40
7.	鮭鱒	親魚蓄養成績	45
(1)	鮭鱒	尊蓄養池状況調査概況	45
	※ 肾	付 表	…4€
	,	鮭親魚蓄養池状泥調査一覽表	• •46
(2)	鮭鰈	尊親魚蓄養成績概要	50
	※ 附		
	1	鮭親魚蓄養成績表	
	2	桜鱘親魚蕎養成績表	
	3	樺太鱘親魚蓄養成績表	60
8.	鮭鱒.	卵の移殖	62
(1)	鮭鯾	尊卵移殖概要	
	※ 14		
		鮭卵移殖概要	
(2)	桜鰾	尊卯移殖概要	
-	× 14	粉	65
		桜鱒移殖概要 ·····	65
(3)	調査	査試験及び広報用分讓卵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	66
9.	陸封	性鱒増殖事業(姫鱒)	66
0.	広報	及活動	67
11.		及び試験	
 1 9	松	4	

まえがき

昭和28年,災禍によつて失はれた庁舎の本館も本省並に北海道の御理解ある御助力と関係諸団体の御協力により,本年3月,よりよいものが完成されましたので,その写真を掲載し,衷心より感謝の意を表する次第であります。

幸にも本年度の鮭鱒捕獲採卵は道内増殖としては最高の成績を示したことを特記すると共に, この二重の喜びを意義あらしめるため倍旧の努力を尽すべく努めておりますのでより一層の御指 導と御鞭撻をお願い致します。

なお、本書はその版を改めましたが、これは現行の諸様式が横書になつたことと、表、或は表現上の便宜から昭和2年以来の従来の形を改めたもので、今後はこの型式によることを予定しております。

1. 鮭鱒捕獲事業実施体制

昭和29年度鮭鱒の捕獲採卵事業は、道内 65 河川で、95ヵ所の捕獲採卵場をもつて実施された。 その実施方法は従来通り北海道知事及び民間諸団体を対象とした委託捕獲をもつて行つた。その 詳細は下表の通りである。

昭和29年度鮭鱒捕獲事業実施体制

			•		^		1		_ 美	き施	区	分				Τ			Ι		3	き施	X	分
海区	才	ζ.	矛	£	采卯	場	1	業場	25	け	ま	す	海区	水	系	ł	采卵	場	事	業場		け	ŧ	す
	<u> </u>			,		_			道	民間	道	民間	<u>i </u>	<u> </u>					<u> </u>		道	民間	道	民間
		(北	見	支	場)) .							_*	(₹	: 塩	支	場)							!
	ル	シー	r JI	11	シ	ヤ	岩					0	7	風烈	布川)))	烈	布	德:	志別		1	0	
才	岩	尾兒	川川	岩	尾	别	,	,	0		0		ッ	德 志	別川	[德	志	别		//				0
	布	別	Л	海		别	斜	里				0	7	幌力	川 川	山幌		别	歌	登	0	ĺ	O	ĺ
=	斜	里	Л	 斜		里	,	"			0		海	,	,	_	本	松		//		0		0
	止	別	Л	14		别	,	"			0		区	頓牙	川川			別	頓	别	0		0	
y	藻	琴	Л	藻		琴	藻	琴			0				 	.!. . _				'	i 1	! <u></u>		l
	網	走	Л	網網		走	網	走		0				天生	簋 川	天		塩	天	塩		0		
		//		· 四	網	走	西約	問走					日日	,	′	筬		鳥		"		0		
ŋ	常	몸	Л	常		呂	٦٢	見		0					7		穗	内		"			0	
		//		端		野		,			i		本	,	,	美		深		"				
	佐	呂間	9 11	佐		間	湧	别		0				信石	少月	[信		砂	増	毛				0
海	湧	别		中		別	,			0				暑寒	别月	暑	寒	别		"	0		0	
	猪	滑		元		西		滑					海	(1	歳	支	場)	!						
X	邇	部	•	翔		部	興	部						石筝	字 川	日石		狩	千	歳		0		
_	雄	武	ĴТ	1		武	幌	内			3	o l	X	,	,	豐		平	,	,, .		0		
	幌	内	JI	幌		内	,	,	0		0		-		7 .	漁		Л	,	"	0			

_ 1 _

	l .			 .			<u> </u>		美			分		Ι.					Ι		美			分
海区	水		系	ŧ	采卵	場		美場	さ	けり	•	<u>す</u> 民間	海区	水		系	採	卵場	事.	業場	き通	け民間	ま	す民間
	石	衍	Щ	西		越	1	歳	O	, DC, IEU	ᄹ	<u> </u>	<u> </u>			勝	*	性 /	'			I I CITT	<u>人足</u> !	M.H
	1 13	<i>1</i> /1	711			幽湖	ı		O		0			尾	幌	. נכנו [[[太	田	0		. !	
日		"		洛音		ZT.	香) []						740	1)ti	/'1		元 民辺牛	ļ	// //		0	İ	
		"		_	神	楽	H	.		0			襟	3 11	路	Ж	////a (雪		鵤	"居		0		
					場		"						12.	1 39711	// //	<i>)</i> ''1	茅		(1) (1)	路		0	İ	0
本	尻	別	, , ,,,, 		-201	名	尻	591J		0		0		阿	寒	Щ	阿		阿	寒		0		0
	ν.	11	7.1	順		越	,		0		0		裳	茶	路	<i>Л</i> П	茶	路		糠		0		0
海		"		目			,					0		香	别	Л	香	5U	i	//		0	 i	
	朱	太	Ж	作		開	朱	太	0		0		以	+	勝	Л	打		 - -	勝		0		
	利	别	Л	冷		水	利	別	0					ļ .	11	<i>,</i>	利	H	1	别		0	:	
区		//	7.1			羽	,		0				東		"		幕	50 50		,,,	İ	0		
•	厚	沢部	, 111, 5				厚砂	쑒	0				1	1	"		1	代田	+	勝	0		'	
				_			1								"		東	15 号	幕	别	ĺ	0		
		(裉											海		"		東	12 号	札	/J		0	i	
	ŀ	ンルノ					羅	日	:			0			"		酒	3 号		"	ļ i	0	:	0
		日		羅		日	"	′		0		0	IX		"		番	更	ĺ	<i>,,</i>		0		
411		切古力					^			0		0	i		"		札	内		"		0		
衱	植	别 ():**		植一		別	黨	別		0		0,		歴	舟	Щ	歷	舟	大	樹		0		
	1	关無!		1			/			0		0		広	尾	Ш	広	尾		"	İ	0	į	
	1	無異			無		′			0		0	! !	.	(千	歳	支	塩)	-		<u>.</u>			
	薫	别	川 川	旗		別	/			0		! !		幌	別		幌		幌	SII	<u> </u>	0		
室		多概			多	糠	/ 			0		0	襟	元	浦			浦河			i O			
	忠	類]]] - 111	1		類	伊系							三	石		三			石	1 _			
	1 -	茶仁		1	茶		rfs fi		0			0	篡	一静	内内		一静	内	1	内	0			
	標	伴	Щ			佐ナ	中核		0	0				新	冠		新		新	冠	İ	0		
		"		チ		津					0		以	鵡		Щ	鴔	Л		"		0		
海	当	幌	Л	標当		伴幌	١.		0	0		0		勇	払	•	剪	払	1	払		0		
	春	别		春		别	ł	y Y		0		0	西	日	老		日		白	老	:	0		
	床	丹	ا <i>بر</i> [ال	1		州				0		0		敷	生		敷		敷	生.	F	0		
	西	別		14		線	1.	别	0		0		砸	1	(渡 万·à		支 1.長	場) 万部	展	万学	0			
_		נים. וו)'I		「 í 春		l	ע נינג	0	1	0		.~	1 .		多川		楽部	1		0		0	
区	風	蓮]]]	画		蓮	浜	· 中		0		0	区	落)II	1. —	部		//	-	0		
	:==	X2E	711	1		光 別	1	. ' '	ļ 1	0			_	1.			1	辺地	1	内	Į 1	0		
	맭	″ 当貨	9][[1				床		0		0	i	知	内	Щ	知	內		//	1	0		
•	יית	=1	< <i>/</i> //	厚		床	1	"		0			2t	6	5水剂	释, 9	5採	卵場		_	25	61	18	30

2. 鮭鱒孵化放流事業実施体制

昭和29年度に人工孵化放流事業を実施した河川は50水系で事業実施個所は官営孵化場51個所, 民営孵化場8個所,計59個所であり,放流河川名及び事業実施体名を示すと下表の通りである。

昭和29年度鮭鱘孵化放流事業実施体制

海区	放 流 水系名	放 ð 業	t実が 場	恒事 名	支場 名	民間放流 実施体名	魚鮭	種鱒	海区	放水		统 名	放流実施 業 場	包多名	支場 名	民間放流 実 施 体名	魚鮭	種
	岩尾別川	岩	尾	別	北見			1 _ 1			di (E)		4.			<u> </u>	1	鱒
	海尾奶川 斜 里 川	斜	戺	別里	ル ル		0	0	Į	尾細			太劉	田路	十勝		0	(-)
才	帮 差 川	源		琴	"		0	0	襟	311	出り	71)	鶴	路居	"		0	O
	裸毒川	網網		走	",		0	0	裳	阿		111	阿	寒	"		0	0
-	//	西	ЫĞ	走	"		0		151		-		(普別収名		"	音 別 町	0	O
ッ	常呂川	北	41-9	見	"		0		以	ĺ	勝		十	勝	"	自加吗	0	
	湧 別 川	湧		別	"		0	0	東		11	<i></i>	幕	别	"		0	
	興部川	顯		部	"		Ö	0	27=		"		札	内	"		0	0
海	幌内川	幌		网	"		0	0	海	茶	路	Щ	白	糠	"		0	Ü
区	德志別川	德	志	別	天塩		0	0	区	歴	舟	ЛІ	大	樹	"		ō	
	幌 別 川	歌		贫	"		0	0		広	尾	Щ	(広尾収名	新)	"	広尾町	0	
	領別川	TH ———		别 ——	"			$ \circ $		 		j			 	<u> </u>	!	
	天 塩 川	天		塩	天塩		0			幌	別	Л	呢	別	千歳		0	
	"	名		寄	"		0			元	浦	Л	元 浦	泂	"		0	
日	暑寒別川	頃		毛	"		0	0	襟	三	石	ЛП	Ξ	石	"		0	
į	浜益川	(抵抗	主汉名	好所)	千歳	浜益漁業協 同組合	0			靜	内	Л	静	内	"		0	
本	石狩川	石		豹	"		0		裳	新	冠	лп	新	冠	"		0	
	"	千		虥	"		0			鴻	, .		(鵡川収名		"	鵡川漁業協	0	
甁	"	香		Π.	"		0				.,					同組合		
.,,	_ //	東	神	楽	// :wr		0		以	勇	払	ויי	勇	払	"		0	
- 1	民 別 川 先 士 川	尻朱		別太	渡島		0	0		白	老	Л	白	老	"		0	
E-3	朱太川 利別川	利		別	"		0		西	敷	生	Щ	敷	生	"		0	
	厚沢部川	厚	沢	部	"		0			長	流	Щ	(長流以名	了所)	"	伊達町	0	
		(FXI		<u></u>	ا ج	<u>_</u>				虻	田	Щ	(虻田収名	(所)	"	虻田漁業協 同組合		
.t#	羅臼川	羅			根室		0	0	海	 遊り	陪当	3711	遊楽	部	渡島	1-31/07 [3]		0
l'	瀬別川	類	·94*	別			0	0	 	-	"		八	孁	"			_
会	伊茶仁川 標 津 川	伊中	茶標	仁津	"		0	0	区	<u></u> -		.,,		_		落部漁業協	.	
	^原	計	根根	任別	"		0						(落部収容 / 茂 辺	新) 地,	//	同組合	0	
(10)	西別川	虹	115	別	",		0	0		茂辽	卫地	Ш	(政 容	族人	"	茂辺地漁業 協同組合	\circ	
1	風蓮川	浜		中	"		0	0		知	内	Щ	知	内	"		0	
[Z]	別当貨川	厚		床	"		0	0	H	50	ー 水え	不	官営孵化	公場 5	.	岩孵化場8		

3. 鮭鱒孵化場の予算並に現員

(予 算)

--- 科 目 ---

(組 織) 北海道鮭鱘孵化場

(項) 北海道鮭鱒孵化場

92,062,000.00

(目)	職員基本給	28,987,000.00
	職員諸手当	7,365,000.00
	職員特別手当	4,855,000.00
	庁 費	3,372,000.00
	採卵孵化放流事業費	10,625,000.00
	常勤労務者給与	4,323,000.00
	貸金金	3,327,000.00
	事業用機械器具購入費	2,511,000.00
	各所修繕費	2,534,000.00
	親魚捕獲事業委託費	20,369,000.00

(現 員)

内	- 訳	総	数	事務官	技 官 85	雇 31	定 夫	小使	計 197	備 考 2名休賞
本			場	10	21	14		1	46	
北	見	支	場	1	10	3	1		15	
裉	室	支	場	1	11	3	2		17	
	勝	支	場	1	14	4		•	19	
天	塩	支	場	1	7	2			10	
7	歳	支	場	2	12	4			18	
渡	鳥	支	場	1	10	1			12	

(30.9.1.現在)

4. 鮭鱒漁業の現況

前年度の試験操業によって確実な資料を得た北洋の鮭鱒漁業は7船団,206隻の独航船をもって、総漁獲高20,472,000 尾という豊漁にめぐまれ,又北緯47度以南の鮭鱒流網漁業も鮭2,068,092貫(約259 万尾),鱘3,786,596買(約947 万尾)の成果を得た。一方北海道沿岸鮭鱒定置網では鮭2,692,954貫(約329 万尾)鱘1,149,116貫(約287 万尾)の稀にみる豊漁を示したが、これは北洋漁船の大型化と、沿岸漁業における漁具整備による漁獲増も見逃せないが、単にそればかりではなく、昭和25年度の鮭鱏稚魚放流数の多大であつたこともその一因と考えられる。

次に河川内の漁獲高についてであるが、本年度は昭和25年度放流魚の回帰年に相当しており、この年度の放流数から推察し、好漁を予想していたところ、オコツク、根室、襟裳以東の各海区は予期通りの豊漁となり、特に最近数年間不振を続けた日本海区、及び襟裳以西海区も好漁に惠まれた。この結果鮭の総漁獲数は385,796尾となり、これによる採卵数は334,235,460粒を示したものである。この成績は千島を除いたものとしてはかつて見ない最高のものである。

これに反し、桜鱒及び樺太鱒は不漁年に当るとは云え、極めて不良の成績を示した。

以上,本年度の漁業現況を過去の成績にみると,沿岸漁獲高は明治37年~昭和2年(約180万

尾~340万尾)で平衡を維持している形となつているが、最近5年間は稍々減少の傾向を示していたものである。

なお河川内のみの漁獲は昭和11年以降上昇しているが、昭和25年度の49万尾からみれば、総体 として漸減していることとなる。

(参考) ※昭和29年北洋漁業漁獲高 出漁船団数 7. 独 航 船 206隻

べにざけ	しろざけ	ます	銀ます	ますのすけ	급 計
3,813,000	9,396,000	5,792,000	1,397,000	74,000	20,472,000

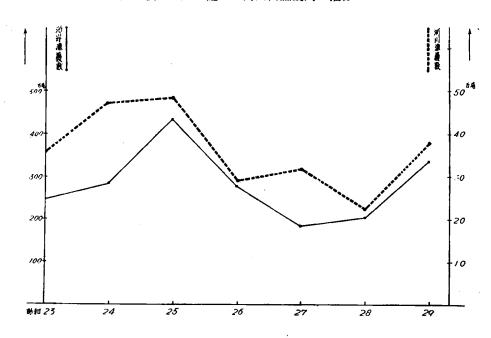
(水産庁統計,尾)

※昭和29年北緯47度以南鮭鱘漁獲高並に北海道鮭鱘漁獲高

3	H	!	Ì	す
定置	47 度 以 南	定	置	47 度以南
2,692,954貫	2,068,092度	1,149,	116貫	3,786,596實
(3,366,190尾)	(2,585,110尾)	(2,872,	920尾)	(9,466,490尾)
4,761 計	,046貫		4,93	5,712質
(5,951	,300尾)		(12,33	9,210尾)

(北水検統計)

第 1 図 鮭定置並に河川内漁獲高の推移



5. 鮭 増 殖 事 業

(1) 鮭增殖事業概況

本年度の鮭増殖事業は、親魚捕獲を395,633尾、採卵を327,870,000粒と計画し、捕獲は国費道営のもの25個所、民間委託のもの61個所で実施した。

この計画は、予期通りの豊漁に惠まれて、捕獲においては計画数の97.7%, 385,796尾を、採卵数においては101.9%, 334,235,460 粒をあげるに至つたものである。

こうした計画の遂行は、蓄養技術の向上と、民間捕獲受托者の多大な協力、並に関係各位のなみなみならぬ努力の結果であると考える。又、特に渡島支場管内噴火湾の沿岸定置業者からはすすんで鮭の成熟卵が提供され、採卵の向上に努められたことに対しては心から感謝の意を表するものである。

以上のように本年度の鮭増殖事業は好成績をもつて終了したが、全般的にみれば、前年度に比較して雌親魚使用率の1.1%減と、雌1尾当り平均採卵数において、234粒減の結果が現はれている。このことは大漁年に対応出来る蓄養その他諸施設の完備と、一時に多数の親魚を取扱う場合における技術の向上が必要であることを裏書きしている。然し、こうした事態に対処するための根本的な問題は季節的に制約されている事業の性質に内包されており、全体的な管理という点で運営の面に検討を必要としている。

又, 運搬及び収容時の斃死数 (運搬害, 15,512,940 粒。収容後, 7,222,750 粒。養魚池内の減耗, 14,021,100尾) の暫減対策については今後一層の研究を重ね, 事業効率の増大を図る要がある。

区 分	計画数	和 29 年	選 成 率	昭和28年度	前年との対比 (増)
捕獲数	395,633	385 , 796	97.5°	2[2,0[0	尼 173,786
♀ 使 用 数	131,197	132,802	101.1	76,829	55,973
採 卵 数	327,870	334,235,460	101.1	211,314,300	122,921,160
運搬害死卵数		15,552,840		10,598,130 粒	4,954,710
以 容 卵 数	317,630	319,170,010	105.0	200,716,170	118,332,840

(参考) 事業計画と実績並に前年度との比較

(2) 技術的問題点とその分析

孵化成績トに現われた数字より技術トの問題点を述べて見ると次の通りである。

a. 蓄 養

事業の過程として捕獲親魚は蓄養から始められ、この蓄養には種々の問題点を残しているが、この項ではふれないこととして、"7. 鮭뼭親魚蓄養成績"の項を参照願いたい。

→ 6 **←**

b. 運搬害死卵数

温搬客死卵数について最近8カ年の運客率を見ると下表の通りである。

(率=運搬害死卵数)

年 度	運 搬 害 死 卵 数 (粒)	死 卵 数 率 (%)	年.	度	<u>運搬害死</u> 死 卵数 (粒)	卵数 率 (%)
昭和22年度	10,117,440	5.8	昭和26	年 度	9,621,440	4.0
昭和23年度	6,248,595	3.4	昭和27	年 度	11,655,796	5.2
昭和24年夏	10,780,200	4.6	昭和28	年 度	10,598,130	5.0
昭和25年度	11,802,930	4.2	昭和29	年度	15,552,840	4.6

以上のように昭和22年度の最高5.8% (10,117,440粒), 最低昭和23年の3.4% (6,248,595粒)で 運搬害死卵数の最も多かつたのは本年度の15,552,840粒で4.6%の運害率を示している。これ等 の運搬害死卵数の多い原因には種々あると思うが、概して運搬時における防寒の不備、運搬距離 の遠隔に及ぶ関係、或いは収容施設の関係で受精直後の無理な運搬を余儀なくされていること等 によるものが主なるものと思われるので、これ等の点に対して極力改善を加え、死卵発生防止に 鋭意努力しなければならない。

これを本年度成績より支場別にみると鮭親魚捕獲採卵比較表にある通り、根室支場管内が最も多く採卵数111,805,830粒に対して8,449,830粒で運害率7.6%,最低は千歳支場の採卵数41,100.320粒に対して636,220粒で運害率1.5%である。

この最も多い根室支場管内にあつて最悪の成績にある事業場は虹別事業場でその連害率は11.0%である。前年度の13.2%に比べるとやや良くなつたが、48,765,570粒の採卵数に対して5,388,070粒の運搬害死卵数は遠距離運搬を余儀なくされているとはいえ、他支場管内の採卵数に比べると大きな問題であり今後検討を要するものがある。

e. 孵 化 成 績

孵化室収容後の死卵数は全道で31,694,590粒で収容卵数319,136,110粒に対して9.9%の多量を 示している。孵化室収容後の死卵数を生する原因は主として受付検卵及び検卵の操作によつてあ らわれるものと水生菌によるものとが主なもので、その他酸素不足による窒息死と孵化水温の低 下による成績低下問題が考えられるが、本年度は\\\\
改善事業場において河床の低下により孵化用水 が断水したため収容卵1,367,500粒が凍結死し、又増毛事業場においては収容卵1,742,470粒に 対して1,667,270粒が水温低下のため凍結死したことはまことに遺憾であり、収容優の卵子、稚 魚の管理面における一層の注意を要するものがあるが、これを総括的に見ると次表の通り近年に ない好成績を示している。

年	度	死 卵 数	に対する率) 率	年	度	死 卵 数 [.対する率) 率
		(粒)	(%)	!		(粒)	(%)
昭和20) 年度	22,422,313	11.5	昭和25	5 年 度	36,290,000	13.5
昭和2	泽 度	20,972,067	12.4	昭和26	6 年度	33,675,760	14.7
昭和22	年 度	22,935,577	14.0	昭和27	7 年 度	39,083,320	18.9
昭和23	平度	23,731,490	12.9	昭和28	3年度	24,471,840	12.2
昭和24	年度	37,158,448	16.5	昭和29	年度	31,694,590	9.9

- 7 -

以上の好成績を得た主なる原因は本年度より全道的にマラカイト・グリーンによる卵子の消毒を 行つた結果水生菌による窒息死卵の発生防止がなされたことと、採卵初期の検卵等による障害が 消毒することにより極度に減少したことにもよるものであり、本年度は9.9%の最低の好成績を 得るに至つたが、未だ約3,000 万粒の死卵を見ている現状においては一層の技術的研究を要する のである。

この問題については前年度より天塩支場、根室支場において試験的に受付の検卵を行はずに、 マラカイト・グリーンによつて好成績を収めているので、これを事業化する場合更に死卵数が減 少するものと考えられる。

次に成績にあらわれた孵化率の問題であるが、増毛、歌登事業場の断水、水温低下の個所を除いては幌内事業場の54%が最低率であつて、静内事業場の97.6%の最高成績を示し、これを全道的に見ると90.1%の好成績であつた。なお石狩事業場において約150万粒の不受精卵が発生したので、目下その原因究明に努力を払つている。

d. 養魚池内の減耗

孵出後養魚池に移してから放流迄の養魚池内の減耗数が重要な課題として取揚げなければならない、これは人為的なものとして稚魚の運搬途上の斃死、管理上の不備による窒息死等があり、自然的なものとしては病原菌による斃死、共喰及び害魚、害鳥による減耗が考えられる。過去10カ年間の之等の被害による総合した減耗を示せば次表の通りである。

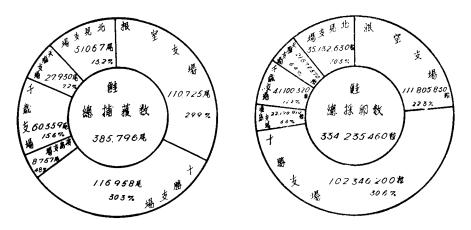
年	度	養魚池内 繊 耗 数 (尾)	减耗数 减耗率 (%)	年	度	養 魚 池 内 減 耗 数 (尾)	减耗数 减耗率 (%)
昭和2	0 年度	6,132,780	3.5	昭和25	年 度	8,442,790	3.6
昭和2	1年度	5,708,130	2.1	昭和26	年 度	5,059,510	2.6
昭和2	2 年 度	3,071,150	3.8	昭和27	年 度	8,116,140	4.8
昭和2	3 年 度	2,490,270	1.6	昭和28	7 年度	4,082,330	2.3
昭和2	4 年 度	3,590,110	1.9	昭和29	年 度	18,103,450	6.2

上表において最も顕著に現われたことは、昭和23年度の滅耗率1.6%が最低で、本年度の滅耗率6.2%(滅耗数18,103,450尾)で最高値を示していることであるが、かかる結果をもたらした大きな原因は幕別事業場に収容中の14,592,500尾の内約5,960,800尾(40.1%)を斃死せしめたことによるが、此の斃死原因については約半数が臍嚢の後端が突出し斃死しているので、技術的な面より鋭意研究を進めており、まだ結論を得るに至つていないが取敢えず孵化器具、養魚池、及びマラカイト・グリーンによる卵の消毒を厳重実施すると共に養魚池の稚魚収容数等技術、管理面においても細心の注意を払い万全を期すこととした。

-- 8 ---

※ 附 表

支場別鮭捕獲採卵成績図



① 支場別鮭親魚捕獲採卵成績比較表

支場	緒	i	捕	獲	数計	使月	月親 第	数 計	採卵数	運 搬 害死 卵 数	♀親魚 使用率	運害率
		本年	19,845	31,222	51,067	14,716	6,802	21,518	35,132,630	1,272,030	74.2	3.6
#Ľ	見	前年	15,419	17,725	33,144	13,911	5,937	19,848	40,804,190	1,334,190	89.0	3.2
	(本年	11,160	16,770	27,930	8,335	3,234	11,569	21,679,570	_	74.7	
天	塩	前年	4,383	5,743	10,125	3,595	1,434	5,029	9,482,200	192,300	82.0	2.0
_	∫	本年	25,968	34,391	60,359	13,477	5,678	19,155	41,100,320	636,220	51.9	1.5
千	歳{	前年	7,024	12,769	19,793	3,292	1,712	5,004	9,706,470	164,820	46.9	1.7
	آ بہ	本年	9,105	9,652	18,757	8,854	3,742	12,596	22,170,910	385,060	97.2	1.7
渡	島	前年	3,068	3,350	6,418	2,906	1,709	4,615	7,037,870	157,770	94.5	2.2
	.e ₂ [本年	50,530	66,428	116,958	36,601	15,174	51,775	102,346,200	4,809,700	72.4	4.7
+	勝	前年	25,782	26,484	52,266	16,589	6,750	23,339	51,931,750	2,181,480	64.3	4.2
	ا بـــ (本年	57,629	53,096	110,725	50,819	24,444	75,263	111,805,830	8,449,830	88.2	7.6
桵	室{	前年	43,637	46,626	90,263	36,536	17,077	53,613	92,351,820	6,567,570	83.5	7.1
_	. (本年	174,237	211,559	385,798	132,802	59,074	191,876	334,235,490	15,552,840	76.2	4.7
Ē	ťί	前年	99,313	112,697	212,010	76,829	34,619	111,443	211,414,300	10,593,130	77.4	5.0
前泊	F度∫	増	74,924	98,862	173,786	55,973	24,455	89,428	122,821,160	4,954,710		
٤٤	櫰	滅										0.2

~この表の説明~

本年と前年度の成績を対照して見れば捕獲採卵共に前年度を上廻るもので、採卵数は上表の通り鮭鱒増殖事業 業齢まつて以来最高の成績を収めた。

捕獲採卵成績の最高は十勝支場で、根室、北見、千歳支場の順である。 運搬害死卵数の項で天塩支場分が記載されていないのは受付の検卵を省き卵に対する衝撃をできるだけ少く工夫して、 マラカイト・グリーンによって消毒を行い成績の向上を図ったからであるが、なおこの方法には種々と検討の余地がある。

雌使用率で前年に比べて悪いのは北見、天塩支場の低下によるものである。最高使用率は渡島支場であるが、 十勝支場の向上はめざましいものがある、最低は千歳支場の51.9%でこれは石戸捕獲場の採卵成績の不良が原因となっている。

② 支事業場別鮭親 魚捕獲採

支場	:jd	棠	場	捕。	8 尾	数 	使 用	親 魚	数 ————————————————————————————————————	採 卵 数	運搬害死卵数	収 容 卵 数	♀ 親魚 使用率	平均採卵数	期
北見			場	鬼 5,431	月 9,749	ន្ត 15,180	3,713	1,562	反 5,275	9,822,000 110,260	287,000 260	物 9,535,009 110,000	68.4 100.0	粒 2,650 2,560	Я в Я 10. 1—12. 10.11—12.
	支岩斜	尾	場 別 里	43 39	67 25	110 64	43 39	21 17	64 56	106,500	900	110,000 105,600 (含寄贈卯272,500)	100.0	2,560 2,730	9.13-10.
	凝網		琴走	330 6,059	242 9 ,26 5	572 15, 324	326 4,590	145 2,195	471 6,785	875,100 9,749,000	17,600 376,500	1,130,000 9, 37 2,500	98.7 75.7	2,680 2,120	9.18-12. 10.1-12.
	西湧	網	走別滑部	487 6,342	505 10,233	992 1 6,57 5	473 4,846	221 2,312	694 7,158	(,136,100 11,577,920	28,600 525,420	1,107,500 11,052,500	97.1 76.4	2,402 2,389	10. 1—12. 10. 1—12.
	潜興幌		滑部内	839 46 229	888 57 191	1,727 103 42 9	414 46 22 6	205 19 105	619 65 331	1,097,400 103,950 554,400	22,400 3,950 9,400	1,075,000 100,000 545,000	49.4 100.0 98.7	2,650 2,260 2,453	9.10-12. 10. 1-12. 9. 1-12.
	176	計	7.3	19,845	31,222	51,057	14,718	6,302	21,513	35,132,630	1,272,030	(含寄贈卯272,500) 34,133,100	74.2	2,337	,, i ia.
天塩	支線	志	場別	8,033 395	10,430	13,513 1,049	6,027 390	2,465	8,492 508	15,872,100 1,035,000		15,872,100 1,035,000 2,267,500	74.6 98.7	2,633 2,654	8.13—12. 9.11—11.
	歌頓名		場別登別寄	1,601 1,075	4,329 1,334	5,930 2,409	9 1 2 971	317 331 —	1,259 1,302	2,267,500 2,492,500 		2,267,500 2,492,500 —	53.8 90.3 —	2,407 2,567	9.21-11.
	地		毛	6	23		<u> </u>	3	8	12,470		(含寄贈別140,000) 152,470	83.3	2,494	9.21-11.
		計 ——		11,160	19,770	27,930	8,335	3,234	11,589	21,679,570		(含寄贈卵140,000) 21,819,570	74.7	2,601	
千歲	支石	<u>-</u> -	場符	7.884 12,325	8,695 20,323	16,579 32,648	7,851 503	2,973 215	10,824 723	25,623,100 1,534,000	388,100 34,400	25,235,000 1,499,600	99.6 4.1	3,264 3,020	9.14— 1. 9. 2—12. 9.10—11.
	音東幌	亦	狩江楽別	496 1	720 4	1,216 5	185	48	234	411,850 	9,850 - 7,650	402,000	37.5 86.1	2,214	9.10-11 9.26-11 10.8-12
	元	浦	河	245 65	4 17 83	662 153	211 6 1	103 25	314 89	183,900	400	<i>5</i> 72, <i>5</i> 00 183,500	98.4	2,74 9 2,873	9.21-12.
	三新		石冠川	76 285	79 2 <i>5</i> 0	155 535	74 247	40 105	! 14 352	190,640 691,100	640 18,600	(含寄贈卵 5,000) 195,000 672,500	97.3 86.6	2,711 2,797	10. 1—12. 9.15—12.
	(湖 静		順內	173 2,502	269 2,015	442 4,517	150 2,332	65 1,257	215 3,589	372,500 6,281,230	121,230	372,500 6,160,000	87.7 93.2	2,483 2,678	9.18-11. 9.21-12.
	勇白		払老	771 637	750 381	1,521 1,018	763 611	384 239	1,147 850	2, 275,750 1, 6 79,500	13,250 20,500	2,262,500 1,659,000	98.9 95.9	2,982 2,748	13.10-12. 10.3-12.
	败	計	生	508 25,963	400 34,391	908 60,359	480 13,477	224 5,673	704 19,15 5	1,276,600 41,100,320	21,600 635,220	1,255,000 (含寄贈卵 5,000) 40,459,10 0	96.4 51.9	2,659 3,050	9.27-12.
度 鳥	 -		 									10,100,100			
Ø 145	支尻朱		場別太	323 235	427 194	750 429	279 228	— 159 101	438 329	716,800 590,800	16,800 4,800	700,000 585,000	86.4 97.0	2,569 2,59[10. 1-12. 9. 8-12.
	朱利厚	沢	別部	478 2,856	392 2,570	870 5,426	477 2,781	168 1,170	645 3,951	1,389,360 7,740,000	9,360 195,000	1,380,000 7,545,000	99.8 97.4	2,913 2,783	10. 1-11. 10.11-12.
	知 () () 遊	辺	四地)	764 2,725	397 4,328	1,161 7,053	753 2,695	260 1,113	1,013 808,6	2,335,100 4,250,000 133,750	12,600 16,900	2,322,500 4,233,100	98.6 98.9	3,101 1,577	10.20-12. 10.7-12.
	遊	· 楽	部)	56 1,575	62 1,207	118 2,732	45 1,504	32 693	77 2,197	4,766,500	126,500		80.4 95.5	2.972 3,169	10.12-12. 10.1-12.
	長	万	솲	93	75	168	92	4 6	138	248,600	3,100	315,390 (含寄贈卯69,890) 21,855,740	93.9	2,702	9.28-12.
		計 ——		9,105	9,652	18,757	8,854	3,742 —————	12,598	22,170,910	385,060		97.2	2,504	
十 勝	支 太劉		場出	32,972 5,719	43,979 4,654	76,951 10,373	19,885 5,706	8,596 1,940	28,482 7,646	58,801,000 12,644,200	2,679,000 579,200	56,122,000 12,065,000 9,847,500	60.3 99.8	2,957 2,216-	9.13—12.2 9.20—12.2
	列 阿		場田路居寒	3,669 1,842 390	5,352 1,815 315	9,021 3,657 705	3,616 1,832 337	1,620 856 185	5,236 2,688 523	10,648,700 6,147,300 949,100	801,200 82,300 7,100	9,847,500 6,065,000 942,000	98.5 99.5 86.4	2,945 3,356 2,816	9.20-12. 9.16-12. 9.10-11.
			•		- 10				****			- 11 -		•	

支場		事	業	場	捕	獲 尾	数	使	用	親	魚	数
易	<u> </u>				Ş	8	計	φ	Ī	8		計
+	勝	白晉利幕札		濂 別) 別別	后 617 232 211 3,144 1,166	898 268 155 4,684 3,422	1,515 500 366 7,828 4,588	居 552 123 210 2,899 875		20 44 89 1,065 33	5 9 9	757 169 299 3,968 1,212
		大(広	計	樹尾)	531 37 50,530	823 63 65,423	1,354 100 115,953	531 34 36,601		20° 15,17	3	738 57 51,775
裉	室	厚浜虹計中	根標	床中別別津	632 218 26,427 1,889 5,697	789 206 26,001 1,447 5,338	1,421 424 52,428 3,336 11,035	542 212 21,829 1,376 5,267		26 11' 9,82/ 436 2,600	7 5 5	803 329 31,655 1,812 7,867
		伊忠憲羅	茶計	仁 類別 日	1,090 1,102 17,676 2,898 57,629	1,168 757 14,523 2,867 53,096	2,258 1,859 32,199 5,765 110,725	1,090 1,102 16,593 2,803 50,319		56; 536 8,70 1,400 24,44	5 [)	1,657 1,638 25,299 4,203 75,263
1	合		ā	+	174,237	211,559	385,795	132,802		59,074	ļ	191,876

~この表の説明~

親魚捕獲採卵は上表の面りであるが、最富は十勝支場の親魚捕疫数 76,951尾、採卵数58,801,000粒、次いで では石狩事業場の4.1%, 普江事業場の37.5%の3個所のみである。

							3	支	支 場		别 		鮭		孵
支	場	名				収容卵数	死 卵 数	(90%	出	数	孵 出	1 率	放	流	数
 3E		見		本	年.	48,689,600	4,996,500	4	13,693,	100	89		41	,280,8	800
40		بح	Ì	前	年	40,170,000	5,147,120	3	35,022,	880	87	.2	34	,733,8	800
天		塩	5	本	年	21,819,570	5,734,010	i	16,085,	560	74	.2	12	,836,6	670
		1 E	1	前	ф	10,386,500	894,700		9,491,	800	91	.4	9	,300,0	000
千		歳	J	本	年	46,656,600	4,105,100	4	12,551,	500	91	.2	42	,070,2	200
•		ЫX	J	訹	年	12,166,130	737,740	i	1,428,	390	. 93	.9	11	,323,2	200
渡		鳥	ſ	本	年	24,434,440	2,191,070	2	22,243,	370	91	.0	21	,907,4	400
x		मन	J	前	年	[2,480,510	2,138,580	1	0,341,	930	82	.0	10	,264,8	800

~この表の説明~

孵化放流成績は全般的に見て孵化率2.4%の上昇を示した、支場の最高成績は十勝支場の94.4%である。

					④ 支	爭	業	Wj.	別。	鮭
支 場	1	業	場	収容卵数	死 卵	数	解出 尾	数	孵 出	率
北見	支		場	10,060,000	粒 449,900		9,610,1	尾)()	91.4	
	岩	尾	別	110,000	6,400		103,6	00	94.1	
	斜		里	5,150,600	851,900		4,298,7	00	83.4	
	(止		别)	1,200,000	165,100		1,034,9	00	86.2	

採 卵	数	運搬害死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	平均採卵数	期 闘
1,435, 315, 538, 7,264, 2,089,	800 900 200	35,200 1,600 7,600 566,700 32,300	1,400,000 314,200 531,300 6,697,500 2,057,500	89.5 53.0 100.0 92.2 75.0	2,600 2,567 2,566 2,506 2,388	9.16—12.9 10.1—12.10 9.25—11.20 9.11—12.13 9.11—1.20
1,417, 94, 102,34 5,	100	15,900 1,600 4,809,700	1,402,000 92,500 97,539,500	100.0 91.3 72.4	2,670 2,767 2,795	10.1012.24 10.511.20
1,214, 620, 48,765, 3,435, 12,546,	000 570 000	24,180 45,000 5,388,070 115,000 491,600	1, 190,000 575,000 43,377,500 3,320,000 12,055,000	85.8 97.2 82.6 72.8 92.5	2,240 2,925 2,234 2,496 2,382	9. 1-11.20 9. 1-11.26 9. 1- 1.12 9.10-12.15 9.10-12.31
2,226, 2,322, 34,863, 5,811, 111,805 ,	530 450 700	111,800 125,030 2,003,250 145,900 8,449,330	2,115,000 2,197,500 32,850,200 5,665,800 103,355,00 0	100.0 100.0 93.9 96.7 33.2	2,043 2,108 2,100 2,073 2,200	9.25—12.10 9.10—12.20 9.10—12.25 10.1—12.20
334,235,	450	15,552,840	(含寄贈卵487,390) 319,170,010	75.2	2,517	

虹胛事業場の順である。♀親魚使用率の50%以下の個所を見ると北見支場では褚滑事業場の49.4%,千歳支場

放 洗 数

			ĺ							1			í			-		
支	場	名				収	容	叨	数	死	gn	数	孵	出	数	孵	H4	率
	勝	Í	本	年	'. 9	 0 , 7.	 37,4	% 100	, 5	,103,	±6 420	85	 ,633,	尾 980	'	94.4		
1		יצענו	J	हों।	年	5	1,1	54,2	260	4	,772,	890	46	,381,	370		90.6	,

流 績 比 較 表

76,281,320 45,602,700 86,798,500 9,564,490 77,234,010 89.0 74,961.680 前年 72,802,950 10,780,840 62,022,110 85.2 59,381,630 本 年 319, 135, 110 31,694,590 287,441,520 90.1 269, 338, 070 計 前 年 199, 160, 350 24,471,870 174,638,430 170,605,130 87.7 119,975,760 7,222,720 112,753,040 2.4 98,731,940 前年度と比較

成

放

放 流 尾 数	放流	期 間 至	備	考
7,595,000	л н 4. 1	Я н 5. 21	【i4線より直後卵 1,850,000粒受 網走より発眠卵 400,000粒受	
000,000	4. 25	4.30		
4,212,700	3. 20	4. 3	{網走より発眠卵 975,000粒受 (薫別より直後卵 5,270,000粒受	
1,014,200	4. 2	4. 8	斜里より発眠卵 1,200,000粒受	

こ 場	÷]⊊	業	場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	解 出 率	放 流 尾 数	放流	期間	備考
5 見	藻		琴	7,585,000	849,480	6,735,520	88.8	6,735,000	я н 4. 1	Я н 5. 20	武佐より直後卵 1,590,000 粒受 死 120,000 網走より直後卵 1,000,000 粒受 14線 3,010,000 網走より発眠卵 1,060,000 粒受 死 225,000
	網		走	7,025,000	949,800	6,075,200	85.0	6,063,000	4. 26	5. 11	網走より発眠卵 1,060,000粒受 死 225,000
	湧		別	11,052,500	978,970	10,073,530	91.1	10,022,000	3. 25	5. 31	(14) 上 6 本 4 1 1 0 7 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	滑		渚	6,286,500	680,600	5,605,900	89.2	5,385,900	4. [5	5. 30	{ 「4線より直後卵 「,070,000粒受 幌内より直後卵 425,000粒受
	興		部	100,000	9,250	90,750	92.5	90,000	4. 10	5. 31	北見より発眠卵 1,725,000 粒受 釧路より発眠卵 1,991,500 粒受
	幌		内	120,000	5,510	64,900	54.0	63,000	5 . 25	5, 30	
	11946	= 1	1.3		4,995,500	43,693,100	89.7	41,280,900	3. 20	5. 31	
		. ā†		48,689,600	4,555,500	43,055,100	35.1	41,200,500	J. 20	J. 31	
塩	支		場	11,574,600	1,485,510	10,089,090	87.2	7,248,900	4. 25	6. 13	√放洗尾数は重量計算による ↓
	德	志	<i>5</i> 70	1,810,000	402,400	1,407,600	77.0	1,140,000	6. 20	6. 22	歌登より直後卵 775,000粒受
	歌		登	1,367,500	1,367,500	0	0	0	_	_	孵化用水断水収容卵全数凍結死
	E FF		别	2,492,500	199,900	2,292,600	92.0	2,240,700	3. 1	4. 15	
	(11	クシナ	・ィ)	600,000	354,650	245,350	40.9	233,000	4. 10	4. 10	√天塩より直後卵 600,000粒受 発眠後死卵 291,690粒あり
	名		寄	2,232,500	256,780	1,975,720	88.4	1,897,700	4. 26	5. [4	美深より直後卵 2,232,500粒受
	鸠		毛	1,742,470	1,667,270	75,200	4.4	70,370	6. 1	7. [0	天塩より直後卵 1,590,000粒受
		Ĭ1		21,819,570	5,734,010	16,035,580	74.2	12,836,670	3. 1	7. 10 .	
歳	支		場	25,020,000	2,115,700	22,904,300	91.5	22,635,000	2. 17	5. 11	石狩より発眠卵 1,000,000粒受
ļ	(浜		益)	521,900	59,300	462,600	88.6	450,000	4. 16	4. 16	釧路より発展卵 521,900粒受
	石		狩	1,499,600	423,500	1,076,100	71.8	1,027,600	2. 10	3 .20	千歳より発眠卵 1,000,000粒受
	番		ìТ.	402,000	36,500	365,500	90.9	347,000	5, 1	5. 10	
-	幌		534		-	_	_	_	_		発眠後元浦河へ全数移植
	元	浦	河	1,853,700	189,500	1,674,200	89.3	1,628,000	2. 15	4.30	【幌別より直後卵 230,000粒発眠卵 342,500粒受 【釧路より発眠卵 1,107,700粒受
	Ξ		石	1,629,800	450,200	1,179,600	72.4	1,175,000	3, 15	4.30	釧路より発眠卵 1,434,800粒受
	静		内	5,098,800	122,500	4,976,300	97.6	4,975,000	4. 5	5. 20	
	新		冠	1,733,700	106,200	1,627,500	93.9	1,613,800	4. 10	5. 10	静内より発眠卵 1,061,200粒受
	(武		ЛΟ	872,500	19,900	852,600	97.3	848,000	4. 15	4. 25	勇払より発眠卵 500,000粒受
	勇		払	1,972,500	52,400	1,920,100	97.3	1,887,800	3. 13	4. 16	支場より発眠卵 210,000粒受
	白		老	1,659,000	69,700	1,539,300	95.8	1,588,000	3. 15	4. 25	
	敷		生	1,255,000	31,400	1,223,600	97.5	1,222,000	2. 20	3. 30	
j	(伊		達)	1,046,400	223,900	822,500	73.6	800,000	2. 22	3. 10	釧路より発眠卵 1,046,370 粒受
	(虻		田)	1,038,700	75,000	963,700	92.8	962,000	2. [4	2. 22	釧路より発眠卵 1,038,700粒受
	费)		浦)	1,043,000	129,400	913,600	87.6	911,000	3. [3. 5	釧路より発眠卵 1,043,000粒受
		計		49,659,600	4,105,100	42,551,500	91,2	42,070,200	2. 10	5. 20	
鳥	尻		別	700,000	44,200	655,800	93.7	655,300	3. 10	5. 25	
	朱		太	1,619,500	176,600	1,439,900	90.8	1,433,000	4. 10	4. 30	釧路より発眠卵 1,033,500粒受
	利		別	1,380,000	51,800	1,328,200	96.3	1,327,000	3. 17	3. 31	
	厚	沢	部	3,710,000	294,800	3,415,200	92.1	3,350,000	3. 1	3. 18	
	知		内	2,322,500	759 , 400	1,563,100	67.3	1,562,400	5. 1	6. 10	
	(茂	辺	地)	4,233,100	159,100	4,074,000	96.2	3,940,800	2. 25	4. 20	
	(落	~=	部)	133,750	7,600	126,150	94.1	126,000	3. 15	3. 31	
i	遊	楽	部	3,340,000	183,100	3,156,900	94.5	3,063,900	3. 10	5. 12	

と 場	排	業	場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率
変 鳥	<u> </u>		雲	6,180,200	312,000	5,868,200	95 . 0
~ (長	万	部	815,390	199,470	615,920	78.9
	176	計	al,	24,434,440	2,191,070	22,243,370	91.0
 ナ 勝	支		場	27,996,800	1,174,300	26,822,500	95.8
	(1)		尾)	1,092,500	27,000	1,065,500	97.5
	大		樹	2,202,000	68,700	2,133,300	96.9
	幕		57U	15,280,000	687,500	14,592,500	95.5
	札		内	18,226,100	738,400	17,487,700	95.9
	(利		SÚ)	531,300	36,400	494,900	92.7
	(著)) (可)	1,166,700	137,100	1,029,600	83.3
	自		糠	1,202,000	121,200	1,080,800	89.9
	阿		寒	1,140,000	167,200	972,800	85.1
	(g))		路	10,445,000	1,284,700	9,160,300	87.7
	鶴		匿	6,065,000	251,100	5,813,880	95.9
	太		Щ.	5,390,000	409,800	4,980,200	92.4
		計		90,737,400	5.103,420	35.633,980	9.44
長 窒	支		場	9,615,000	1,886,100	7,728,900	80.4
	厚		床	2,410,000	178,900	2,231,100	92.6
	浜		μį	4,770,000	203,940	4,566,060	95.7
	虹		万貞	2,425,000	2,909,320	21,515,680	33.1
	(床		升)	600,000	16,900	583,100	97.1
	計	根	别	7,732,500	417,700	7,314,800	94.6
	中	標	津	6,742,500	1,452,600	5,289,900	78. <i>5</i>
	伊	茶	仁	9,271,500	792,100	8,478,600	91.4
	(忠		類)	1,000,000	121,100	878,900	87.8
	薫		别	14,566,200	1,133,220	13,432,980	92.2
	羅		臼	5,665,800	451,810	5,213,990	92.0
		計		85,798,500	9,584,490	77,234,010	39.0
合		 1	 it	319,135,110	31,694,590	237,441,520	90.1

~この表の説明~

孵化成績を支場別に見ると孵化率の最高が十勝支場の94.4%最低が天塩支場の74.2%である。 然し,これは 水溫低下により4.4%の最低の孵化率を示した等の原因によるものである。

				(5)	海	×	水	系	别(健 親
海		Alle 177	nn.	La	捕	獲	尾	数	使	用親
区	水系	支事業場 採	DII :	場	Ş	8		<u>.</u>	φ	8
オコッ	岩尾別川 斜 里 川	岩尾別岩	尾	別里	43 39		尾 67 25	110 64	局 43 39	1€ 21 17
ク海区	藻 琴 川 網 走 川	藻 琴 瀬 走 網 走 西 網 世 四	網	琴走走	330 6,059 487	9,2	242 265 505	572 15,324 992	326 4,590 473	145 2,195 221

放 洗 尾 数	放流	期 間 —	備考
5,864,000	月 FI 2、24	Я п 5. 10	(遊楽部より直後卵 292,500粒 発眠卵 1,000,000粒受 厚沢部より直後卵 2,835,000粒 発眠卵 500,000粒受
585,000	5. 17	5. 20	十勝支場より発眠卵 1,552,700粒受
21.907.400	2. 24	6. 10	厚沢部より発眠卵 465,000粒受
25,498,700	3. 20	6. 8	幕別より 1,500,000粒受
1,064,000	4. 20	6. 17	札内より発眠卵 1,000,000粒受
2,120,600	3. 10	4.30	札内より発眠卵 800,000粒受
6,980,500		5. 10	
17,358,700	3. 10	5. 20	
475,000	4. 25	4.30	
1,019,000	5. 25	5. 30	釧路より発眠卵 852,500粒受
-1,068,800	5. 1	5.31	阿寒より直後卵 297,000粒受
944,320	4. 10	4.30	白糠より直後卵 495,000粒受
9,137,200	3. 25	5. 20	{14線より直後卵 3,992,500粒受 大田より直後卵 6,675,000粒受
5,791,000	3. 10	5. 25	(人口より直接斯 0,077,000位交
4,823,500	4. 10	5. 25	
76,231,320	3 .10	6. 17-	
7,404,000	4. 5	5. 31	
2,186,500	4. 1	5. 31	14線より直後卵 1,220,000粒受
4,521,000	4. 20	6. 5	14線より直後卵 4,195,000粒受
21,446,500	2. 1	5. 10	
553,000	3. 20	4. 29	計根別より発眠卵 600,000粒受
6,111,300	3. 10	5. 20	
5,228,700	6. 2	6. 5	
8,332,800	5. 20	6. 10	
703,000	4. 20	4. 30	根室より発眠卵 1,000,000粒受
13,319,980	5. 1	6. 15	
5,199,000	3. 25	4. 28	
74,961.630	2. 1	6. 15	
269,338,070	2. 1	7. 10	

歌登事業場の孵化用水断水の為収容卵全数が凍結死したために、孵化率が低下したのを 筆頭に、増毛事業場が

魚 捕 獲 採 卵 成 績 表

魚	数	採卵	数	運搬害死卵数	1177	容	ian	数	ę	親:	魚	平		均	.420		ra.
	計	- 13k 91i	奴	建筑岩外的数	収	谷	DD	奴	使	用	率	採	gn -	数	期		間
	1 2 64 56	110,2 106,5		260 900				600		00.001 00.001)		,560 ,730				я н 12.10 10.31
(471 6,785 694	875, 1 9,749,0 1,136, 1	000	17,600 376,500 28,600	(含智	1 9	1272, ,130, ,372, ,107,	000 500		98.7 75.7 97.	7	2	,680 ,120 ,40	0	10.	I —	[2.20 [2.25 [2.22

海		_ _	77				Les		Le	捕	変 尾	数	使	用 親
区	小		系	又	業屯	場	採	卵	場	ų	8	計	P	8
才	常佐	呂	лі лі	北湧	"	見別	常端佐	計計呂	呂野間	6,546 3,669 1,762 5,431	9,770 7,597 2,152 9,749 167	16,316 11,266 3,914 15,180 262	5,063 2,077 1,636 3,713 83	2,416 638 924 1,562 37
ッツ	湧渚與雄幌	別滑部武内	用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用	猪 興幌	"	滑部内	中元興雄幌	Ŋ	別西部武内	6,247 839 46 16 213	10,056 833 57 6 185	16,313 1,727 103 22 398	4,763 414 46 13 213	2,275 205 19 4 101
か	徳幌	志 別 別 〃 別	州川	徳歌	志 〃	別登別	徳幌一 頓	志本計	別別松別	395 1,511 90 1,601 1,075	. 654 4,174 155 4,329 1,334	1,049 5,685 245 5,930 2,409	390 885 56 9 4 2 971	118 290 27 317 331
区		海	i		Ø		7	†	!	22,916	37,539	60,455	17,019	7,568
B	天	塩""	Л	天	"	塩	天筬紋美	想計	塩鳥内深	3,258 423 22 4,380 8,083	4,850 740 24 4,816 10,430	8,108 1,163 46 9,196 18,513	1,673 327 7 4,020 6,027	493 31 4 1,882 2,465
本	暑石	寒 別 狩 "" ""	州	增石千	"	毛狩歳	暑石豊漁西	寒	別狩平川越	6 12,325 — 76 7,808	23 20,323 — 88 8,607	29 32,648 — 164 16,415	5 508 75 7,776	3 215 — 27 2,945
海	尻	" 别 "	ווע	香東 尻	神 //	江楽 別	晋東 日廟	神計	江楽 名越	496 1 20,706 263 60	720 4 29,742 337 90	1,216 5 50,448 600 150	186 8,545 229 50	48 3,236 126 33
K	朱利	太別 "	州	朱利	"	太別	作冷丹	計計	開水羽	323 235 395 83 478	427 194 332 60 392	750 429 727 143 870	279 228 395 82 477	159 101 138 30 168
	厚	沢部	Щ	厚	沢	浩	厚	沢	部	2,856	2,570	5,426	2,781	1,170
	_	海	•		Ø		ā	†		32,637	43,778	76,465	16,342	7,302
根	植モト	川 円 古 別 サ キ ム イ	川イ川	羅	"	臼別	植モト	刈 さ サキム	別 ムイ	2,730 168 3,103 45 3,006	2,715 152 2,349 50 3,030	5,445 320 5,452 95 6,036	2,637 166 2,960 44 2,878	1,316 84 1,670 24 1,589
室	古薫忠伊標	多り類な		伊中	〃〃茶〃標	仁津	古黨忠伊武	多茶	糠別類仁佐	22 11,500 1,102 1,090 2,899	20 9,074 757 1,168 2,630	42 20,574 1,859 2,258 5,529	19 10,697 1,102 1,090 2,661	5,405 536 567 1,378
海区	当春	〃〃 幌別	淵	計	/// 根/	別	チ標・当春	ナ 計	ナ津 幌別	436 2,362 5,697 1,647 96	477 2,231 5,338 1,290 56	913 4,593 11,035 2,937 152	317 2,289 5,267 1,153 96	128 1,094 2,600 370 31
	床西	丹 別	川川	虹	"	别	床 14		丹線	146 25,560	101 25,572	247 51,132	12 7 20,981	35 9,469

魚数	(運搬害死卵数	収 容 卵 数	♀親魚	平均	++t1 19153
 計	- 1x 3/1 3X	上班 四 / 13/1993	4、各 97 数	使用率	採卵	期間
7,47 2,71 2,56 5,27	0 4,342,500 5 9,822,000	405, 100 234,500 52,500 287,000 6,900	10,480,000 5,245,000 4,290,000 9,535,000 217,500	77.3 56.7 93.0 68.4 87.4	2,150 2,640 2,650 2,650 2,704	10. 1—12.24 10. 1—12.15 10. 1—11.25
7,03 61 6 1	9 1,097,400 5 103,950 7 31,000	518,520 22,400 3,950 1,000 8,400	10,835,000 1,075,000 100,000 30,000 515,000	76.2 49.4 100.0 81.2 100.0	2,380 2,650 2,260 2,380 2,460	10. 1-12.20 9.10-12.11 10. 1-12.17 9. 1-11.30 9. 6-12.15
50 1,17 8 1,25 1,30	6 2,180,000 3 87,500 9 2,267,500	- - - -	1,035,000 2,180,000 87,500 2,267,500 2,492,500 (含寄贈明272,500)	98.7 58.6 62.2 58.8 90.3	2,654 2,460 1,563 2,407 2,567	9. 1—11.20 9.11—11.30 9.24—11.20 9.21—11.30
24,56	8 40,927,630	1,276,030	39,928,100	74.6	2.405	
2,17 40 1 5,90 8,49	8 834,500 1 12,600 2 10,219,900	 	4,805,100 834,500 12,600 10,219,900 15,872,100 (含寄贈卵140,000)	51.3 77.3 31.8 91.8 74.6	2,872 2,552 1,800 2,542 2,633	9.13-11.30 10.3-12.20 8.13-9.30 8.25-12.12
72	8 12,470 3 1,534,000	34,400	(古奇順別140,000) [52,470 [,499,600	83.3 4.1	2,494 3,020	9.21 - 11.10 $9.2 - 12.20$
10 10,72		3,100 385,000	165,000 25,070,000	98.7 99.6	2,241 3,273	10. 1—11.30 9.21—11. 3 9.14— 1.20
23	4 411,850	9,850	402,000	37.5 —	2,214	9.10-11.15 9.26-11.10
11,78 35 8	5 579,600	432,350 13,500 3,300	27,136,600 566,100 133,900	41.2 87.1 83.3	3,225 2,531 2,344	10. 1—12.20 10. 1—12.10
43 32 53 11 64	9 590,800 3 1,185,010 2 204,350	16,800 4,800 8,510 850 9,360	700,000 586,000 1,176,500 203,500 1,380,000	86.4 97.0 100.0 98.8 99.8	2,569 2,591 3,000 2,492 2,913	9. —12. 8 10. 1—11.30 10.19—11.30
3,95		195,000	7,545,000 (含寄贈卵!40,000)	97.4	2,783	10.11-12.10
25,64 ——	4 53,890,430 ——————	658,310 	53,372,170	56,1 	2,938	
3,95 25 4,63 6 4,46	389,550 0 6,346,800 8 89,050	129,850 16,050 516,800 5,050 328,300	5,292,300 373,500 5,830,000 84,000 5,897,500	96.6 98.8 95.4 97.8 95.7	2,056 2,347 2,144 2,024 2,163	10. 1-12.20 10. 1-12.13 9.11-12.20 10.15-12.20 9.10-12.20
3 16,10 1,63 1,65 4,0 3	8 2,322,530 7 2,226,800	700 1,152,400 125,030 111,800 305,250	37,500 21,011,200 2,197,500 2,115,000 6,262,500	85.4 93.0 100.0 100.0 91.8	2,011 2,071 2,108 2,043 2,469	10.15-12.10 9.11-12.25 9.10-12.20 9.25-12.10 9.11-12.31
44 3,38 7,86 1,52 12	5,268,950 7 12,546,600 2,833,800	18,900 166,450 491,600 96,300 10,000	690,000 5,102,500 12,055,000 2,787,500 227,500	72.7 96.9 92.5 70.0 100.0	2,236 2,302 2,382 2,501 2,474	9.10-12.25 9.10-12.15 9.10-12.15 9.10-11.30
16 30,45		8,700 5,350,200	305,000 41,282, <i>5</i> 00	87.0 82.1	2,402 2,223	9.10-11.30 10.1-1.12

HO					r • 200		15			捕	凝	翠 数	使	用 親
区	水		系	文	万業	易	採	別	場	ę	ô	ät	φ	â
根室	河風	別 蓮	л л і	虹浜		別 中	西風门	森計 朱計	別 蓮 別	867 26,427 145 73 218	429 26,001 135 71 206	1,296 52,428 280 144 424	21,829 145 67 212	357 9,826 84 33 117
祵	別	当 賀	Л	厚	<i>"</i>	床	別厚	当	賀床	632	789 —	1,421	542 —	261
区				-			'	計	,,,	632	739	1,421	542	261
		海			区 			計		57,629	53,095	110,725	50,819	24,444
襟	別尾釧	恋 辺 牛 幌 路	- 71	太釧	"	路	別仮茅	寒 辽	1 牛 監招	5,601 3,669	129 4,525 5,352	247 10,126 9,021	118 5,588 3,616	4] 1,899 1,620
裳以	阿茶香十	〃 寒路川勝〃	川川川川	獨 阿白 十幕	, ,,	居 寒糠 勝別	雪 阿茶普打利	ar	經 塞路別內別	1,842 5,511 390 617 232 16,421 211	1,815 7,167 315 893 268 27,491	3,657 12,678 705 1,515 500 43,912 366	1,832 5,448 337 552 123 8,890 210	856 2,476 185 205 46 4,248 89
東海		// // //		十幕札	" !	勝別内	孫千東東西	代 15 12 3	別田母号号	2,439 16,551 705 704 159	1,922 16,488 2,762 2,194 452	4,361 33,039 3,467 2,898 611	2,332 10,996 567 480 104	910 4,348 159 178 41
X	歴広	// 舟尾	淵	大	"	樹	香札 歴広	\$ †	更内 舟尾	13 290 37,493 531 37	60 716 52,240 823 63	73 1,006 89,733 1,354 100	5 285 23,870 531 34	2 116 10,091 207 23
		海———			区			ā十 ————		50.530	65,423	115,953	36,601 	15,174
襟	幌元	別補	Ш Ш	幌元	浦	別河	幌元	補	別河	245 65	417 88	662 153	211 64	103 25
裳	三静新	石内冠	川 川 川	三静新	j	石内冠	三静新		石内冠	76 2, 502 285	79 2,015 250	155 4,51 7 535	74 2,332 247	40 1,257 105
以	鵡勇白败	払老生	川川川	勇白敷		払老生	鵡勇白敷		川払老生	173 771 637 508	269 750 381 400	442 1,521 1,018 908	150 763 611 480	65 384 239 224
西(長	万 部	Щ	長	万	部	長	万	部	93	75	168	92	46
海 区	遊落医知	楽 部 部 辺 地 内	Ш	遊知	//	部内	遊落茂知	楽辺	部部地内	1,575 56 2,725 764	1,207 62 4,328 397	2,782 118 7,053 1,161	1,504 45 2,695 753	693 32 1,113 260
	, ""	海	,		Ø			計	. ~	10,475	10,713	21,193	10,021	4,586
	本	4	¥	ß	Œ.	4	<u> </u>	計		174,237	211,559	385,796	132,802	59,074
j	前	4	F	ß	复	É	à	計		99,313	112,697	212,010	76,829	34,619
į	対		比		ŧ	普		减		⊕74,924	⊕93,862	⊕173,936	⊕55,973	@24,455

魚 数		運搬害死卵数	以 容 卵 数	9 親魚	平均	期 間
1				使用率	採卵数	
1,205 31,655 229 100 329	2,132,870 48,765,570 432,700 187,300 620,000	37,870 5,388,070 20,200 24,800 45,000	2,095,000 43,377,500 412,500 162,500 575,000	97.8 82.6 100.0 91.8 97.2	2,515 2,234 2,984 2,796 2,925	9. 1—11.30 9. 1—11.26 9. 1—11.12
803	1,214,180	24,180	1,190,000	85.8	2,240	9.10-11.30
803	1,214,180	24,180	1,190,000	85.8	2,240	9. [—[].12
75,263	111,805,830	8,449,830	103,359,000	83.2	2,200	
1 <i>5</i> 9 7,487 5,236	290,000 12,354,200 10,648,700	15,000 564,200 801,200	275,000 11,790,000 9,847,500	100.0 99.8 98.5	2,457 2,457 2,945	9.25—12.20 9.20—12.15 9.20—12.13
2,688 7,924 523 757 169 13,138 299	6,147,300 46;796;000 949;100 1,435,200 315,800 28,273,500 538,900	83,300 833,500 7,100 35,200 1,600 1,208,500 7,600	6,065,000 15,912,500 942,000 1,400,000 314,200 27,065,000 531,300	98.9 99.5 86.4 89.5 53.0 54.1 100.0	3,083 3,356 2,816 2,600 2,567 3,217 2,566	9.16-12.7 9.10-11.30 9.16-12.9 10.1-12.10 9.13-11.30 9.25-11.20
3,242 15,344 726 658 145	5,678,200 30,527,900 1,566,000 1,232,800 186,600	500,700 1,470,500 66,000 12,800 4,100	5,197,500 29,057,000 1,500,000 1,220,000 182,500	95.5 66.4 89.2 68.2 65.4	2,443 2,776 2,761 2,568 1,793	9.26—12.13 10. 3—12.28 9.11—11.12 9.11—1.20 9.11—10.25
7 402 33,961 738 <i>51</i>	[5,300 655,100 68,623,900 1,417,900 94,100	300 15,100 3,285,600 15,900 1,600	15,000 640,000 65,408,300 1,402,000 92,500	38.5 98.6 63.7 100.0 91.8	3,050 2,290 2,878 2,670 2,767	9.23—10.25 11.10— 9.25 10.10—12.24 10.5—11.20
51,775	102,345,200	4,809,700	97,536,500	72.4	2,796	
314 89	580,150 183,900	7,650 400	572,500 [83,500 (含寄贈卵 5,000)	85.1 98.4	2,749 2,373	10. 8-12.12 9.21-12.18
114 3,589 352	190,640 6,281,230 691,100	640 121,230 18,600	195,000 6,160,000 672,500	97.3 93.2 86.6	2,711 2,678 2,797	10. 1-12.17 9.21-12.20 9.15-12.23
215 1,147 850 704	372,500 2,275,750 1,679,500 1,276,600	13,250 20,500 21,600	372,500 2,262,500 1,659,000 1,255,000 (含寄贈卵69,890)	87.7 98.9 95.9 96.4	2,483 2,982 2,748 2,659	9.18—11.15 10.10—12.20 10.3—12.27 9.27—12.31
138	248,600	3,100	315,390	93.9	2,702	9.28—12.8
2,197 77 3,808 1,013	4,766,500 133,750 4,250,000 2,335,100	126,500 — 16,900 12,600	4,640,000 [33,750 4,233,100 2,322,500	95.5 80.4 98.9 98.6	3,169 2,972 1,577 3,101	10. 1—12.30 10.12—12.15 10. 7—12.15 10.20—12.17
14,507	25,256,320	392,970	(含寄贈卵74,890) 24,977,240	67,9	2,521	
191,878 111,443	334,235,490 211,314,300	15,552,840 10,598,130	(含寄贈卵487,390) 319,170,010 (除共試卵 19,000) 200,697,170	76.2 77.4	2,517 2,750	運害率 4,7%
⊕80,428	⊕122,921,160	⊕4,954,710	① 118,332,840			

~この表の説明~

鮭補獲採卵或績を海区別に見ると、襟裳以東海区の最高で捕獲数116,958尾、採卵数102,346,200粒、次いで河川別では十勝川の捕獲数89,733尾、採卵数68,693,900粒が最高である。

⑥ 海 区 水 系 別 鮭

									, ,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
海区	7	rk	系	ji.	業	場	以 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数
	岩	尾 別	Щ	岩	尾	73(110,000	6,400	103,600
	斜	里	Щ	徐		里	5,150,600	851,900	4,298,700
才	址	別	Д	(1F		别)	1,200,000	165,100	1,034,900
	藻	琴	Щ	藻		琴	7,585,000	849,480	6,735,520
=	網	走	Щ	網		走	7,025,000	949,800	6,075,200
	常	呂	Л	 #L		見	10,060,000	449,900	9,610,100
ッ	夢	別	Л	遊		别	11,052,500	978,970	10,073,530
	潜	滑	Л	浩			6,286,500	680,600	5,605,900
ŋ						滑			
	興	部	Л	興		部	100,000	9,250	90,750
海	幌	内	Л	幌		内	120,000	55,100	64,900
	徳	志 別	Щ	徳	志	590	1,810,000	402,400	1,407,600
Ø	幌	别	Щ	歇		登	1,367,500	1,367,500	0
	E E	8 0	Щ	E CT		別り	2,492,500	199,900	2,292,600
		海	£	Z	計		54,359,600	6,985,300	47,393,300
	天	塩	川	(13	クシナ	・イ)	600,000	354,650	245,350
日		"		天		墭	11,574,600	1,485,510	10,089,090
_		″		名		寄	2,232,500	256,780	1,975,720
	ļ	天	塩	Ж	計		14,407,100	2,095,940	13,310,160
	暑	寒別	Ш	増		毛	1,742,470	1,667,270	75,000
本	浜	益	Щ	(浜		益)	521,900	59,300	462,600
	石	狩	Ш	石		狩	1,499,600	423,500	1,076,100
		"		音		江	402,000	36,500	365,500
海		//		千		趢	25,020,000	2,115,700	22,904,300
11-9		石	籽	, 111	計		30,887,570	2,575,700	24,345,900
	尻	别	Щ	尻		別	700,000	44,200	655,800
	朱	太	Л	朱		太	1,619,500	179,600	1,439,900
区	利	别	Ш	利		H	1,380,000	51,800	1,328,200
	厚	沢部			沢	部	3,710,000	294,800	3,415,200
		海 ———	<u> </u>	≤ 	計		51,002,570	6,969,610	44,032,760
根	羅	臼	Л	羅		日	5,665,800	451,810	5,213,990
室	薫	別	Щ	瀻		别	14,566,200	1,133,220	13,432,980
海	忠	類	Ш	(忠		類)	1,000,000	121,100	878,900
	伊	茶 仁	Щ	伊	茶	仁	9,271,500	792,900	8,478,600
区	当	幌	Щ	計	根	別	7,732,500	417,700	7,314,800

根室海区の捕獲数!10,725尾,採卵数!!!,805,830粒である。

孵 化 放 流 成 績 麦

孵 化	放 流	灰	植	交	
解出率	放流尾数	<u> </u>	期 間 至	備	考
94. [100,000	я в 4. 25	4. 30		
83.4	4,212,700	3. 20	4. 3	【網走より発眼卵 975,000粒受 【類別より直後卵 5,270,000粒受	
86.2	1,014,200	4. 2	4. 8	斜里より発眠卵 1,200,000粒受	
83.3	6,735,000	4. 1	5. 20	(武佐より直後卵1,590,000粒受 (網走より直後卵1,000,000粒受	
85.0	6,063,000	4. 26	5. 11	網走より発眠的 1,080,000粒受	
	7,595,000	4. 1	5. 21	14線より直後卵「,850,000粒受	
91.4				(網走より発眠卵 400,000粒受	
91.1	10,022,000	3. 25	5. 31	14線より直後卵 1,070,000粒受 幌内より直後卵 425,000粒受	
89.2	5,335,900	4. 15	5. 30	北見より発眠卵1,725,000粒受	
92.5	90,000	4. 10	5. 31	【釧路より発眠卵 1,991,500粒受	•
54.0	63,000	5. 25	5. 30		
77.0	1,140,000	6. 20	6. 22	歌登より直後卵 775,000粒受	
0	0	_	-	孵化用水断水収容邓全数凍結死	
92.0	2,246,700	3. [4. 15	·• · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
87.2	44,657,500	3. 1	5. 31		
40.9	233,000	4. 10	4. 10	{天塩より直後卵 600,000粒受 発眼後死卵 291,690粒あり	
87.2	7,248,900	4. 25	6. 13	【放流尾数は重量計算による 【歌登より発眼卵 125,000粒受	
88.4	1,897,700	4. 26	5. 14	美深より直後卵 2,232,500粒受	
85.4	9,379,600	4. 25	6. 13		
4.4	70,370	6. 1	7. 10	天塩より直後卵 1,590,000粒受	
88.6	450,000	4. 16	4. 16	釧路より発展卵 521,900粒受	
71.8	1,027,600	2. 10	3. 20	千歳より発展卵 1,000,000粒受	
90.9	347,000	5. 1	5. 10		
91.5	22,635,000	2. 17	5. 11	石狩より発眼別1,000,000粒受	
90.4	24,009,600	2. 10	5. 11		
93.7	655,300	3. 10	5. 25		
90.8	1,433,000	4. 10	4. 30	釧路より発眼卵 1,033,500粒受	
96.3	1,327,000	3. 17	3. 31		
92.1	3,350,000	3. 1	3. 18		
88.6	40,674,870	2. 12	7. 10		
92.0	5,199,000	3. 25	4. 28		
92.2	13,319,980	5. 1	6. 15		
87.8	703,000	4. 20	4. 30	根室より発展別1,000,000粒受	
91.4	8,332,800	5. 20	6.10	薫別より直後卯 4,959,000粒受	
94.6	6,111,300	3. 10	5. 20	薫別より直後卵 5,012,500粒受	

海区	2	k	系	1/8	業	場	収 容 卵 数	死 卵 数	解 出 尾 数
	標	津	—— ЛТ	根		室	9,615,000	1,836,100	7,728,900
根		"		中	標	津	6,742,500	1,452,600	5,289,900
	ĺ	標	津	Щ	計		16,357,500	3,338,700	13,013,800
室	床	丹	Щ	(床		丹)	600,000	16,900	583,100
	西	別	Щ	虹		עלל	24,425,000	2,909,320	21,515,680
佈	風	蓮	Л	浜		中	4,770,000	203,940	4,566,060
157	別	当賀		厚		床	2,410,000	178,900	2,231,100
区	/"	海	/··[計	,,	86,798,500	9,564,490	77,234,010
	尾	 幌	——- Л[太		H	5,390,000	409,800	4,980,200
	1	路	Л	釧		路	10,445,000	1,284,700	9,160,300
襟		//	7.1	鹤		居	6,065,000	251,120	5,813,880
			路	JIJ.	8+	//	16,510,000	1,535,820	14,974,180
裳	[in]	釧塞	₽B 川	河	μl	寒	1,140,000	167,200	972,800
5 X	1			l					
	茶	路	Щ	白		糠	1,202,000	121,200	008,080,1
以	音	别	Ш.	(音		别)	1,166,750	137,100	1,029,600
	+	勝	Щ	幕		別	15,280,000	687,500	14,592,500
東		"		札		内	18,226,100	738,400	17,487,700
		"		+		勝	27,996,800	1,174,300	26,822,500
海		"		(利		別)	531,300	36,400	494,900
		+	朥	Щ	計	}	62,034,200	2,636,600	59,397,600
区	歷	舟	Щ	大		樹	2,202,000	68,700	2,133,300
_	広	尾	Л	(広		尾)	1,092,500	27,000	1,065,500
		海	Þ	₹	計		90,737,400	5,103,420	85,633,980
	幌	別	JIJ	幌		5 0	_	—	_
	元	浦	Л	尤	浦	河	1,863,700	189,500	1,674,200
襟	≡	石	Л	≓		石	1,629,800	450,200	1,179,600
T.ri	静	内	Щ	静		内	5,098,800	122,500	4,976,300
	新	冠	Щ	新		冠	1,733,700	106,200	1,627,500
裳	鶏		Ж	(鵝		л <u>р</u>	872,500	19,900	852,600
	剪	払	Щ.	勇		払し	1,972,500	52,400	1,920,100
f=1	白	老业	Ж	白城		老	1,659,000	69,700	1,589,300
以	敷	生]][]]]	敷		生	1,255,000	31,400	1,223,600
	長 虻	流 田	ЛЦ Д	(伊 (虻		達) 田)	1,046,400 1,038,700	223,900 75,000	822,500 943,700
西	質	気 別		(豊		浦)	1,043,000	129,400	913,600
	長	万部		\豆 長	万	部	815,390	199,470	615,920
\ <u></u>	遊	楽 部		八	/3	雲	6,180,200	312,000	5,868,200
海	-44	ж пр //	7.1	遊	楽	部	3,340,000	183,100	126,150
			彰	部 川			9,520,200	495, 100	9,025,100
区	落	部	.、 川	 (落		部)	133,750	7,600	3,156,900
	茂	辺	地	(茂	辺	地)	4,233,100	159,100	4,074,000
_	ı			知	-	内	2,322,500	759,400	1,563,100
	知	内	713	,,,,,					
	知	海)·i		計		36,233,040	3,090,770	33,147,270

孵出率	放 洗 尾 数	放流	期間至	備考	
80 · 4	7,404,000	Я н 4. 5	Я в 5.31	保津より直後明10,430,000粒受 14線より直後明 185,000粒受 185,000粒皮 185,00000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 185,0000 18	
78.5	5,228,700	6. 2	6. 5	/薫別より直後卵 3,052,500粒受	
1.08	12,632,700	4. 5	6. 5	虹別より直後卵 3,655,000粒受	
97.1	553,000	3. 20	4. 29	計根別より発展卵 600,000粒受	
	21,446,500	2. 1	5. 10	HIMANA TOLERAND COOLING ET AL	
88.1	4,521,000	4. 20	6. 5	14線より直後卵 4,195,000粒受	
95.7	•				
92.6	2,186,500	4. [5. 3l	14線より直後卵 1,220,000粒受	
89.0	74,961,680	2. 1	6. 15		
9 2. 4	4,823,500	4. 10	5 . 2 5	FIAMS I WERE A DOZ FORWART	
87.7	9,137,200	3. 25	5. 20	√14線より直後卵 3,992,500粒受 ↓太田より直後卵 6,675,000粒受	
95.9	5,791,000	3. 10	5 . 2 5		
90.7	14,923,200	3. 12	5. 25		
85.1	944,320	4. 10	4. 30	白糠より直後卵 495,000粒受	
89.9	1,068,800	5. 1	5. 31	阿恕より直後卵 297,000粒受	
88.3	1,019,000	5. 25	5 . 3 0	釧路より発眼卵 852,500粒受	
95.5	6,980,500	3. 10	5. 10	2424 8 2 7000 912 32-12004 2 2	
95.9	17,358,700	3. 10	5. 20		
	25,498,700		6. 8	な には と	
95.8		3. 20		幕別より 1,500,000粒受	
92.7	475,000	4. 25	4. 30		
95.7	50,312,900	3. 10	6. 17		
96.9	2,120,600	3. 10	4. 30	札内より発展卵 800,000粒受	
97.5	1,064,000	4. 20	6. 17	札内より発展卵 1,000,000粒受	
94.4	76,281,320	3. 10	6. 17		
_	-			発眼後元浦河へ金数移殖	de TOP
89.3	1,628,000	2. 15	4. 30	【幌別より直後卵 230,000粒, 発眼卵 342,500% 【釧路より発眠卵 1,107,700粒受	八文
72.4	1,175,000	3. 15	4. 30	釧路より発展卵 1,434,800粒受	
97.6	4,975,000	4. 5	5. 2 0		
93.9	1,613,800	4. 10	5. 10	静内より発展卵 1,061,200粒受	
97.3	848,000	4. 15	4. 25	勇払より発眼卵 500,000粒受	
97.3	1,887,800	3. [3	4. 16	支場より発展卵 210,000粒受	
95.8	1,588,000	3. 15	4. 25		
97.5	1,222,000	2. 20	3. 3 0	SHOTTER) A SECULTION 1 O.L. STOWN	
78.6	800,000	2. 22	3. 10	釧路より発展卵 1,046,370粒受	
92.8 87.6	962,000 911,000	2. 14 3. i	2. 22	釧路より発眼卵 1,038,700粒受	
78.9	585,000	3. I 5. 17	3. 5 5. 20	釧路より発眼期 1,043,000粒受	
95.0	5,864,000	2. 24	5. 20 5. 10	厚沢部より発眼卵 465,000粒受	
94.5	3,063,900	2. 24 3. 10	5. 10 5. 12		
94.8	8,927,900	2. 24	5. 21	【厚沢部より直後卵2,835,000粒, 発眼卵500,000 十勝支場より発眼卵1,552,700粒受	∿ ₽ <u>₩</u> "
94.1	126,000	3. 15	3. 31	•	
96.2	3,940,800	2. 25	4. 20		
67.3	1,562,400	5. l	6. IO		
91.5	32,752,700	2. 14	6. 10		
90.1	269,338,070	2. 1	7. 10		

6. 鱒增殖事業概況

(1) 鱒增殖事業概況

鱒増殖事業は直営18カ所、委託30カ所、計48カ所の捕獲採卵場において実施した。

桜鱒は前年度に比べて**沂**上状況が良く,前年度の成績を上廻つたが,目標の26.5%という不良の成績に終つた。一方樺太**鱒は不**漁年度の上に沿岸流網漁業の漁獲努力の強化によつて,**沂上親** 魚は全く低調を極めた。捕獲数は目標の僅か17.7%であつた。これ等を年度目標及び年度実績と対比すれば下表の通りである。

X	分	8召	和 29 年	度	昭和28年度	対	比
121),	目 標	美 績	遂成率	THE PARTIES TO THE	增	减
捕	獲数	33,000	8,773	26.5	7 , 155	1,618	
♀使	用数	12,579	4,471	35.5	3,097	1,374	
採	卵 数	手粒 18,700	物 9,314,930	49.8	6,580,34 0	粒 2,734,590	
運搬害	死卵数		110,450	_	170,840	_	61,390
収容	卵 数	18,000	9,201,480	51.8	6,343,500	2,857,980	

				17年	X.	部 导		
X		分	昭	和 29 年	度	昭和28年度	対	比
			月 標	実 績	選 成 率	1,20		/咸
捕	獲	数	93,500	尾 16,619	17.7	88,162		尼 71,543
Q	使 用	数	33,642	5,650	16.7	26,053		20,403
採	叨	数	40,500	7,745,120	19.1	32,961,750		粒 2 5,216, 630
運挽	医害死卵	函数	_	119,250		839,450		720, 200
収	容 卵	数	39,080	7,625,870	19.5	32,045,800		24,419,930

(2) 技術的な問題点とその分析

觸は習性上、春期増水期に上流に派上するので、捕獲が困難であるばかりでなく、産卵床が上流部であることと成熟には長期を要するため、蓄養が甚だ困難な場合が多く、増殖事業上多くの問題点を残している。

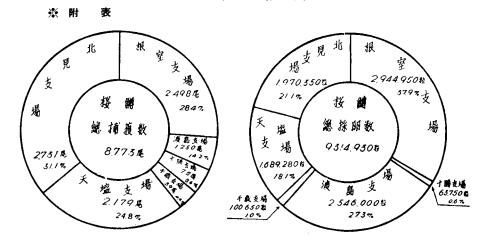
早親魚使用率の50%以下の支場では渡島、十勝、根室が見られ、本事業の検討が考慮されるばかりでなく、資源的意義からの検討も必要であろう。又孵出率は鮭に比べて何れも低く、運害率もやや高く技術上研究の余地がある。

こうした点の他孵化技術上の問題点となる事項は略同じ傾向にあるので省略する。

最近10ヵ年の鱒♀使用率の状況

年月		0	9	年 度		6
4- 12		桜 鱒	樺 太 蹲		桜 鱒	樺 太 鱒
昭和2	0.	29.9	19.0	昭和25	21.6	21.4
2	1	33.2	19.7	26	34.1	32.4
2	2	12.2	27.3	27	43.5	61.3
2	3	23.1	37.0	. 28	67.3	60.4
2	4	33.5	46.8	29	74.3	68.0

支場別桜鱒親魚捕獲採卵成績図



① 支場別桜鱒親魚捕獲採卵成績比較表

-	易名		捕	箯	数	使 用	親魚	数	採卵数	運搬害	♀親魚 使用率	運害 率
	<i>э</i> л ц		Q	8	ii f	Ÿ	ô	हिंग ।		死卵数		
46	見{	本年	1,862	鬼 869	度 2,731	1,147	№ 397	1,544	1,970,350	21,150	61.6	1.0
北	~ }	前年	1,513	745	2,258	110,1	332	1,343	1,557,140	29,840	66.8	1.9
7-	ر ار بد	本年	1,371	808	2,179	890	256	1,146	1,689,280	_	64.9	. —
天	塩	前年	553	300	853	243	73	316	523,320	14,320	43.9	2.7
-	اليد	本年	31	8	39	31	14	45	100,600	2,000	100.0	1.9
千	歳{	前年	72	14	86	6 6	17	83	189,710	4,210	91.7	2.2
Vedic	ا کے	本年	925	325	1,250	884	302	1,186	2,546,000	33,500	95.6	1.3
渡	鳥	前年	713	157	870	711	143	854	2,185,900	47,700	99.7	2.1
1.	m∗ ∫	本年	5 5	21	76	33	12	45	63,750	1,250	60.0	1.9
+	勝{	前年	26	11	37	26	11	37	63,330	830	100.0	1.3
244	[ች	1,771	727	2,498	1,486	516	2,002	2,944,950	52,550	84.0	1.7
裉	室{	前年	1,724	1,327	3,051	1,040	262	1,302	2,040,940	74,940	60.3	3.6
_	, ,	本年	6,015	2,753	8,773	4,471	1,497	5,963	9,314,930	110,450	74.3	1.1
ā	+ {	前年	4,601	2,554	7,155	3,097	338	3,935	6,530,340	171,840	67.3	2.6
前年	度とり	增	1,414	204	1,168	1,374	659	2,033	2,734,590		7.0	
о́)	七較	瞂								61,390		1.4

~この表の說明~

桜鱒は前年度に比べて各支場とも上廻つた成績を示した。支場別では根室支場が最高で、捕獲数8,773尾、採卵数9,314,930粒である。♀親魚使用率の最も悪い支場は十勝支場で、樺太鱒に比べると他支場管内とも好成績である。

② 支事業場別桜鱘親魚捕獲採卵成績表

事業場	捕獲	尾数	使用	親魚数	採 卵 数	運搬害	収容卵数	♀親魚	平均採	期 間
1.24.401		8 Ti	Ŷ	ð 🔐	13K 911 30X	死卵数	州人在于月1900	使用率	卵 数	
支岩斜藻湧場川里琴川	73 189 799 58 93	26 99 63 252 349 [, [48 20 78 41 134	78 28 135 640 58 19	16 44 63 248 197 837 20 78 11 30	46,300 298,200 1,199,300 70,000 27,950	500 800 8,300 2,500 450	45,899 297,400 1,191,000 67,500 27,500	38.4 97.9 80.1 100.0 20.4	1,654 1,612 1,874 1,207 1,471	7. 1 · 9.30 6. 1 · 9.22 6. 1 · 9.20 6. 1 · 9.17 5.21 · 9.28
猪 潤 網 那 例 水見計	501 27 122 1.852	304 805 5 32 61 183 8692,731	109 27 81 1,147	58 167 5 32 27 108 3971,544	181,500 43,500 103,600 1,970,355	6,500 1,000 1,100 21,150	175,000 42,500 102,500 1,949,200	21.8 100.0 66.3 61.6	1,665 1,611 1,279 1,718	6. 1-10. 8 8. 1- 9.22 6.11-10.13
支 徳 幌 頓 増 別 別 別 用 毛	437 704 25 126 79	261 698 3811,085 20 45 67 193 79 158	367 396 5 94 98	94 461 122 518 1 6 29 123 10 38	792,500 668,800 7,500 137,500 82,980	 	792,500 668,800 7,500 137,500 82,980	84.0 56.3 20.0 74.6 35.4	2,159 1,689 1,500 1,463 2,964	6.16 · 9.30 6.11 - 10.20 6.10 - 9.30 6. 8 - 9.30 6. 1 - 9.29
天塩計	1,371	8082,179	890	2581,146	1,639,230	_	1,639,230	54.9	1,893	
支 場 元浦河 千歳計	29 2 31	6 35 2 4 8 39	29 2 31	12 41 2 4 14 45	95,500 5,100 100,600	2,000 2,000	93,500 5,100 93,600	100.0 100.0 100.0		9.15-10.20 9.21-10.20
尻 別 朱 太 渡島計	796 129 925	2821,078 43 172 3251,250	760 124 834	269 [,029 33 [57 302 1,135	2,193,300 352,700 2,545,000	30,800 2,700 33,500	2,162,500 350,000 2,512,500	95.5 96.1 95.5	2,885 2,844 2.830	9. 1-10.10 8. 7-10.10
札 内 太 田 十勝計	14 41 55	9 23 12 53 21 76	 33 33	 12 45 12 45	63,750 63,75 0		62,500 62,500	80.5 60.0		7. 6- 8.31 7.11- 9.30
厚浜 虹詽 根標 中別別津	325 363 633 67 342	175 500 254 617 157 790 22 89 103 445	311 353 513 41 257	131 442 168 531 138 651 10 51 68 325	459,320 655,900 1,226,330 87,700 514,200	11,820 17,500 13,830 2,700 6,700	447,500 638,400 1,212,500 85,000 507,500	95.7 100.0 81.0 61.2 75.7	1,477 1,807 2,391 2,139 1,985	7.17- 9.30 7.11-10.10 7. 4-10.31 7. 4- 9.30 7. 1-10.20
伊茶仁 薫 別 根室計	17 24 1,771	9 26 7 31 7272,498	1,435	$\frac{1}{5162,002}$	1,500 2,944,950	52,550	1,500 2,892,400	_	1,500	8. 1-10.20 7. 4- 9.30
合 計	6,0152	.7588,773	4,4711	,4975,963	9,314,930	110,450	9,204,480	74.3	2,033	

~この表の説明~

♀親魚使用率50%以下の事業場をみると、北見支場管内では支場、湧別、渚滑、幌別と、天塩支場の 増毛の 各事業場で、技術的改善の要がある。 又従来成績の悪かつた視室支場の向上はめざましいものがある。

③ 支場別桜鱒孵化放流成績比較表

支坑	易 名		収容卵数	死	PP	数	孵	出	数	狮	出	率	放	洗	数
رائـ		本年	1,949,200		256,	₩ 470	1,	,692,	尾 730		85.8	;	1	,654,0	000 000
北	見	前年	1,547,300		200,	520	1.	,346,	780		87.0	l	. 1	,328,9	940

	場	名		収容卵数	死 卵 数	孵 出 数	解 出 率	放流数
		ا ا	本年	1,689,280	297,830	1,391,450	82.4	尾 893,290
天		塩	前年	509,000	36,000	473,000	92.9	270,700
		المد	本年	98,600	13,300	85,300	86.5	84,400
Ŧ		歳	前年	185,500	27,150	158,350	85.3	156,800
		٦, ١	本年	2,509,500	314,000	2,195,500	87.5	2,193,000
渡		鳥	前年	2,138,200	251,400	1,886,800	88.2	1,884,000
		mvs \$	本年	62,500	17,300	45,200	72.3	43,100
+		勝{	前年	62,500	10,800	51,700	82.7	50,200
		اريـر	本年	2,892,400	282,910	2,609,490	90.2	2,590,380
裉		室{	前年	1,901,000	141,010	1,759,990	92.6	1,712,800
	= 1	J	本年	9,201,480	1,181,810	8,019,670	87.2	7,456,170
	計	J	前年	6,343,500	666,380	5,676,620	89.5	5,403,440
ĦŰ	年	度{	增	2,857,980	514,930	2,343,050		2,052,730
ځ	比	較し	诞				2.3	

④ 支,事業別桜鱒孵化放流成績表

Jš	業場	収容卵数	死卵数	,	孵出率	放流尾数	放洗其自	月間 至	備考
支い岩斜藻	場) 場)別里琴	45,800 24,900 272,500 1,191,000 67,500	12,600 500 7,800 205,400 9,100	33,200 24,400 264,700 985,600 58,400	72.5 97.9 97.1 82.8 86.5	33,000 24,000 250,000 965,900 58,000	3. 1 ? 4.10 3.10 3.20	5.10 ? 4.30 4.3 4.20	自然放流
湧猪與幌北	別 滑 部 内 計	27,500 175,000 42,500 102,500 1,949,200	880 6,200 4,590 9,400 256,470	26,620 168,800 37,910 93,100 1,692,730	96.8 96.5 89.2 90.8 86.3	26,000 166,500 37,600 91,000 1,652,000	3. 1 4.15 3. 5 5.20 3. 1	3.31 4.20 3.31 5.25 5.25	
支徳歌頓增	志 場別登別毛	792,500 668,800 7,500 137,500 82,980	241,280 40,000 600 12,500 3,450	551,220 628,800 6,900 125,000 79,530	69.2 93.5 92.0 90.9 99.4	213,760 480,000 0 120,000 79,530	3.26 3.20 — 3.1 5.20	5.30 3.30 - 4.15 5.30	放流数は重量計算による {用水断水のため稚魚全数 凍死
天	塩計	1,689,280	297,830	1,391,450	82.4	893,290	3.1	5.30	
支元干	場 浦河 歳 計	93,500 5,100 98,600	12,700 600 13,300	80,800 4,500 85,300	80.6 88.2 86.5	80,000 4,400 84,400	2. 9 1.29	2.14 1.29	
尻 朱 渡	別太島計	2.159,500 350,000 2,509,500	290,000 24,000 314,000	1,869,500 326,000 2,195,500	86.6 93.1 87.5	1,869,000 324,000 2,193,000	2.28 3. 1	4.30 4.30	【この他北大水産学部へ受 【精直後卵3,000粒分与
太十	勝計	62,500 62,500	17,300 17,300	45,200 45,200	72.3 72.3	43,100 43,100	4. 1	4.20	
支厚浜虹計	場床中別別	507,500 447,500 638,400 999,500 85,000	83,400 24,170 46,200 96,110 5,400	424,100 423,330 592,200 903,390 79,600	83.6 94.6 92.4 90.8 93.6	422,800 414,900 590,000 897,280 79,000	3. 1 4. 1 3.10 1.10 2.10	3.31 4.30 3.31 1.31 2.10	【中標准から受精直後卵 507,500粒移殖【この他発展卵213,000粒 】 「配日へ移殖
羅	茶 仁 安 計	1,500 213,000 2,892,400	30 27,600 282,910	1,470 185,400 2,609,490	98.0 92.7 90.2	1,400 185,000 2,590,380	2.28 1.28	2.28 1.28	【虹別から発眼卵213,000 【粒移殖
合	計	9,201,480	1,181,810	8,019,670	87.2	7,456,170			

	梅			_							捕	獀	尾	数	使	用	親	魚
	区	小	•	系	泛	事業	※ 場	採	駉	場	ę	(5	<u></u>	Ş		1	5
	オコ	ル岩斜止藻	シ尾里別琴		岩斜藻	尾""	別里琴	ル岩斜止藻	シ尾	ヤ別児別琴	เช 14 175 548 251 58		5 58 273 76 20	19 233 821 327 78	14 17 52 113 58	[7 3		所 5 58 174 23 20
	л У	常勇浩與雄	呂別滑部武	川川川川	北湧猪與幌		見別滑部内	端中元與雄	湧	野別西部武	73 93 501 27 4		26 41 304 5	99 134 805 32 4	28 19 109 21) }		16 11 58 5
	海区	幌風 徳幌頓	内 烈布別 志別別		徳 歌頓	// 志 //	別登別	幌風徳幌頓	烈志	內布別別別	118 57 647 25 126		61 10 371 20 67	179 67 1,018 45 193	8 57 339 9	7 9 5	(含再/	27 使用)20)102 1 29
			海	i		区			āt		2,717	1,	337	4,054	1,64	2		549
	日	天 信暑	塩″ 砂別	加 加	天地	"	塩毛	紋美 信暑	穂 計 錾	内架 砂別	380 57 437 70 9		223 38 261 75 4	603 95 698 145 13	310 57 36 19	7	(信砂分	73 21 94 10 }使用)0
	本!	石	狩 ″	л Л	千人	"	歳	漁西目	ît	川越名	5 24 29 559		2 4 6 188	7 28 35 747	24 29 559	1 9	(含再((//	88Ì
	海	朱	" " 太	Л	朱	" "	太	百崩作	国計	名四越開	146 91 796 129		56 38 282 43	202 129 1,078 172	146 51 760 124	5	("	55 25 269)33
	Д		海	į	l ,	区		l	計		1,470		671	2,141	1,30	3	(")418
	襟西 裳海	元	浦	Щ	元	浦	河	元	浦	河	2		2	4		2		2
	以区		海	į		区			計		2		2	4	:	2	•	2
	根	植忠標	別類津〃〃	##	瀬伊中	茶標〃〃	別仁津	植忠武ヶ標	· •	別類佐ナ津	24 17 10 48 284		7 9 1 22 80	31 26 11 70 364				1 1 7 60
·	室	当春床西	幌別丹別	川川川川	計虹	根""	別別	当春床[4	计	幌別丹線	342 23 26 18 61		103 4 10 8 20	445 27 35 26 81	25 2 2 1	9 5 5		68 2 6 2 5
	海区	風	// 蓮 //	Л[: пп =	浜	"	中	西門風別	春計朱 计当	別別蓮質	572 633 2 361 363 325		137 157 7 247 254 175	709 790 9 608 617 500	50 51 36 36 31	3 2 1 3		133 138 1 167 168 131
		ני <i>מ</i> ו	当貨油		厚	区	床	'	計	玛	1,771		727	2,498	1,43			516

% 1	桜、鱒	親魚	預後:	採 卵 成	積 表			
使 月	現 魚	数 	採 卵 数	運搬害死卵数	収容卵数	♀親魚	平均採卵数	期間
14 171 527 113 58	5 58 174 23 20	19 229 701 136 78	24,900 273,300 1,042,100 157,200 70,000	800 7,100 1,200 2,500	24,900 272,500 1,035,000 !56,000 67,500	100.0 97.7 96.2 45.0 100.0	1,780 1,598 1,977 1,391 1,207	7. 1— 7.28 6. 1— 9.22 6. 1— 9.13 6. 1— 9.20 6. 1— 9.17
28 19 109 27	16 11 58 5	44 30 167 32 	46,300 27,950 181,500 43,500	500 450 6,500 1,000	45,800 27,500 175,000 42,500	38.4 20.4 21.8 100.0	1,654 1,471 1,665 1,611	7. 1- 9.30 5.21- 9.28 6. 1-10. 8 8. 1- 9.22 8. 3-10.13
81 57 339 5 94	27 (含再使用)20 (")102 1 29	108 77 441 6 123	103,600 100,000 568,800 7,500 137,500	1,100 — — — —	102,500 100,000 568,800 7,500 137,500	68.7 100.0 52.4 20.0 74.6	1,279 1,750 1,678 1,500 1,463	6.11— 9.30 7.20—10.20 6.11—10.20 6.10— 9.30 6.8— 9.30
1,642	549	2,191	2,784,155	21,150	2,763,000	60.4	1,701	
310 57 367 19 9	73 21 9 1 10 (信砂分使用)0	383 78 461 29 9	682,500 110,000 792,500 57,270 25,710		682,500 110,000 792,500 57,270 25,710	81.6 100.0 84.0 27.1 100.0	2,202 1,930 2,159 3,014 2,857	6.16 9.30 8. 1 9.30 6. 1 9.24 6.18 9.29
5 24 29 559 146	2 (含再使用)f0 (")l2 [88 56	7 34 41 747 202	13,300 82,200 95,500 1,647,200 378,000	300 1,700 2,000 26,000 3,000	13,000 80,500 93,500 1,621,200 375,000	100.0 100.0 100.0 100.0	2,660 3,425 3,293 2,900 2,589	9.20—10.15 9.15—10.20 9.1—10.10 9.1—10.10
55 760 124	25 269 (")33	80 1,029 157	168,100 2,193,300 352,700	1,800 30,800 2,700	166,300 2,162,500 350,000	60.4 95.5 96.1	3,056 2,886 2,844	8.10-10.10 8.7-10.10
1,303	(")418	1,726	3,516,980	35,500	3,431,480	89.1	2,639	
2	2	. 4	5,100	-	5,100	100.0	2,500	9.21-10.20
2	2	4	5,100	· · · · · ·	5,100	100.0	2,500	
1 6 13 238	1 1 7 60		1,500 11,200 28,100 474,900	1,200 600 4,900	1,500 10,000 27,500 470,000	58.8 60.0 31.3 83.8	1,500 1,187 1,207 1,995	7. 4— 9.30 8. 1—10.20 9.11—10.20 7.21— 9.30 7. 1— 9.30
257 9 26 6 12	68 2 6 2 5	325 11 32 8 17	514,200 20,400 52,000 15,300 33,340	6,700 400 2,000 300 840	507,500 20,000 50,000 15,000 32,500	75.7 39.1 100.0 33.3 19.7	1,985 2,267 2,000 2,550 2,778	7. 4— 9.25 7. 4— 9.25 7. 4— 9.30 7.16—10.31
501 513 2 361 363 311	133 138 1 167 168 131	634 651 3 528 531 442	1,192,990 1,226,330 3,000 652,900 655,900 459,320	12,990 13,830 100 17,400 17,500 11,820	1,180,000 1,212,500 2,900 635,500 638,400 447,500	87.6 81.0 100.0 100.0 100.0	2,381 2,391 1,500 1,809 1,807 1,477	7. 4— 9.30 7.11—10.10 7.11—10.10 7.17— 9.30
1,436	516	2,002	2,944,950	52,550	2,392,400	84.0	1,979	

— 海 区	水	系	支:	卢業	場	採 卯	場	捕	獲	尾	数	使	用	親	魚
襟東 裳海	 別寒辺 十 勝		太札		田内	別寒 辽 西 3	 ! 牛 号	φ 41 14	! δ	尾 12 9	চ† 53 23	!\$	33 —	8	ाह 12
以区	ļ ;	每		Z		計	<u>.</u>	55	 -	21	76		33		12
	今 前	年 年	度度		合合	計 計		6,015 4,601	2,7 2,5		8,778 7,155	4,4 3,0	-		1,497 838
	対	比		增		减		⊕ 1,414	⊕ 2	04 (⊕ 1,618	⊕ 1,3	574	\oplus	659

~この表の説明~

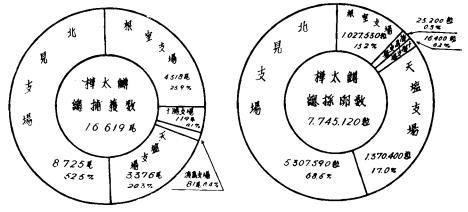
海区別に見るとオコック海区の最常の成績を示し、捕獲数4,054尾、採卵数2,784,150粒、次いで 根室海区の 2,498尾、採卵数2,944,950粒であつた。 之を全道的に見ると捕獲数8,773尾、採卵数9,314,930粒で昨年度に比べて好成績を示した。

⑥ 海区水系別桜鱏孵化放流成績表

海区	水	系	भुङ	業	場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵 出率	放洗尾数	放流自		備	-
ते । =	ル岩斜藻常	姐	つ岩斜藻北	.シ 尾		24,900 272,500 1,191,000 67,500 45,800	500 7,800 205,400 9,100 12,600	24,400 264,700 985,600 58,400	97.9 97.1 82.8 86.5	24,000 250,000 965,900 58,000 33,000	3.10 3.20		自然放流	
ク海	湧渚興幌徳 別滑部内別	川川	湧渚與幌徳	志	別滑部內別	27,500 175,000 42,500 102,500 668,800	880 6,200 4,590 9,400 40,000	168,800 37,910 93,100	96.5 89.2 90.8	26,000 166,500 37,600 91,000 480,000	4.15 3.5 5.20	4.20 3.31 5.25		
区	幌別		歌劇		登別	7,500 137,500	600 12,500	6,900 125,000		120,000	3. 1	4.15	{用水断水のため科 全数凍死	焦魚
	海	_ ₽	₹	計	·	2,763,000	309,570	2,453,430	88.8	2,252,000				
日本海	天暑石尻朱塩別	盟州	天增千尻朱		塩毛歳別大	792,500 82,980 93,500 2,159,500 350,000	3,450 12,700 290,000		99.4 80.6	213,760 79,530 80,000 1,869,000 324,000	5.20 2.9 2.28	5.30 2.14 4.30	(此の他北大水産等 へ受精直後卵 3,	2部
区	海	Σ	<u>Z</u>	計		3,473,430	571,430	2,907,050	83.6	2,566,290				
襟四	元浦	<u>] </u>	元	浦	河	5,100	600	4,500	88.2	4,400	1.29	1.29		_
宴海 以区	海	Ø	ζ	Ħ		5,100	600	4,500	83.2	4,400				
襟東	尾幌]]]	太		田	62,500	17,300	45,200	72.3	43,100	4. 1	4.20		
裳海 以区	海	Þ	ζ.	計		62,500	17,300	45,200	72.3	43,100				
根室	別風西当標別「鬼」	川川川	厚浜虹計根	根	床中別別室	447,500 638,400 999,500 85,000 507,500	46,200 96,110 5,400	423,330 592,200 903,390 79,600 424,100	94.6 92.8 90.4 93.6 83.6	414,900 590,000 897,280 79,000 422,800	3.10 1.10 2.10	3·31 1.31	↓此の他発眠卵213↓0*过羅日へ移殖↓中標准から受精値№1507,500%が移殖	红後
海区	伊茶仁羅日	川	伊羅		仁日	1,500 213,000	•	185,400	92.7	1,400 185,000			{虹別から発眠卵2 {000粒移殖	
根室海区	風西当標 伊茶仁	州州川川	浜虹計根 伊羅		中別別室 仁日	638,400 999,500 85,000 507,500 1,500 213,000 2,892,400	46,200 96,110 5,400 83,400 27,600 282,910	592,200 903,390 79,600 424,100 1,470 185,400 2,609,490	92.8 90.4 93.6 83.6 98.0 92.7	590,000 897,280 79,000 422,800	3.10 1.10 2.10 3.1 2.28	3·31 1.31 2.10 3.31 2.28	しか羅田へ移殖 「中標準から受精 「明507,500粒移列 「虹別から発眠期	直直

数 計	採邺	数 運	搬害死卵数	収容卵数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	期 間
	63,7	50 —	1,250	62,500	80.5	粒 1,932 —	9.30— 7.11 8.31— 7.6
45	63,7	50	1,250	62,500	60.0	1,932	
5,963 3,935 ① 2,033	9,314,9 6,580,3 ⊕ 2,734,5	40	110,450 171,840 ∋ 61,390	9,201,480 6,408,500 ⊕ 2,795,980	74.3 67,3 ⊕ 7.0	2,083 2,125 42	
	※ 附	麦			7		

支場別樺太鱒捕獲採卵成績図



① 支場別樺太鱘親魚捕獲採卵成績比較表

±	+11			捕	嬳	数	使用	親焦	数	採 卵 数	運搬害	♀親魚	運害率
X	場	11		ę	8	1 1	9	\$	計	採 卵 数	死卵数	使用率	
			本年	4,739	3,986	8,725	3,732	1,227	程 4,959	5,307,590	67,290	78.8	1.2
北		見し	前年	31,095	31,471	62,566	19,968	6,526	26,494	25,530,000	572,700	64.2	2.2
-		塩	本年	1,492	1,884	3,376	1,102	244	1,346	1,370,400		73.9	_
天		[™] (前年	4,206	4,307	8,513	3,097	499	3,596	3,490,200	94,100	73.6	2.6
)me		_{in} J	本年	34	47	18	16	11	27	23,200	200	47.1	0.8
渡		鳥	前年	174	293	467	21	9	30	30,000	100	72.0	3.3
+		勝{	本年	61	58	119	19	8	27	16,400	1,400	31.1	8.5
		(A)	前年	1,582	1,654	3,236	1,106	490	1,596	1,402,900	65,400	69.9	4.6
裉		室{	本年	1,986	2,332	4,318	781	342	1,123	1,027,530	<i>5</i> 0,360	39.3	4.9
100		至)	前年	6,098	7,282	13,380	1,861	748	2,609	2,508,650	107,150	30.5	4.2
	=1 .	ſ	本年	8,312	8,307	16,619	5,650	1,832	7,482	7,745,120	119,250	6 3 .0	1.5
	計	Ì	前年	43,155	45,007	83,162	26,053	8,272	34,325	32,951,750	839,450	60.4	2.5
前	年	度∫	増									7.6	1.0
کے	比	度∫ 較\	减	34,843	36,700	71,543	20,403	6,400	26,843	25,216,630	720,200		

[~]この表の説明~

本年度の樺太鰐は不漁年であり、非常に不成績に終り、昭和28年度に比べると捕<mark>獲数 71,543</mark>尾の滅、採卵数 は25,216,630粒の減少を示した。

本年度の不成績の原因は、放流稚魚の回帰年次よりみて 不漁年度にも当つているが、斯る磁端なる沂上滅の

② 支,事業場別樺太鱘親魚捕獲採卵成績表

極 尾 31 1,273 452 97 94 740 393 393 222 684 3,985	1,00 3,328 1,188 237 188 1,223 730 422 1,309 8,725 24 2,398 282	52 2,052 600 130 45 168 132 152 400 3,732	月親 8 26 610 186 51 8 72 52 54 1,227 7	78 78 2,662 786 181 54 240 184 206 568	67,700 2,959,030 930,560 153,000 83,800 244,000 174,900 218,000 5,307,590	5,500 2,800 6,500 2,400 8,000 6,600	収 客 卵 数 67,200 2,940,100 914,500 81,000 237,500 172,500 210,000 470,000 5.240,300	使用率 75.4 99.9 81.5 92.9 48.9 34.8 39.2 76.0 64.0	所数 [,302 [,442 [,55] [,177 [,822 [,452 [,325 [,434	期間 7. 1-10. 4 6. 1-10.31 6. 1-10.30 6. 1-19.30 8. 1-0.10 5.21-10.30 6. 1-10.21 8. 1-10.11
31,273 5 1,273 5 452 9 97 4 94 5 740 393 2 22 684 3,985 10	100 3,328 1,188 237 188 1,223 730 422 1,309 8,725 24 2,398 282	2,052 600 130 45 168 132 152 400 3,732 9	26 610 186 51 8 72 52 54 168 1,227	78 2,662 786 181 54 240 184 206 568 4,959	67,700 2,959,030 930,560 153,000 83,800 244,000 174,900 218,000 476,600 5,307,59 0	500 18,930 16,050 5,500 2,800 6,500 2,400 8,000 6,600	67,200 2,940,100 914,500 147,500 81,000 237,500 172,500 210,000 470,000	75.4 99.9 81.5 92.9 48.9 34.8 39.2 76.0 64.0	1,302 1,442 1,551 1,177 1,822 1,452 1,325 1,434	7. 1-10. 4 6. 1-10.31 6. 1-10.20 6. 1-19.30 8. 1- 0.10 5.21-10.30 6. 1-10.21 8. 1-10.11
393 222 684 3,985 10	730 422 1,309 8,725 24 2,398 282	132 152 400 3,732 9 795	52 54 168 1,227 7	184 206 568 4,959	174,900 218,000 476,600 5,307,590	2,400 8,000 6,600	172,500 210,000 470,000	39.2 76.0 64.0	1,325 1,434	6. 1-10.21 8. 1-10.11
1,443	2,398 282	795		16				78.8	1,192 1,422	6.11-10.13
285 1	i	53 245 —	27	939 80 311	17,100 953,300 70,000 330,000	_	17,100 953,300 70,000 330,000	64.3 83.2 38.7 63.5	1,900 1,199 1,321 1,347	6.16- 9.30 6.11-10.20 6.10-10.10 6.8-10.10 6.18- 9.29
1,834	3,376	1,102	244	1,346	1,370,400	_	1,370,400	73.9	1,244	
47		16 16	[[11	27 27	23,200 23,200	200 200	23,000 23,000	47.1 47.1		6.15- 9.30
18 3 37 58	28 7 84 119	- 2 17 19	2 6 8	4 23 27	2,600 13,800 16,400	100 1,300 1,400	2,500 12,500 15,000	50.0 36.2 31.1	1,300 812 863	7. 6- 8.31 8.10- 9.27 7.11- 9.30
	36 21 2,992 11 512	11 8 476 3 133	5 4 216 1 44	16 12 692 4 177	13,360 6,500 656,510 4,200 146,900	850 500 29,840 200 5,400	12,500 6,000 626,670 4,000 141,500	100.0 80.0 33.1 50.0 86.7	1,215 813 1,379 1,400 1,105	7.17-9.30 7.11-10.10 7.4-9.25
221	364 184 198 4,318	63 28 59 781	22 13 37 342	85 41 96 1,123	76,410 49,200 74,450 1,027,530	10,010 1,200 2,350 50,380	66,400 48,000 72,100 977,170	44.1 28.3 55.7 39.3	1,213 1,757 1,262 1,316	8. 1-10.20 7. 4- 9.30 7.11- 9.30
92	16,619	5,650	1,832	7,482	7,745,120	119, 250	7.625,870	63.D	1,371	
	25 11 1,554 5 339 221 85 92 2,332	58 119 25 36 11 21 1,554 2,992 5 11 339 512 221 364 85 86 92 198 2,332 4,318	58 119 19 25 36 [[1 2] 8 1,554 2,992 476 5 [1 3 339 5]2 [33 221 364 63 85 [84 28 92 [98 59 2,332 4,313 781	58 119 19 8 25 36 11 5 11 21 8 4 1,554 2,992 476 216 5 11 3 1 339 512 133 44 221 364 63 22 85 184 28 13 92 198 59 37 2,332 4,313 781 342	58 119 19 8 27 25 36 I I 5 I 6 I 21 8 4 I2 I,554 2,992 476 216 692 5 I I 3 I 4 339 512 I33 44 177 221 364 63 22 85 85 184 28 I3 41 92 198 59 57 96 2,332 4,313 781 342 1,123	58 119 19 8 27 16,400 25 36 11 5 16 13,360 11 21 8 4 12 6,500 1,554 2,992 476 216 692 656,510 5 11 3 1 4 4,200 339 512 133 44 177 146,900 221 364 63 22 85 76,410 85 184 28 13 41 49,200 92 198 59 37 96 74,450 2,332 4,318 781 342 1,123 1,027,530	58 119 19 8 27 16,400 1,400 25 36 11 5 16 13,360 850 11 21 8 4 12 6,500 500 1,554 2,992 476 216 692 656,510 29,840 5 11 3 1 4 4,200 200 339 512 133 44 177 146,900 5,400 221 364 63 22 85 76,410 10,010 85 184 28 13 41 49,200 1,200 92 198 59 37 95 74,450 2,350 2,352 4,318 781 342 1,123 1,027,530 50,380	58 119 19 8 27 16,400 1,400 15,000 25 36 11 5 16 13,360 850 12,500 11 21 8 4 12 6,500 500 6,000 1,554 2,992 476 216 692 656,510 29,840 626,670 5 11 3 1 4 4,200 200 4,000 339 512 133 44 177 146,900 5,400 141,500 221 364 63 22 85 76,410 10,010 66,400 85 184 28 13 41 49,200 1,200 48,000 92 198 59 37 96 74,450 2,350 72,100 2,332 4,313 781 342 1,123 1,027,530 50,380 977,170	58 119 19 8 27 15,400 1,400 15,000 31.1 25 36 11 5 16 13,360 850 12,500 100.0 11 21 8 4 12 6,500 500 6,000 80.0 1,554 2,992 476 216 692 656,510 29,840 626,670 33.1 5 11 3 1 4 4,200 200 4,000 50.0 339 512 133 44 177 146,900 5,400 141,500 86.7 221 364 63 22 85 76,410 10,010 66,400 44.1 85 184 28 13 41 49,200 1,200 48,000 28.3 92 198 59 37 95 74,450 2,350 72,100 55.7 2,352 4,318 781 342 1,123 1,027,530 50,350 977,170 39.3	58 119 19 8 27 16,400 1,400 15,000 31.1 863 25 36 11 5 16 13,360 850 12,500 100.0 1,215 11 21 8 4 12 6,500 500 6,000 80.0 813 1,554 2,992 476 216 692 656,510 29,840 626,670 33.1 1,379 5 11 3 1 4 4,200 200 4,000 50.0 1,400 339 512 133 44 177 146,900 5,400 141,500 86.7 1,105 221 364 63 22 85 76,410 10,010 66,400 44.1 1,213 85 184 28 13 41 49,200 1,200 48,000 28.3 1,757 92 198 59 37 95 74,450 2,350 72,100 55.7 1,262 2,352 4,318 781 342 1,123 1,027,530 50,380 977,170 39.3 1,316

~この表の說明~

本年度の支事業場別權大綱親魚捕獲採卵成績表をみると、北見支場が最高で、給補獲数は、8,725尾、採卵数は5,307,590粒である。 樺太鱒の Q 親魚使用率は前年度に比べて約7.6%上昇したが、事業場別にみて50%以下のものを示すと、北見支場では湧別、渚滑の 2 事業場、天塩支場では歌登事業場、渡島支場では遊楽部事業場、十勝支場では 太田事業場、根室支場では虹別、伊茶仁、類別の各事業場で、これ等の事業場については今後一層の技術指導と施設の改善が必要である。

③ 支場別棒太鱘孵化放流成績比較表

支 場	名		収容卵数	死 卵 数	孵 出 数	雅 出 率	放 流 数
北	見{	本年前年	5,240,300 24,383,300	519,890 2,426,200	4,720,410 21,957,100	90.1	4,650,100 21,595,570
天	塩 { 塩 {	本年前年	1,370,400 3,396,100	137,960 188,050	1,232,440 3,208,050	89.9	1,002,000

交	場	名		収容卵数	死 奶 数	孵 出 数	孵 出 率	放 流 数
			本年	23,000	4,000	19,000	82.6	18,800
渡		鳥	前年	529,900	69,000	525,200	99.1	524,500
		勝 [本年	15,000	4,860	10,140	67.6	9,700
+		المحردا	前年	1,337,500	141,700	1,195,800	89.4	1,178,900
(#		室{	本年	977,170	91,540	885,630	90.6	875,610
根		.== J	前年	2,399,000	296,880	2,102,120	87.6	2,059,190
	計	ſ	本年	7,625,870	758,250	6,867,620	90.1	6,556,210
	ēΊ	1	前年	32,045,800	3,057,530	28,988,270	90,5	28,451,310
前生	F. 度	ا ع	增					
Ø	比	校 (减	24,419,930	2,299,280	22,120,650	0.4	21,895,100

④ 支事業場別樺太鱏孵化放流成績表

事業	場	収容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放洗尾数	放流;	期間至	備考
(ルシ [*] 岩 経		67,200 200,100 2,740,000 914,500 147,500	15,600 25,100 154,370 209,000 9,400	51,600 175,000 175,630 2,585,630 705,500 138,100	76.8 87.4 94.3 77.1 93.7	51,300 170,000 2,550,000 691,000 138,000	3. 1 ? 4.20 3.20 3.20	月 5.10 ? 4.30 4.3 4.30	自然放洗
猪 興	走別滑部内	81,000 237,500 172,500 210,000 470,000	10,000 18,400 15,500 21,770 40,750	71,000 219,100 157,000 188,230 429,250	87.6 92.3 91.0 89.6 91.3	70,800 217,800 154,200 187,000 420,000	3.20 3.15 4.15 3.20 5.20	4.15 4.30 4.20 4.30 5.25	
北見	計	5,240,300	519,830	4,720,410	90.1	4,650,100			
徳志歌	場別登別計	17,100 953,300 70,000 330,000 1,370,400	3,560 94,300 7,000 33,100 137,950	[3,540 859,000 63,000 296,900 1,232,440	79.1 89.9 90.0 90.0 89.9	8,800 726,000 0 267,200 1,002,00 0	3.30 4.10 3. 1	4.28 6.20 - 4.15	
遊 楽 渡 島	部計	23,000 23,000	4,000 4,000	19,000 19,000	82.6 82.6	18,800 18.800	2.27	2.28	
阿太十勝	寒田計	2,500 12,500 15,000	260 4,600 4,860	2,240 7,900 10,140	89.6 63.2 67.6	2,200 7,500 9,700	4.10 4.1	4.30 4.20	
厚 浜 虹	場床中別別	141,500 12,500 6,000 625,670 4,000	22,800 600 700 40,460 500	118,700 11,900 5,300 586,210 3,500	83.9 95.2 88.3 93.6 87.5	118,400 11,600 5,000 582,100 3,400	3. 1 4. 1 3.10 2. 1 2.10	3.31 4.30 3.31 2.15 2.10	{中標准から受精直後卵 {141,500粒移殖
	別日	66,400 48,000 72,100 977,170	7,000 17,900 1,580 91,540	59,400 30,100 70,520 385,630	89.5 62.7 98.0 90.6	55,000 29,700 70,350 675,610	2.28 3.25 2.17	2.28 3.25 2.17	
合	計	7,625,870	758,250	6,867,620	90.1	6,556,210	-		

⑤ 海 区 水 系 別 樺 太 鱘

海 区	水 系	支事業場	採卵場	捕	嬳 尾	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	使 用	
- IX				۶ ا51	\$ 80	計 表 23 l	२ 1ड़े 15 [ै 70
	ルシヤ川 岩尾別川	岩尾別 ″ー	ル岩海科	1,904	1,193	3,097	1,901	540
*	海別川	斜 里	海 別 里	19 4 83	17 324	35 807	454	149
		<i>"</i>	止別	234	111 97	345	146 130	37 51
2	藻琴川 岩田川	藻 琴走見別 別	藻 琴 走	140 94	94	237 188	45	8
2	佐呂間川	北 見 別	競	69 5 7	3 l 50	100 107	52 42	26 18
	湧 別 川	//	中海別	426	690	1,116	126	54
7	港 滑川 興部川	済 興 部	元 西	337 200	393 222	730 422	132 152 -	52 54
27.4	雄武川	· (雄武	229 396	271 413	500 809	140 260	65 103
海	風烈布川	徳 志 別	風烈布	103	38	141	103	24
区	徳 志 別 川 幌 別 川	歌 登	德志別 幌別	852 137	1,405 145	2,257 282	692 53	120 27
	頓別川	侧 別	植 别	38-5	285	671	245	66
!	海 	<u> </u>	計 ————————————————————————————————————	6,217	5,853	12,076	4,825	1,434
日本	天 塩 川暑寒別川	天 塩	紋 穂 内 暑 寒 別	14	10 1	24 1	9	7
日本海区	海	X	計	14	11	25	9	7
	サシルイ川	羅白	サシルイ	46	65	111	38 4	23
根	羅 臼 川春川 春川 桶 別 川	"	羅田田田春刈古丹植	. 17 . 43	12 15	29 58	17	5 9
	植別川伊茶仁川	類別 伊茶仁	植 別忠 類	99 143	85 221	184 364	28 63	13 22
	標準川	中標準	武 佐	99	120	219	77	23
室	// //	"	チナナ農	29 45	114 105	143 150	17 39	15
ļ	当 幌 川	計根別	当くく	173 3	339 2	512 5	19 3 3	44 1
海	泰 別 川	"	春 別	3	3	6	450	
1144	遇 別 川	虹灯	14 線 西春 別 計	1,415 23	1,478 76	2,893 99	453 23	204 12
	風蓮川	浜 中	】 計 風 蓮	1,438 10	1,554 11	2,992 21	476 8	216 4
X	別当賀川	厚 床	別当賀	11	25	36	11	5
	海	区	計	1,986	2,332	4,318	781	342
際等以	尾幌川	太田寒	別寒辺牛	47	37	84	17	6
以	阿寒川	阿寒门	阿 寒 西 3 号	4 10	3 18	7 28	2	
東海区	海	Ø	計	61	58	119	19	8
禁西	遊楽部川	遊楽部	遊楽部	34	47	81	16	11
装 海 以区	海	区	ā †	34	47	81	16	11
	本 年	度 合		8,312	8,307	16,619	5,650	1,832
1	前 年	. 度		43,155	45,007	88,162	26,053	8,272
	対	七 增		⊝34,843	⊝36,700	⊝71,543	⊝20,403	⊖ 6,440

~この表の説明~

本年度の樺太鱘親魚捕獲採卵成績を海区別にみると、オコック海区が最高値を示し、経捕獲数 12,076尾、採

知 魚 捕 獲 採 卵 成 績 表

数	採 卵 数	運搬害死卵数	収容卵数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均採卵数	期 間
音 221 2,441	200, 100 2,758,930	18,930	200,100 2,740,000	100 99.8	1,330 1,451	ян ян 7. 1—10.31 6. 1—10.31
603 183	764,660 165,900	11,660 4,400	753,000 161,500	94.0 62.4	1,684 1,136	8. 5— 9.30 6. 1—10.20 6. 1—10.19
181 54 78 60 180	153,000 83,800 67,700 56,700 187,300	5,500 2,800 500 1,700 4,800	147,500 81,000 67,200 55,000 182,500	92.9 48.9 75.4 73.7 29.6	1,177 1,822 1,302 1,350 1,487	6. 1— 9.30 8. 1—10.10 7. 1—10. 4 8.23—10.30 5.21—10.11
184 206 205 363 127	174,900 218,000 170,000 309,600 123,800	2,400 8,000 2,500 4,100	172,500 210,000 167,500 302,500 123,800	39.2 76.0 61.1 65.7 100.0	1,325 1,434 1,214 1,179 1,202	6. 1—10.21 8. 1—10.11 8. 3—10.13 6.11—10. 4 7.20—10.20
812 80 311	829,500 70,000 330,000	=	829,500 70,000 330,00 0	81.2 38.7 63.5	1,199 1,321 1,347	6.11—10.20 6.10—10.10 6.8—10.10
6,239	11,660,890 ଓଡ଼ି	67,290	6,593,600	77.6	1,380	
16	17,100		17,100	64.3	1,900	6.16— 9.30 6.18— 9.29
16	17,100	-	17,100	64.3	1,900	
61 9 26 41 85	49,100 4,750 20,600 49,200 76,410	1,600 150 600 1,200 10,010	47,500 4,600 20,000 48,000 66,400	82.6 23.5 39.5 28.3 44.1	1,292 1,188 1,212 1,757 1,213	8. 1— 9.30 7.11— 9.30 7.11— 9.30 7. 4— 9.30 8. 1—10.20
100 23 54 177 4	78,250 19,000 49,650 146, 900 4,200	1,750 1,500 2,150 5,400 200	76,500 17,500 47,500 141,500 4,000	77.8 44.7 85.7 86.7 100	1,016 1,118 1,273 1,105 1,400	9.11—10.20 7.21— 9.30 7. 1— 9.30 7. 4— 9.25
657 35 692 12	631,240 25,270 656,510 6,500	28,740 1,100 29,840 500	602,500 24,170 626,670 6,000	32.0 100 33.1 80.0	1,393 1,099 1,379 813	7. 4— 9.25 7.16—10.30 7. 4— 9.30 7.11—10.10
16 1,123	13,360 1, 027,230	860 50,360	12,500 977,170	100 39.3	1,215 1.316	7.17— 9.30
			311,110		1,010	
23 4 —	13,800 2,600 —	1,300 100 —	12,500 2,500 —	36.2 50.0 —	812 1,300 —	7.11— 9.30 8,10— 9.27 7. 6— 8.31
27	16,400	1,400	15,000	31,1	863	
27	23,200	200	23,000	47.1	1,450	6.15— 9.30
27	23,200	200	23,000	47.1	1,450	
7,482 34,325 ⊝26,843	7,745,120 32,961,755 ⊝25,216,635	119,250 839,455 ⊝ 720,205	7,625,870 32,122,300 ⊝24,496,430	63.0 60.4 ⊕ 7.6	1,371 1,265 ⊕ 106	

卵数6,660,890粒,次いで根室海区である。

⑥ 海区水系別樺太鱏孵化放流成績表

海区	水	采	ı	業場	以容卵数		孵出尾数	ľ _		放洗	至	備考
オーコー	ル岩斜藻網	יוולט ווו	(ル岩斜藻郷	シ尾の見る対	ו פחוז ור	0 154,370 0 209,000 0 9,400	175,000 2,585,630 705,500 138,100	87.4 94.3 77.1 93.7	170,000 2,550,000 691,000 138,000	4.20 3.20 3.20 3.20	4.30 4.30 4.30 4.30	
ック	常湧渚與幌	川川川川	北湧猪風幌	へ 見分が音ど	67,20 237,50 172,50 210,00	0 15,600 0 18,400 0 15,500 0 21,770	51,600 219,100 157,000 188,230	76.8 92.3 91.0 89.6	51,300 217,800 154,200 187,000	3. 1 3.15 4.15 3.20 5.20	5.10	
海区	德志別 頓 別	川		2 555	330,00 330,00	0 7,000 0 33,100	63,000 296,900	90.0	267,200	4.10 3.1	6.20 - 4.15	【用水断水のた る雑魚全数凍 死
	海	Σ	2	計	6,593,60	0 654,290	5,939,310	90.1	5,643,300			
日本海区	天 塩 海	/II [≥		描計	17,10 17,10	•	•		8,800 8,800	3.30	4.28	
根室	羅薰伊標当	川川川	羅爾伊根計	一 一 茶 根	48,00 65,40 41,50	0 17,900 0 7,000 0 22,800	70,520 30,100 59,400 118,700 3,500	62.7 89.5 83.9	70,350 29,700 55,000 118,400 3,400	2.17 3.25 2.28 3.1 2.10	3.3[
海区	西別風蓮別当質	川	虹浜厚	別中床	6,00	0 700	585,210 5,300 11,900	88.3	582,100 5,000 11,660	2. 1 3.10 4. 1	2.15 3.31 4.30	
	海	Þ	[計	977,17	0 91,540	885,630	90.6	875,610			
襟東 寒海 以区	尾楔寒海		太阿	 近 災 計	12,50 2,50 15,00	0 260	2,240	89.6	7,500 2,200 9,700	4. 1 4.10	4.20 4.30	
禁西 裳海 以区	遊楽部海	! (} ⊠		楽 <i>新</i> 計	23,00	•			•	2.27	2.28	
合				計	7,625,87	0 758,250	6,867,620	90.1	6,556,210			

※ 附 表

① 支場別桜鱏樺太鱏親魚捕獲採卵成績合計比較表

支:	場名		捕	嬳	数	使 用	親魚	数	採卵数	運搬害	♀親魚	運害率
		<u> </u>	₽ .	8	計	Q j	8 1	計	12 31. 32	死 卵数	使用率	
ال	_e)	本年	6,60	4,855	11,456	4,879	1,624	6,503	7,277,940	88,440	73.9	1.2
北	見	前年	32,608	32,216	64,824	20,979	6,858	27,837	27,087,140	602,540	64.3	2.2
	<u>ا</u> يمد	本年	2,863	2,692	5,5 5 5	1,992	5 0 0	2,492	3,059,680		69. 5	
天	塩	前年	4,579	4,607	9,366	3,340	572	3,912	4,013,520	108,420	72.9	2.7
	∫ دند	本年	18	8	39	31	14	45	100,600	2,000	100.0	1.9
千	歳	前年	72	14	86	66	17	- 83	189,710	4,210	91.6	2.2
No.	<u>.</u> (本年	959	372	1,331	900	313	1,213	2,569,200	33,700	93.8	1.3
渡	鳥	前年	887	450	1,337	732	152	884	2,215,900	47,800	82.5	2.1
	nu l	本年	116	79	195	52	20	72	80,750	2,650	44.8	3.3
+-	勝	前年	1,608	1,665	3,273	1,132	501	1,633	1,465,230	66,230	70.3	4.5

—— 支:	場名	: :	捕	獲	数	使 用	親魚	数	採卵数	運搬害 死卵数	♀親魔 使用率	運害率
			<u> </u>	8 <u>\</u>	計量	<u>ξ</u>	8 1	計量	***	松	%	
]بد	本丰	8,001	5 ,090	13,091	5,252	л 1,839	克 190,7	30,972,480	102,910	65.6	9.9
裉	室{	前年	7,822	8,609	16,431	2,901	010,1	3,911	4,549,590	182,090	37.0	4.0
		本年	14,327	11,065	25,392	10,121	3,329	13,450	17,060,050	22 9,700	71.3	1.9
7	# {	前年	47,755	47,581	95,317	29, 150	9,110	33,260	39,542,090	1,011,290	61.0	2.5
前年	度と	増									10.3	
ő j	比較し	减	33 ,429	36,496	69,925	19,029	5,78[24,810	22,482,040	781,590		0.6

② 支事業場別桜鱏樺太鱘親魚捕獲採卵成績合計表

	捕	瘦 尾	数	使用	親魚	数	4.5 pp :k4	運搬害	मार ठठ वात¥/-	· *+a = 66
事業場	ę	8	āt	9	8	計	採卵数	死卵数	以容卵数	期間
支岩斜藻網尾	142 2,244 1,535 193 94	57 1,336 801 117 94	199 3,580 2,336 315 189	80 2,237 1,240 188 45	42 673 383 71 8	122 2,910 1,623 259 54	144,000 3,257,230 2,129,860 223,000 83,800	1,000 19,730 24,360 8,000 2,800	2,105,500 215,000	
湧格興幌北 別滑部内計	576 838 227 747 6,601	781 697 227 745 4,855	1,357 1,535 454 1,492 11,458	197 241 179 481 4,379	83 110 59 195 1,624	270 351 238 6 7 6 6,503	271,950 356,400 251,500 530,200 7,277,940	6,950 8,900 9,000 7,700 83,400	347,500 252,500	5.2[-[0.30 6. [-[0.2] 8. [-[0.1] 6.[]-[0.13
支 震歌 幌 頓 志 忠 別 別 登 別 別	451 1,659 137 25 512	271 1,824 145 20 352	722 3,483 232 45 864	376 1,191 53 5 339	101 265 27 1 95	477 1,457 80 .6 434	809,600 1,622,100 70,000 7,500 467,500		809,600 1,622,100 70,000 7,500 467,500	6.10—10.10 6.10— 9.30
增 毛 天 塩 計	2,853	2,692	159 5,555	1, 992	10 602	2,492	82,980 3,069,68 0	=	82,980 3,059,630	6. 1— 9.29
遊尻朱 渡 部川太計	34 796 129 959	47 232 43 372	81 1,078 172 1,331	16 760 124 900	269 33 313	27 1,029 157 1,213	23,200 2,193,300 352,700 2,569,200	200 30,800 2,700 33,700	23,000 2,162,500 350,000 2,535,500	
支 場 河	29 2 31	6 2 8	35 4 39	29 2 31	12 2 14	41 4 45	95,500 5,100 100,600	2,000 2,000		9.15—10.20 9.21—10.20
礼 内 阿 寒田 計	24 4 88 116	27 3 49 79	51 7 137 195	2 50 52	2 18 20		2,600 77,550 80,150	100 2,550 2,650	2,500	7.11 - 9.30
厚浜虹許中 根標 財別別津	336 373 2,071 73 515	200 265 1,711 27 442	536 638 3,782 100 957	322 371 989 44 390	136 172 354 11 112	458 543 1,343 55 502	472,680 662,400 1,832,840 91,900 661,100	12,680 18,000 43,670 2,900 12,100	460,000 644,400 1,839,170 89,000 649,000	7.17— 9.30 7.11—10.10 7.4—10.31 7.4— 9.30 7.1—10.20
伊 茶 仁 (忠 類)	160	230	390	64	23	87	77,910	10,010	67,900	8. 1-10.20
繁羅 別田 報室計	123 105 3,757	92 92 3,059	215 198 6,816	28 59 2,267	13 37 853	4! 96 3,125	49,200 74,450 3,972,430	1,200 2,350 102,910	48,000 72,100 3,869,570	7.11 - 9.30
合 計	14,327	11,085	25,392	10, 121	3,329	13,450	17,060,050	229,700	16,830,350	

③ 支場別桜鱘樺太鱏孵化放流成績合計比較表

支場	名		収容卵数	死 卵 数	解 出 数	解 出 率	放 流 数
	(本年	7,189,500	776,360	6,413,140	89.2	6,304,[00
∄Ľ	見{	前年	25,930,600	2,626,720	23,303,880	89.8	22,924,510
	ا ا	本手	3,059,680	435,790	2,623,890	85.7	1,895,290
天	塩	前年	3,905,100	224,050	3,681,050	94.3	3,363,850
. T .	<u></u> ∫	本年	98,600	13,300	85,300	86.5	84,400
千	歳	前年	185,500	27,150	158,350	85.3	156,800
Serie	<u>,</u> ,	本年	2,5 32 ,500	318,000	238,550	94.2	2,211,800
渡	鳥	前年	2,668,100	320,400	1,939,320	72.6	240,850
1.	勝{	本年	77,500	22,160	55,340	71.4	52,800
+	les (前年	1,400,000	15,500	1,247,500	89.1	1,229,100
48	ر بي	本年	3,869,570	374,450	3,475,120	89.8	3,465,990
根	室{	前年	4,300,000	437,890	3,862,020	89.8	3,771,990
#1	ſ	本年	16,827,350	1,940,060	14,864,320	88.3	14,012,380
計	ĺ	前年	38,384,300	3,724,410	34,664,890	90-2	33,854,750
前年	度∫	増					
ا گ	と較 (减	21,561,950	1,784,850	19,800,570	1.9	19,842,370

④ 支,事業場別桜鱏樺太鱏孵化放流成績合計表

事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放洗期	引間 至	備	考
支(ル岩斜藻北)別里琴見	#113,000 225,000 3,012,500 2,105,500 215,000	25,600 162,170 414,400	84,800 199,400 2,850,330 1,691,100 196,500	94.6 80.3	84,300 194,000 2,800,000 1,656,900 196,000	я. П ? 4.10 3.10 3.20	7.10 ? 4.30 4.30 4.30	自然放流	

⑤ 海 区 水 系 別 桜 鱒 樺 太

海		· for all so Alle Last Flat	4577	nn 45	捕	嬳 尾	数	使	用 親
区	水系	支事業場別	採!	奶 場	φ	8	背	\$	8
オコッ	ルシヤ川 岩尾別川 海科里川 北別川	岩 尾 別 ※ 里 " "	ル岩海斜止	シ尾別別里別	155 2,079 19 1,031 485	度 85 1,251 17 597 187	250 3,330 36 1,628 672	165 2,072 981 259	75 598 — 323 60
ク 海 区	藻網常生 門 川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川	藻 網 北 男 別 "	藻網端佐中	琴走野間別	198 94 142 57 519	117 94 57 50 731	315 188 199 107 1,250	188 46 80 42 145	71 8 42 10 65

We till	収容卵数	死卵数	辦出尾数		放流尾数	放流其	期間	備考
事業場	11/1/27/91/95	70 90 90	7671417-630	Ж ЩТ	22010,-222	_ 肖	至_	Wie
網湧港頻 幌	81,000 265,000 347,500 252,500 572,500	10,000 19,280 21,700 26,360 50,150	71,000 245,720 325,800 226,140 522,350	93.7 89.1	70,800 243,800 320,700 224,600 511,000	3.20 3. 1 4.15 3. 5 5.20	4.15 4.30 4.20 4.30 5.25	
北見計	7,189,500	776,360	6,413,140	89.2	6,302,100	3. 1	5.25	
支德歌顿增工	809,600 1,622,100 77,500 467,500 82,980 3.099,680	244,840 134,300 7,600 45,600 3,450	564,760 1,487,800 69,900 421,900 79,530	99.4	222,560 1,206,000 0 387,200 79,530 1,895,290	3.26 3.20 3.1 5.20	5.30 6.20 4.15 5.30	用水断水のため性黒玉
天塩計		705,100	2,025,500					
支 場 河 千歳計	93,500 5,100 98,600	12,700 600 13,300	80,800 4,500 85,300	88.2	80,000 4,400 84,400	2. 9 1.29 1.29	2.14 1.29 2.14	
遊 尻朱波 島	23,000 2,159,500 350,000 2,532,500	4,000 290,000 24,000 313,000	19,000 1,869,500 326,000 2,214,500		18,800 1,869,000 324,000 2,211,800	2.27 2.28 3. [2.27	2.28 4.30 4.30 4.30	人受精直後卵3,000粒 分与
阿寒田十勝計	2,500 75,000 77,500	260 21,900 22,160	2,240 53,100 55,340	89.6 70.8 71.4	2,200 50,600 52,800	4.10 4.1 4.1	4.30 4.20 4.30	
支厚浜虹計 根 別別	649,000 460,000 644,400 1,626,170 89,000	106,200 24,700 46,900 136,570 5,900	542,800 435,230 597,500 1,489,600 83,100		541,200 426,560 595,000 1,479,380 82,400	3. 1 4. 1 3.10 1.10 2.10) ��の他 発展別 213,000
伊 茶 仁 別 日 計	67,900 48,000 285,100 3,869,570	7,030 17,900 29,180 374,450	60,870 30,100 255,920 3,495,120	62.7 89.7	56,400 29,700 255,350 3,465,990	3.28 3.25 1.28 1.10	2.28 3.25 2.17 4.30	【虹別から発眼卵213,00
合 計	16,827,350	1,940,060	14,887,290	88.4	14,012,380	1.10	6.20	

觸捕 獲 採 卵 成 績 合 計 表

魚数計	採	96	数	運搬害死卵数	収	容卵	数	♀ 親 魚 使 用 率	期	間
240 2,670 — 1,304 319		3,032 1,806 323 223	,760 ,100	19,730 18,760 5,600 8,000		3,012 1,788 317	,000 ,500	100 99.6 0 95.1 53.4 94.9	6. 1 8. 5 6. 1 6. 1	7 B -10.31 -10.31 - 9.30 -10.20 -10.19
54 122 60 210		114 56	,800 ,000 , 700 ,250	2,800 1,000 1,700 5,250		113. 55.	,000 ,000 , 000 ,000	48.9 56.3 73.7 27.9	7. 1 8.23	—10.00 —10.4 —10.30 —10.11

海.				捕	穫 尾	数	使	用親	魚数	T-2 1311
区	水 系	支事業場別	採	φ	8	it.	٩	8	計	採 卵
オコッ	猪興雄 滑部武内 別川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川	猪興, 網 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	類 部 雑 武 幌 内	838 227 233 514 160	697 227 271 474 48	1,535 454 504 988 208	241 179 140 341 160	110 59 65 130 44	鬼 351 238 205 471 204	356,4 261,5 170,0 410,2 223,8
か	德志別川 幌別川 頓別川	 歌	徳 志 別 徳幌 別 別	1,499 162 512	1,776 165 352	3,275 327 864	1,031 58 339	222 23 95	1,253 86 434	1,398,1 77,5 467,5
Z.	海		計	8,934	7,196	18,130	6,457	2,013	8,480	14,445,0
E	天 塩 川 川 川 川 川 川 川	天 / 塩 (増 / 毛 (千 / 歳	美 深 深 深	394 57 9 70	233 	627 95 14 145 7	3[9 57 9 19	80 21 — 10 2	399 78 9 29 7	699, 110, 25, 57, 13,
本海	尻 別 川	尻 別	两 越名內 国 国 國 計	24 559 146 91 796	188 56 38 282	23 747 202 129 1,078	24 559 146 55 760	10 188 56 25 269	34 747 202 80 [,029	82, 1,647, 378, 168, 2,193,
区	朱太川	朱 太	作開	129	43	1,72	124	33	157	352,
	海	区	計 	1,484	632	2,165	1,317	425	1,742	3,534,0
根	サシルイ川 羅 日 川 春刈古丹川 植 別 川 忠 類 川	羅 第 第 条 5	羅 臼 春刈古丹	45 17 43 123 17	65 12 15 92 9	111 29 58 215 25	38 4 17 28 1	23 5 9 13 1	61 9 26 41 2	49, 4, 20, 49,
(_. 室	伊茶仁川標準川 // // // // // // // // // // // // //	中標 消 報 別	チナナ	143 109 77 329 26	221 121 136 185 6	364 230 213 514 32	63 83 30 277 12	22 24 13 75 3	85 107 43 352 15	76, 89, 47, 524, 24,
循	春 別 川 床 別 川 西 別 川	虹灯灯	川 14 線 西春別	29 18 1,476 595	13 8 1,498 213 258	42 26 2,974 808 629	26 6 465 524 369	6 2 209 145 171	32 8 674 669 540	52, 15, 664, 1,218, 659,
区	別当賀川	厚り	円 朱 別 ド 別 当 賀	336	7 200	9 536	2 322	1 136	3 458	3, 472,
	海	×	計	3,757	3,059	6,816	2,267	858	3,125	3,972,
襟裳以東海区	尾 幌 川 別寒辺牛川 阿 寒 川 十 勝 川	太 月 河 美 札	"	47 41 4 24	37 12 3 27	84 53 7 51	17 33 2	6 12 2	23 45 4	13, 63, 2,
区	海	×	<u></u>	116	79	195	52	20	. 72	80,
禁西 裳海 以区	元 浦 川 遊楽部川 海	元 浦 海 遊 楽 音	可 元 浦 河 彩 遊 楽 部	2 34 36	2 47 49	81 85	2 16 18	2 11 13	4 27 31	23,
	本 年 昨 年 対 Ŀ		合 計 合 計 減	14,327 47,756 ⊝33,429		25,392 95,317 ⊝69,925	10,121 29,150 ⊝19,029	3,329 9,110 ⊝ 5,781	13,450 33,260 ⊝24,370	17,060, 33,702, ⊝ 21,642,

魚数計	採 卵 数	運搬害死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	期 間
度 351 238 205 471 204	356,400 261,500 170,000 410,200 223,800	8,900 9,000 2,500 5,200	347,500 252,500 167,500 405,000 223,800	28.7 78.8 60.0 65.3 100	8. [-10.1] 8. [-10.1] 8. 3-10.13 6.11-10. 4 7.20-10.20
1,253 86 434	1,398,300 77,500 467,500	, <u>–</u> –	1,398,300 77,500 467,500	68.7 39.8 65.2	6.11—10.20 6.10—10.10 6.8—10.10
8,480	14,445,040	33,440	9,359,600	72.3	5 21-10 30
399 78 9 29 7	699,600 110,000 25,710 57,270 13,300	300	699,600 110,000 25,710 57,200 13,000	30.9 100.0 100.0 100.0	6.16— 9.30 8. 1— 9.30 6.18— 9.29 6. 1— 9.24 9.20—10.15
34 747 202 80 1,029	82,200 1,647,200 378,000 168,100 2,193,300	1,700 26,000 3,000 1,800 30,800	80,500 1,621,200 375,000 166,300 2,162,500	100.0 100.0 100.0 60.4 95.5	9.15—10.20 9.1—10.10 9.1—10.10 8.10—10.10
157	352,700	2,700	350,000	96.1	8. 7—10.10
1,742	3,534,080	35,500	3,493,580	83.7	
61 9 26 41 2	49,100 4,750 20,600 49,200 1,500	1,600 150 600 1,200	47,500 4,600 20,000 48,000 1,500	82.6 23.5 29.5 22.7 5.8	8. 1 - 9.30 7.11 - 9.30 7.11 - 9.30 7. 4 - 9.30 8. 1 - 10.20
85 107 43 352 15	76,410 89,450 47,100 524,550 24,600	10,010 2,950 2,100 7,050 600	66,400 86,500 45,000 517,500 24,000	44.0 76.1 38.9 84.1 46.1	8. I-10.20 9.11-10.20 7.21-9.30 7. I-9.30 7. 4-9.25
32 8 674 669 540	52,000 15,300 664,580 1,218,260 659,400	2,000 300 29,580 14,090 17,900	50,000 15,000 635,000 1,204,170 641,500	89.6 33.3 31.5 88.0 99.4	7. 4— 9.25 7. 4— 9.30 7.16—10.31 7. 4— 9.30 7.11—10.10
3 458	3,000 472,680	100 12,680	2,900 460,000	100.0 98.8	7.11—10.10 7.17— 9.30
3,125	3,972,480	102,910	3,869,570	60.3	
23 45 4	13,800 63,750 2,600	1,300 1,250 100	12,500 62,500 2,500	36.2 80.5 50.0 0	7.11— 9.30 7.11— 9.30 8.10— 9.27 7. 6— 8.31
72	80, 150	2,650	77,500	44.3	
4 27	5,100 23,200	 200	5,100 23,000	100.0	9.21—10.20 6.15— 9.30
31 	28,300	200	28,100	50.0	9.2110.20
15,450 33,260 ⊝24,370	17,060,050 33,702,640 ⊝ 21,642,590	229,700 1,011,295 ⊝ 781,595	16,827,350 33,530,800 21,703,450	70.6 61.0 ⊕ 9.6	

⑥ 海区水系別桜鯙樺太鯙孵化放流成績合計表

海					· - · · · · ·		Dens	<u> </u>	放流	姐想	
IX.	水	系	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出 率	放流尾数	自	至	備 考
<i>†</i>	ル岩科藻網	川川	(ルピーク) 出名 (ルルターク) 別里琴走	225,000 3,012,500 2,105,500 215,000 81,000	162,170 414,400 18,500	2,850,330 1,691,100 196,500	94.7 80.3 91.3	2,800,000 1,656,900 196,000	4.10 3.10 3.20 3.20	4.30 4.3 4.30 4.15	自然放流
ッ ク	常湧猪興幌呂別滑部内	川川川	北湧港興幌見別滑部内	113,000 265,000 347,500 252,500 572,500	19,280 21,700 26,360	245,720 325,800 226,140	92.7 93.7 89.5	243,800 320,700 224,600	3. 1 3. 1 4.15 3. 5 5.20	5.10 4.30 4.20 4.30 5.25	
海区	徳志別 幌 別	JII	徳志別 歌 登 頓 別	1,622,100 77,500 467,500	7,600	69,900	90.1		3.20 3. I	6.20 4.15	
	海	区	計	9,356,600	963,860	8,392,740	89.6	7,895,300	3. 1	6.20	
日本海	连 塞符別太	加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加	天增千尻朱	809,600 82,980 93,500 2,159,500 350,000	244,840 3,450 12,700 290,000 24,000	564,760 79,530 80,800 1,869,500 326,000	99.4 80.6 85.6	222,560 79,530 80,000 1,869,000 324,000	3.26 5.20 2.9 2.28 3.1	5.30 2.14	★放流数は重量計算によるはの他、北大水産学部へ受精直後卵3,000粒分与
区	海	区	計	3,495,580	574,990	2,920,590	83.5	2,575,090	2, 9	5.30	
襟裳以西海区	遊楽音 元 浦 海		遊楽部 元浦河 計	23,000 5,100 28,100		19,000 4,500 23,500	88.2	18,800 4,400 23,200	2.27 1.29 1.29	2.28 1.29 2.28	
	阿寒尾	川川区	阿 寒太 田計	2,500 75,000 77,500	260 21,900 22,160	2,240 53,100 55,340	70.8	2,200 50,600 52,800	4.10 4. [4. 1	4.30 4.20 4.30	
根室	別風西当標	温	厚浜虹計根床中別別室	450,000 644,400 1,626,170 89,000 649,000	24,770 46,900 136,570 5,900 106,200	435,230 597,500 1,489,600 83,100 522,800	92.7 91.2 93.3	426,560 595,000 1,479,380 82,400 541,200	4. 1 3.10 1.10 2.10 3. 1	2.12	此の他発眼卵2[3, 000粒羅日へ移施 中標準から受精直 後卵[4],500粒及
洒区	伊茶仁 薫 別 日 海	ЛГ	伊茶仁 別羅 臼 計	67,900 48,000 285,100 3,869,570	7,030 17,900 29,180 374,450	60,870 30,100 255,920 3,475,120	62.7 89.7	56,400 29,700 255,350 3,465,990	2.28 3.25 1.28 1.10	2.28 3.25 2.17	で507,500粒移殖 {虹別から発眼卵2! (3,000粒移殖
	·		at	16,827,350	1,940,060	14,867,290	88.3	14,012,380	1.10	5.30	

7. 鮭鱒親魚蓄養成績

(1) 蓄養施設概要

昭和29年度に北海道各地において親魚の蓄養を行つた採卵場は、鮭80ヵ所、桜鱒41ヵ所、樺太鱒37ヵ所であり、そのために使用した施設は149、総面積17,735.4坪であつた。(但し函生簀もその各々を1施設と考えた。)

なおそのうち67施設8,112.4坪は各魚種に重復して使用されたものである。

上記 149 施設を構造別にみれば、下表 (2) の通りであるが、最も蓄養条件のよいと考えられる 粗掘池(B)、板囲池(C)、二重留(E)が37施設(25.5%)にとどまり依然として固定生實及び 特に条件の悪い函生實が108 施設(72.5%)の多数を占めており、捕獲親魚の状態から殆んど蓄 養の必要性がなく、函生實で間に合う一部の採卵場は別としても早急なる施設改善の要が痛感さ れる。

① 魚種 別 内 訳

魚		褈	蓄養 実施採卵場数	使用施設数	使用総面積	備	考
	鮭		カ所 80	127	17,006.8	特に使用施設数が	が多いのは蓄養施設
桜		鱒	41	45	4,816.9	を2面以上持つ	ているところの外に 實を数個使用してい
樺	太	鱒	37	44	4,024.1	るところがあるが	とめである。

② 構造別内訳

構		造	構造記号	施設数	%	面	積	%	備	考
固	定 生	寶	A	27	18.1	1,538	3.3	8.8	底質記号	A ·····木質
粗	掘	池	В	9	6.0	372	2.0	2.1		B泥質
板	囲	也	С	17	11.4	913	3.0	5.1		C ······ 砂
函	生	簀	Q	81	54.4	144	1.1	0.8		D玉石
=	重	留	E	12	8.1	14,434	1.0	81.3		E砂利
其	の	他	F	3	2.0	334	1.0	1.9		F ······砂礫
	計			149	100.0	17,735	5.4	100.0		

③用水别内款

用		水	用水記号	利用施設数	%	備	考
河]]]	水	A	139	93.3		
地	下	水	В	4	2.7		
傪	透	水	С	6	4.0		
	計			149	100.0		

註 函生實を使用する個所が相当数に達しており、それらの各採卵場では催熱のための蓄養と言うよりもむしろ毎日の捕獲親魚を採卵迄或る程度の尾数を纏めるために 2.3 日溜めておく場合が多く、これを蓄養と考える事には問題があるが、簡単にその区別をつけかれるため一応総て蓄養と考えて集計した。

						鮭	鱒	親	魚	蓄	養	池	状	沥	7 調			<u> </u>	記 多 ————	ξ 							
	Ĭ.,			位		置		榯			造		魚	锺 別	使用面	積	用		水	G		用	期	間	-12	備	考
支場	[[]	了業 場	採卵場	河口迄抗	南獲場迄	采卵場迄 在	重類	面 積	縱	横	高	底質		桜	網槽	計太網	重類 水	深	干満の 影 響	自	至!		· 警	棒 太 自 -	至	VH3	~ -
北見	岩	⊧尾暑	ル シ ヤ 岩尾別第一 〃 第二 海 科	0.18 0.16 1.10 0.91 18.00	** 94 8 14 30 5	1	B C "	76 42 87 20 30	38.0 3.5 3.1 10.0 20.0	2.0 12.0 37.0 2.0 1.5	5.0 3.0	r F		42 6	87 	76 42 — 20 12	// // //	60 150 120 45 76	ない " " " "	10.21	11.29 — — — — 10.30	_	9.21 9.13	8.1 8.5	9.30 10.9		
	沒維西支	走河網走	止藻網西 網 第 一 常 出 第 二	6.10 8.0 5.00 7.00 1.80	30 10 200 4.875 50	10 10 100 4,875 5	B D	50 2×6 12 40 2 40	12.5 2.0 — 2.0 20.0	4.0 1.0 — 1.0 2.0	3.0	" A		12 40 2 40	50 2 -	50 6 2 —	// // //	80 70 33 120 140	± 60 なし ± 100	9.15 10.23	12.13	6. 1 6.11 — —	9.17	8.3 8.1 9.15			
	沙洋	//	// 第二 端 佐 B 明 所 第 日 明 第	1.80 52.00 1.00 1.60 0.90	60 90 20 300 80	10 20 20	C	48 90 2×2 4 75 2×5 10	16.0 20.0 2.0 25.0 2.0	3.0 4.5 1.0 30.0 1.0	5.5	A A		48 67 4 75 6	 67 75 4	- 67 4 75 6	" " B	140 70 ? ? 90	// なし ± 50 なし //	10. 1 10. 4	12.15 11.24 12.20	7. I - 5.26 6. 2	9.28	9.1	10.10		
	脚門	// 部 // //	// 第二 與 第二 離 武 幌 内第一 // 第二	6.30 1.60 0.20 2.00 2.00	60 120 15 100 400	20 9 40 25 400	A " "	50 33 8 8 12	20.0 22.0 4.0 4.0 8.0	2.5 1.5 2.0 2.0 1.5	3.0 10.0 10.0			50 9 1.8 8 —	9 - 6	9 8 - 6	// //	70 70 150 70 70	# あな// #	9.11	12.17 11.28 12.15	8. 1	_	8.3 —	10.13		
天塩	徳田田	"	新藤 県 一頓 一頓	0.50 1.20 1.50 160 150	30 100 900 10 150	10	C " D	60 100 100 2 0×2 20	15.0 20.0 25.0 2.0 10.0	4.0 5.0 4.0 1.0 2.0	3.5 3.0 5.0	F B A	1		60 100 100 —	60 100 100 —	// //	70 70 72 90 75	± 20 なし ± 20 なし	6.16	11.15 11.22	7.28 6.11 6.11 —	10.13 9.7	7.15 7.27	10.18		
		 	天筬紋美信	0.80 81 122 127 8	200 	_	A D B A F	123 2 24 15 80	41.0 2.0 3.0 10.0 10.0	3.0 1.0 8.0 1.5 8.0	4.0 5.5 9.0	B, C A E " D	1	23 2 — 15 —			″ C A	120 60 60 120 90	± 25なし "" "" ""	10. 6 9. 8 —	11.23 12.14 — 12.10	6. 1		8. 6 —	9.30 — —		
		"	暑寒別	3	3,000	_	F	240	30.0	8.0	4.0	"		40	240		<i>"</i>	95	<i>"</i>	9.25 	10.17	7.27	9.24				
千歳	石 音影	"	狩 川越江生	2 55 70 155 5	1,000		// // C	50 ! !2 100 0.7	12.5 1.0 12.0 20 0.8	4.0 1.0 1.0 5.0 0.7	6.0 3.0 4.5 4.0 0.4	F " E		50 1 12 45	- 1 - -	_ _ _ _	"	120 64 90 61 60	± 66なし ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″	10. 2 9.23 9.15 10. 2	10.23	9.25 9.24 —				蓄養せず	;
	白勇支新箭	老払場冠内	白勇竭新静	1.70 12 14 3 2	7 24 — 50 —	10 24 - 50 180	D B A	1×5 5 50 3 2×3 6	1.0 1.0 10.0 3.0 2.0	1.0 1.0 5.0 1.0	4.0			1 5 50 3 6				45 90 90 66	// // //	9.17							
	元	"	三 石元浦河第一	0.70 1.10 1.10 3.50	10 60 10 50	42 10 70 50	A D	0.9 0.8 0.8 1.5	1.3 1.4 1.5 1.5	0.7 0.6 0.5 1.0	2.5 2.5	B.C F A	(.9 1.8 1.8	0.8 0.8	<u>-</u> <u>-</u>	C A	30 33 30 90	!! !! !!	10. 8 10. 2 11. 6 10. 8	11.28 12. 5	9.28 10.16	9.29 10.20	- - -			
渡島	尻朱	別"大	名越内————————————————————————————————————	16 28 18 8 8 8	20 30 200 50 50 50	200 50 50 50	" " " "	0.6 0.6 0.6 1 0.5	1.0 1.0 1.0 0.5 0.9	0.6 0.6 0.6 0.6 0.6	4.0 4.0 3.0 3.0	A	C	1.6 	0.6 0.6 0.6 1	1 1 1 1	 	50 60 40 40 35	// // // //	9.15	12.10	9. 1 8.15 9.12 9. 9	10.10		111111		

			_				位		置.		構				造		魚種	重別	1
支場	洅	業	場	採	gp	場	!		採卵場迄	種類		责	縱	横	高	底質	鮭	杉	¥
渡島	利厚知支	沢	別部内場	冷厚知落	沢	水部内部	12.0 2 2 2 2	* 5 100 15 3	50 15	Ö Ö <i>W</i>	1×2	20 20 20.6	2.0 10.0 1.0 1.0	1.5 2.0 1.0 0.6	4.0 4.0 4.0 4.0	E A	20 20 0.6	2 6	
	遊長	楽万	部部	遊長	楽万	部	2.20 1.10	20 20	20 20	"	1×2 0.8×2	2 1.6	1.3	0.8 0.6	4.0 3.5		1.6	2 6 	_
一一	大支幕	"	樹場別	広歴打利幕		尾舟内別別	0.40 1.29 3.90 27.50 37	250 1,000 1,200 10	01 300 	A E " A D	7,5	10	1.0 50.0 360.0 5.0 2.0	1.0 2.0 21.0 2.0 0.7	5.0	в. С	100 7,500 10	0 0 0 4	
	支札幕	" "	場内別	平 東東東	大田 2 2 5 15	第第第第 一二一二号	43.20 43.20 44.70 46.70 63.60	100 2,000 50	10 5 5 65	A " E A	1	120 120 75 135 140	60.0 30.0 15.0 15.0 40.0	7.0 4.0 5.0 9.0	9.0 6.0 9.0	B. F B. D E " C. F	400 100 75 135 440	0 5 5 0	
	札白	""	内糠	札西 音音	3 号(将第 内一二 更 別	48.00 53 50 58 1.10	10 50 100 50	2 10 5 3 30	D E // A D	2×2 0.7×2	49 60 30 1.4	2.0 7.0 15.0 10.0 1.0	1.0 7.0 4.0 3.0 0.7	2.5 9°0 8.0 5.0 4.0	E //	49 60 30 1.4	9 0 1 4	
	阿鹞	"	寒居		v j	第第第 路一二三 理	1.80 2 15 2 40	 60 200 20 5	100	"CFD"	0.7×6	1.2 37 14 0.6 4	1.0 37.0 7.0 1.0	0.7 1.0 2.0 0.6 1.0	2.5 6.0 1.5 2.0 4.0	B.C F A	4.2 37 14 — 4	7 1 -	
	釧大	"	路田	茅 仮別	y 1	第二二監件	65 65 6.20 16	 7 34		E A D C	2,8 2×2	820 16 4 30	141.0 8.0 2.0 10.0	20.0 2.0 1.0 3.0	4.0 6.0	B.C B.C A B	2,820 16 4 30	ś ł	
根室	厚浜虹	"	床中別	別計	朱	第第一二蓮別線	! 4 4 20 36 13	20	20	E E A E	2.5×2	000 5 210 4 000	100.0 2.0 30.0 2.0 80.0	10.0 1.2 7.0 2.0 12.5	6.0		1,000 2.5 210 4 1,000))	1
	計	/根///	S 0	西床春当	春 幌	別丹別一二 第第二	1.50	5 3 2 2	2 3 5	"		3 540 420 600 9	2.0 30.0 30.0 50.0 2.0	1.5 18.0 14.0 12.0 1.5	4.0 5.0	- B.C - "	3 540 420 600)))	
		"	津仁	武ヶ標伊忠	ナ茶類質	佐ナ津仁一	9.40 18 41 0.20 0.20	20 7 5 —	4 4 . —		2×6	12 120 40 4 2	2.0 40.0 20.0 2.0 2.0	1.0 3.0 2.0 1.0	4.0 4.0 4.3 3.5) C) E 5 ?	6 20 40 4 2		
	煮	""	别	15	//	第二別 療一二	0.20 0.20 0.20 0.10 0.10	200 	. 7 5 20 5 30	B D B		40 25 1 2 3	10.0 12.0 1.0 4.0 3.0	4.0 2.1 1.0 0.5 1.0	3.3 2.0 4.0 1.3 4.0) //) A 5 E	20 25 1 2 3	i :	
	羅	""	臼	元 植	騎馬 別 ツリス	無第第ち ル異一二丹臼イ	0.20 0.10 0.50 0.20 0.20	320 200 220 170	- 10 280 200 220	B D C	2×2	1 4 5 2 2 2	1.0 2.0 10.0 2.0 2.0 2.0	1.0 1.0 0.5 1.0 1.0	4.0 4.0 3.0 3.0 3.0) A 5 E) "	1 4 		

 造		-	魚種	別使用	面積	用用		水	1	 吏	用	期	間		
高	底質		鮭	桜輝	樺太鯛	種類 水	樑	——— 干満影響		至			樺 太自	、 鱒 至	備考
尺 4.0 4.0 4.0 4.0	E A		3 20 2 0.6		. –	A ″	50 75 45 40	をし !! !!	70.15 10.12 10.29	11.19 12.8 11.30 12.13	Л в — —	Я ы — — —	Я П	月 日 — — —	
4.0 3.5		_	2 1.6		· -	"	5 5 5 5	± 100		12.25 12.8					
12.0 5.0	E E B.C F C. F		100 7,500 10 4	=	——————————————————————————————————————	A "	60 45 210	なし " ± 96 なし		12.18		_ _ _ _		- - - -	
9.0 6.0 9.0	B. F B. D E " C. F		400 100 75 135 440			 	100 70	" " " " "	10.21	12.24				 	
2.5 9.0 8.0 5.0 4.0	"		4 49 60 30 1.4		——————————————————————————————————————	" " C A	45 60 60 50 60	" " " "	10.1	10.23 10.17 10.24	 				
2.5 6.0 1.5 2.0 4.0	B.C F A		4.2 37 14 — 4	-	0.6		65 10 21 45 60	// // //	9. 9 10. 1	12. 8 11.28 11. 7 — 12. 9	 		8.13	9.27	蓄養池導水路
4.0 6.0	B. C B. C A B	-	2,820 16 4 30	30	 30	// // //	130 130 100 120	# ± 100 なし	9.25	12.16	8.1	9.21	7.11	9.21	
 6.0) A - B.C - A - B.C		1,000 2.5 210 4 1,000	1,000 2.5 210 4 1,000	1,000 2.5 210 4 1,000	// //	120 90 140 90 65	± 60 ± 60 なし ""	9.10 9.12	!1. 8 !1. 8 !!.!! !!.!! !.!2		9.27 9.27 10. 2 10. 2 10. 2	8.11 8.11 9. 2 9. 2 7.17	9.27 9.27 9.22 9.22 10. 3	
_	- B, C - "		3 540 420 600 9	3 540 420 600 —	420 600	// //	50 100 140 120 120	# ± 30 ± 30 ± 10	9. 2	4	7. 6 7. 4 7. 4 7. 4	9.24 9.25 9.25 9.25	8. 3 8. 1 8.27	9.18 9.25 9.25	
4.0 3.0 4.0 4.1 3.1) //) C) E 5 ?		6 20 40 4 2	20 20 — 2	20 20 —		120 75 75 70 60		9. 3 9. 1	12.18 12.25 12.13 12.6 12.19	9.13 7.21 7.9 8.1	9.21 9.28 9.23 — 8.27	9.11 7.23 7. 7 7. 5		
2.0 4.0) A 5 E		20 25 1 2 3	20 	20 	" " " " "	55 60 60 45 45	 	9.10 9.16 10.27 11. 1 9.28	12.18	8.28 — — — —	9.30 — — — —	8.28	10. 5	
3.5 3.6 3.6	O A 5 E O "		1 4 	 5 -	 5 2 2	" C A "	40 60 60 33 48 30	" " " " " "	11.17 9.12 — — —	2.16 12.15 — — —	7. <u>!!</u> - -	8. <u>18</u> — —	7.11 7.30 7.19 8. 1	9.27 9.25 9.25 9.25 9.25	

~ この表の説明 ~

鮭鱒の蕎麦池は前年度の 14,638.43 坪に対して本年度は17,735.4坪に増加した。 鮭の本年**度蕎麦実施**個所は 前年度の90個所に対して80個所に減少したが、使用面積は17,006.8坪に(前年は13,295.43坪) 増加した。 桜鰺 は前年度の実施個所29個所 (1,524.98坪) に対して本年は41個 (4,816.9坪) に増加した。 このことは近年の 鱒の蕎麦率、雌親魚使用率の成績向上に原因をなしていると考えられる。棒太崎は殆んど前半度と変らない。

(2) 鮭親魚蓄養成績概要

鮭

捕獲採卵事業を行つた岩尾別以下85採卵場中東神楽以下 5 採卵場を除く80採卵場において蓄養を実施し、♀ 親魚総捕獲数174,237尾のうち130,034尾 (74.6%) が蓄養され 108.854 尾(83.7%) が催熟使用された。

蓄養率及び催熟率は前年度のそれに比し、前者は0.8%、後者は1.1%減少しているが、本年度は昭和25年度以来の大漁で辛蓄養尾数は前年の約2倍に達するものであり、或る程度の減少も止むを得ぬものと思われるが、平均辛催成熟比82.0%の数字にみられる通り総体の平使用親魚中速後採卵可能のものは23,948尾(18.0%)に過ぎず、捕獲親魚の大半が蓄養しなければ採卵のできないものであり、大漁年に対応でき得るように充分な施設を完備することと蓄養中の斃死に対する技術的研究の必要性が痛感される。

なお又、♀斃死率が20%以上に達した網走、常呂、紋穂内、石狩、千代田第1、東12号、西3号、の各採卵場蓄養池については捕獲場位置、蓄養池構造等の問題に対する再検討が必要である。

桜 雄

捕獲採卵事業を行つたルシャ以下41採卵場中円朱別を除いた40採卵場において蓄養を実施し、 ♀ 親魚総捕獲尾数 6,015 尾の 5 55,196尾 (86.4%) が蓄養され4,076尾 (78.4%) が催熟使用された。

前年度に比し、♀薔養率が9.0%増加し、収容した♀親魚数も約1.5倍であつたにかかわらず、♀斃死率1.8%、♀取揚率8.0%それぞれ減少し、♀親魚催熟率が9.4%上昇したことは最も困難であると考えられる桜鱒の薔養に対する技術の進歩したことを示すものであるが、催成熟比(平均91.2%)を見る迄もなく干歳、渡島の両支場管内を除いてはすべて薔養によつてのみ採卵が可能なものであり早急に完全な薔養技術を確立する必要がある。

なお♀催成熟比が100%(蓄養しなければ採卵不可能な採卵場)であるにかかわらず♀蓄養率が90%を下廻つている元西,徳志別,頓別,紋穂内の各採卵場については特に蓄養意欲の高揚が 肝要である。

樺 太 鱒

捕獲採卵事業を行つたルシャ以下37採卵場中♀が捕獲されなかつた暑寒別を除く36採卵場において蓄養を実施し、♀ 親魚総捕獲尾数8,312尾の5 ち7,625尾 (91.7%) が蓄養され5,647尾(74.1%) が催熟使用された。

前年度に比し蓄養率25.0%、♀催熟率 9.5 %それぞれ増加し一応技術の向上したことが認めら

れるが、何分本年度は不漁年に当り、取扱い親魚数が前年度の約¼程度であつたことも成績向上の大きな要因と考えられるので、桜鰤についで蓄養の困難な本魚種の蓄養技術向上に対するより 一層の努力が望まれる。

なお♀親魚催熟率が50%に達しない幌別、阿寒、別寒辺牛、14線、忠類、植別、春刈古丹、羅 臼の各採卵場については、全採卵場が全数蓄養を必要とするに拘らず蓄養率の低調であることは 根本的に再検討の必要がある。

魚運	年度	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	蓄養実 施採卵 場数	♀ 総捕 獲数	♀蓄養数	泛中	♀斃 死率	♀取 揚率	♀親魚 催熟数	♀催 熟率	♀催或 熟 比		♀使用率
	27	114	67	尾 145,083	尾 65,521	45.2	8.5	6.9	尾 54,562	83.3		84,164	53.0
鮏	28	96	85	99,312	74,891	75.4	3.7	6.5	63,511	84.3	82.7	76,829	77.4
	29	.35	80	174,237	130,034	74.6	9.9	5.9	108,854	83.7	82.0	132,802	76.2
 楼	27	48	30	16,928	7,474	44.2	13.4	25.6	4,552	60.9	61.6	7,390	43.5
	28	36	30	4,601	3,561	77.4	14.5	16.6	2,456	69.0	79.3	3,097	67.3
鱒	29	41	40	6.015	5,196	85.4	12.7	3.6	4,076	78.4	91.2	4,47[74.3
樺	27	47	31	38,875	25,355	65.2	7.9	6.4	21,714	85.6	91.1	23,825	61.3
太	28	40	34	43,155	23,783	66.7	19.1	16.3	18,605	64.6	71.4	26,053	60.4
鱒	29	37	36	8,312	7,625	91.7	12.3	13.7	5,647	74.1	99.9	5,650	63.0

なお上記成績は、1日でも蓄養施設に収容したものをすべて蓄養尾数として集計した結果であり、そのため催熟が目的で蓄養したものと、採卵迄2、3日溜めておく程度の親魚が混同されており、完全に即時採卵出来得る親魚数だけは把握できたが、催成熟比が鮭の場合でも82.0%と相当大きな割合を示している。

今後この点について一段と掘り下げた調査を行い,成熟させるために蓄養しなければならない 正確な数字を把握する必要がある。

註 取 揚 尾 数……蓄養親魚中採卵に供される前に取揚げられたもので、勿論採卵親魚にも又斃死魚にも入らぬものであるが、主に斃死寸前或は催熟見込なきために取揚げられたものである。

なお逃逸魚或いは西別川14線採卵場にみられた河川還元魚等も含まれている。 (この取 揚尾数は各採卵場共相当数に達し, むしろ斃死数を上廻る個所もあるので蓄養成績の検討 を行う場合, 斃死数と取揚尾数を併せて考えなければならない)

催熟親魚数……蓄養親魚中の採卵親魚(即ち蓄養によつて採卵に供し得た親魚数)

使用親魚数……捕獲採卵成績中の使用親魚数(催熟親魚+即時採卵親魚)

♀催成熟比……使用親魚数と催熟 8 親魚数の割合 (使用親魚中蓄遊によつて採卵に供し得た親魚の割合)

			(ā)	tr.t.	·	r13	Æ		=b#:		養		成	緝	ķ	表			
			<u>(1)</u>	鮭		兒 	<u></u>		著			旦 艮		 	1			/i# FE	THE AS
事業場	採卵場										٠ <u>۱</u>	\$	計	き計	P P			♀ │	8 ()
岩 料 藻 網 西 網 西 表 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走	岩斜藻網西 別里琴走走		78	5 A2 3 42 9 25 0 232 4 2,470	85 100 64 100 562 100	78 4	# 11	75 1.2 ,313 21.1	% % 		尾 —	21 76 186	21 — 76 —	32.813.5 7.5 2.2	39 326 4,590	尾 21 25 145 2,195 6 221	是 % 64 100 64 100 471 98.8 ,785 78.9 694 97.1	是 43 39 326 4,590 473	尾 21 17 145 2,195 221
北州別州沿	佐呂間	1,762 2,152	3,914 1,762 262 89 6,313 5,595	2 1,806 4 37 5 2,327	3,568 100 12188.4	846 — 469 92	290 1 — 52 17	521 8.4	 2.2 6.6		92 126 1 363 —	12 882 — — 7	1,008 7.2 1 1.2 363 6.5	48.828.3 — 1.0 — 4.6	1,636 83 4,763	924 2 37	,560 92.9 120 98.8	1,636	638 924 37 2,275 205
興 部 幌 内	與 部 建 武 幌	46 57 16 6 213 185	22 14	4	65 100 18 8 7. 5 372 100	<u></u>		7.1				— 58	 58 _	36.5 15.6	46 13 213	19 4 101	65 100 17 92.9 3 [4 100	46 13 213	19 4 101
見支	場計	19,845 31,222 5	1,06717,948	8,5112	26,45990.4	2 ,650	459 3	, 109 14 . 8	5.411.8		582	1,242 	1,824 3.2 ———	14.6 6.9	14,716	6,81021 ———	,52682.01	14,716	6,8022
歌 登	幌 別	1,511 4,174 90 155 1,075 1,334	5,685 1,410 245 69 2,409 932	9 427 9 56 2 297	12576.7 1,22986.7	5 137 11 46 409	36 5 7 82	173 9.7 1615.9 53 4.5	8.4 9.4 8.9 12.8 2.4 4.3		 10 4 186	488 27 • —	37 14.5 4 0.4	48.229.6 — 0.3	48 882	24 290 1	7269.6 ,17294.6	390 886 56 971 1,673	118 290 27 331 498
"	许 皂	423 740 22 24 4,380 4,816 6 23	46 22 9,196 4,379	2 20 9 1,884	47691.3 43 [00 6,26399.9 [783.3	10 15 2[4	1 7 2	2268-23	3.351.2		67 145 —	17 10 -9	10 — 145 3.3 9 —	47.623.3 — 2.3 75.052.9	7 4,020 5	3	8 100	5	81 4 1,882 3
塩 支	場計	11,160 16,7702	7,930 9,869	3,4851	3,35188.4	847	140	987 3.6	4.0 7.4		412	551 	963 4.2	15.8 7.2	8,220	3,181 11,	,40183.3 	8,335	3,234 1
石千″″江	登 平 川	76 88	 164 74 6,415 1,30	50 591	12497.4	522 1 21 10	80 3 	4 1.4 21 1.6	6.0 3.2 - 1.1		8	3 -20 171 —	 20 _	1.0 0.8 40.016.1 28.9 9.0 	506 73 1,282 186			508 75 7,776 186	215 — 27 2,946 10 48
東敷白勇新神生老払冠	東敷白剪鵡 半生老払川	1 4 508 400 637 381 771 750 173 269	908 — 1,018 12 1,521 236	2 3 6 207	 15								17 —	 33.326.7 8.2 3.8 - 0.5	9 236 149			480 611 763 150	224 239 384 1 65
		004: 000	4,517 50° 155 1° 153 5°	7 472 7 36 4 70	320 62.1 979 20.3 53 22.4 124 83.1 369 91.0	19 - - 3					12 13 2 1 15	49 176 17 48 41	189 2.6 1911.8 49 1.9	37.319.3 47.235.8 68.639.5	165 475 15 53 205	291 19 22	76693.7 3488.2 7598.1	247 2,332 74 64 211	105 1,257 3 40 25 103
歳 支	場計	25,96334,3916	80,359 3,93	5 2,124	6,10915.3	576	91	667 14.5	4.310.9		55	543	593 1.4	25.6 9.7	3,354 1	1,490 4,	844 84 . 2 1	3,477	5,67819
尻 // 別 // 太別 // 太別	日 衛 作 冷 丹	60 90 235 194	150 4 429 7 7 27 1	3 66 7 52 2 6	50481.0 10971.7 12932.8 18 3.0		 	 2 2.6 	 1.6 		20 5 	167 34 22 1	3911.6	51.535.8	193 38 75 12	32	7088.4	229 50 228 395 82	126 33 101 138 30
厚沢部 (四) (四) (ص)	厚知 下 四 下 四 で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	2,856 2,570 764 397 2,725 4,328 56 62	1,161 1: 7,053 - 118 1:	9 8 - – 7 16	27 2.5 33 30.4	11111		 	 		45 1 - 2 9	967 1 — — 3 144	1 5.3 — — 511.8	$\begin{array}{c} -3.7 \\ \\ 18.815.2 \end{array}$	2,320 1 18 - 15 657	8 <u></u> 13	2694.7 : 2888.2	753 2,695 45	260 1 1,113 3 32
	岩科藻 網	岩 斜藻 網	事	事業場 探別 場	事業場	事業場 採即場	事業場 採卵場 マ	事業場 採 別 場	野寒陽 採 即 場	接端 採即場 マ 本 で で	接触 接 接	野東城 採 野城	事業場 採 別 場	接続 様 原 明 場	安地 安田 安田 安田 安田 安田 安田 安田	接続 接		特別 特別 特別 特別 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	接触 接

蓄	養		<i>[</i> 5]	£		綅	į		表								
災 斃 死 率	取	揚尾	数	取	揚	率	催棄	決 親 1	魚数	♀親魚催		刊親魚絲	發	♀親 魚使			考
1 2 8 1	9	\$	計	ę	\$	計	ę	8	ii t	熟率		8	計		比	VHS	
A % % %	尾 一 一		尾 21 —	%6 —	50.0	24.7 - —		2.	6	4 100 4 100	43			% 100 100			
15 1.2 4.7 2.7 313 21.1 3.6 15.8 14 2.9 — 2.0		76 186 —				313.5	326	145 2,195	5 47 5 6,78	1 98.8	326 4,590	145 2,195	471 6,785	98.7	100 100		
136 28.1 30.9 28.7	92 126	882	1,008		48.8	328.3	2,077 1,636	924	2,56	92.9	2,077 1,636	924	2,715 2,560	93.0	100		
521 8.4 2.2 6.6 109 18.2 7.4 14.8	363 —		363	6.5		- 1.0 - 4.6 1 0.9	4,763	2,275	7,03	8.890 1.788 8.189	4,763	2,275	7,038	987.4 976.2 949.4	100		
17.1 - 5.6		_ 58	- 58	_	36.5	5 15.6	46 13 213	. 4	į į	5 100 792.9 1 100	13	4	17	100 181.2 100	100		
10914.8 5.411.8	582	1,242	1,824	3.2	14.6	6.9	14,716	6,810	21,52	6 82. 0	14,716	6,802	21,518	374.2	100		
5 1.3 — 1.0 173 9.7 8.4 9.4 1615.9 8.912.8 53 4.5 2.4 4.3 491 18.0 14.1 17.2	 10 4 186	488 27 • —	37 4			29.6 0.3		290 24 290) 1,176 · 72) 1,172	269.6 294.6	886 56	290 27 331	1.176	62.28 90.39	100 5.7 0.8	{387尾 ♀ 【認蓄養	↑ 誤
11 2.6 1.1 2.3 2268.233.351.2	67 —	17 10		17.4 —		17.6	309 7	72 4		180.1 131.8	327 7			77.39 31.8			
216 4.9 0.1 3.4 — — — —	145 —	9	145 9	3.3	75.0	2.3 52.9	4,020 5	1,882	5,902	8.162 8.100	4,020	1,882	5,902	91.8	100		
987 8.6 4.0 7.4	412	551	963	4.2	15.8	7.2	3,220	3,181	11,401	83.3	8,335	3,234	11,569	74.79	3.6	{幌別 387 ♀a誤認	尾 蓄養
60250.427.145.2	8	3	11	0.8	1.0	0.8	506	212		8 48.8	508	215	723	4.19	9.6		
4 1.4 6.0 3.2 21 1.6 — 1.1 10 5.1 — 4.1		20 171 —	20 171		40.0 28.9		73 1,282 186	27 420 48	100 1,702	98.6 298.4 94.9	75 7,776 186	27 2,946 48	10,722	 98.79 99.61 37.5	6.5		
	- 3 - 1		17	25.0 0.6		26.7 3.8 0.5	9 236 149		426	75.0 100	480 611 763 150	224 239 384 65	850 1,147	— 96.4 95.9 98.930 87.793	1.5 0.9	蓄養せず	
24 3.7 1.1 2.5 — — — — 6 1.3 2.0 1.6	12 13 2 1 15	49 176 17 48 41	189 19 49	11.8 1.9	34.3 37.3 47.2 68.6 28.1	19.3 35.8 39.5	165 475 15 53 205	94 291 19 22 102	766 34 75	93.2 93.7 88.2 98.1 91.9	74 64	105 1,257 40 25 103	3,589 114 89	97.32(0.4 0.3 2.8		
667 14.5 4.3 10.9	55	543	593	1.4	25.6	9.7	3,354	1,490	4,844	84.21	13,477	5,6781	19, 155	51.924	1.9		
	20 5 — —	167 34 22 1	39 1 22	9.4 11.6 — —	57.4 51.5 42.3 16.7	35.8 17.1	193 38 75 12	124 32 30 5	70 105	90.6 88.4 97.4 100	229 50 228 395 82	126 33 101 138 30	833 3293 533	87.184 83.376 97.032 100 5	6.0 2.9 3.0	蓄養せず	
	45 1 - 2 9	967 — — 3 144	 51	1.9 5.3 — 11.8 1.4	- 18.8	3.7 15.2	2,320 18 — 15 657	8 — 13	26 — 28	94.7 — 88.2	753 2,695 45		1,013 3,808 77	98.6 2 98.9 80.433	2.4 — 3.3	蓄養せず	

支場	事業場	tve.	卵場	捕		尾 数	蓄	 養 尾	,数	♀蓄	斃	死 尾	数	斃	死 章	 3
义物	尹耒呖	17.	ומהי נוע	ç	δ	 計	ę	8	計	養率	ę	â	計	₽	8 8	t
渡島	長万部	長	万部	局 93		尾 75 1	題 88 87	66 66	項 15 3	93.5	R	, <u>r</u>	A	%	90	%
渡	島支	場	計	9, 105	9,6	52 13 , 7	5 7 3 ,499	3,152	6,651	38.4	2	! -	2	0.1	O	.1
十勝	大 / 将 / 勝 / 勝	広歴打利幕 千	尾舟内別別 田	211	27,4 1	23 1,3 9143,9 55 3 22 4,3	00 33 54 264 1212,471 66 145 61 2,439	3,869 3,869 61 1,916	376 16,340 206 4,355	68.7 100	1,314 1 93	841	2,155 1	0.7 3.8	$\begin{array}{c} -1 \\ -1 \\ 21.713 \\ -0 \\ 2.7 \\ 3 \\ 11.320 \end{array}$.2 .5
	幕 別札 内	東	》 計 15 号 12 号	705	2,7		- 4,826 39 16,034 57 693	1,761 5,218 188	6,587 21,252 881	29.2	541 3,092 126	117 509 29	658 3,601 155	11.2 19.3 18.2	6.610	.0 .9
	// // // // // // // // // // // // //	札西音音茶	7 9 更別路	290 159 13 232 617	4 2		11 132 7 3 11 00 1 34	47 6 6 2	179 17 196	100 83.0 84.6 57.8 100	28 11	10	34 21	21.2 8.2	$ \begin{array}{r} - 1 \\ 12.819 \\ - \\ 16.110 \\ - 7 \end{array} $.0
	阿鶴釧太 "寒居路田	阿雪茅仮別	寒裡沼監 寒辺牛	3,669 5,601 118	1,8 5,3 4,5	15 3,65 52 9,05 2510,15 29 24	95 390 97 1,842 11 3,669 126 2,146 116	1,815 5,282 1,628 65	3,659 8,951 3,774 181	100 38.3 98.3	53 —	8 —	61	0.4	2.0 8 0.4 0 0.7 0	.4 .7 —
+	勝支	場	計 	50,530	66,4	23 ¹¹⁶ . 	3 42,034	21,163	63,252	33.3	5,061	1,604	6,665	12-0	10.510	-5
根室	厚浜 " 如 "	風円14	当 朱 春	632 145 73 25,560 867	1 2 5, 5'	89 1,42 35 28 71 14 72 51,13 29 1,29	145 14 73 12 2 5,317	84 69 1 2,2 15	142	001 001 99.0	3,646 17	2,689	6,335	_ 	0.5 0 22.016 2.8 2	 .9
	計根別 " " 中標津 "	床春当武チ	丹別幌佐ナ	146 96 1,647 2,899 436	1,2 2,6	01 24 56 15 90 2,95 30 5,52 77 95	52 96 57 1,637 29 2,899	56 1,290 2,138	152 2,927 5,037	100 100 99.4 100 92.2	 4 40 51	280	320			. 4
	伊茶仁	忠薦	茶 多	1,090	1,1,7,7,0°	68 2,25 57 1,85 7420,57	9 1,912 8 1,090 9 1,102 411,063	1,168 757	2,258 1,859 19,874	001 001	12 - - -			0.6	0.1 0	. 4
	// // 羅 臼	植植	キュイ オーイ 別 打 日	3,103 168	2,3	50 9 49 5,45	2 3,011 0 166	37 2,184	77 5,195 250	88.9			2 - - -	1.0	- 0 - - -	1.
	"	水圧	臼													
根	<i>"</i> 室 支	場	•				52,652	33,720 -	36,372	91.4	3,779	3,000	6,779	7.2	3.9 73	.5

~ この表の説明 ~

鮭親魚の著養成績は、蓄養率、♀親魚使用率共に前年度に比較して向上しているが、石狩採卵場の蓄これ等は大いに改善の要がある。蓄養池内の斃死率は紋態内採卵場の51.2%、石狩採卵場の45.2%が最である。

なお河口附近においての親魚の蓄養は、従来から困難なことであつたが、打内蓄養池は、その成功し

ヤ	揚尾	釸	取	揚	率	催業	. 親 魚	魚数 ♀親		用親魚絲	验数		♀催	
φ	8	計	₽	â	ii j	Ş	8	計製率		\$	計	用率	成熟	備考
尾目	尾 29	尾 30	95 1 . I	43.9	9 19.6	Æ 86	處 37	尾 % 123.98.9		尾 46	原 138	98.5	93.5	
83	1,367	1,450	5.4	43.4	421.8	3,414	1,785	5,19997.6	8,854	3,742	12,598	97.2	38.6	
						32	21	53 97.0	34	23	57	91.8	94.1	
	_	2,267	18.2					13,13871.3	8,890		13,138	54.1		8 1220尾再
14	955	969	5.7	49.8	8 22.3	144 2,332	61 910	20599.1 3,24295.6			3,242			用
1,835 124	303 72	2,138 196	16.4 2.6	8.8 4.9	814.6 9 3.0	6,822 4,161	2,762 1,572	9,58460.9 5,73385.2	_	_	_	_	_	{♀1589 ♂303逃逸
1,959		2,334		7.	211.0	10,983 567	4,334	15,31768.5	10,996		15,344 726	66.4	99.9 100	
_	_			_		440	159	599 66.9	480	178			91.7	
_	_					286 104		14578.8	104	41	145	65.4	100	(♀ 6,,,,,,
6 —	4 6 64	6	54.5 —	9.	7 <i>5</i> 8.8 7 3.1 9 7.3	123	4.5		123	46	169	53.0	100	{
6		64 21	1.5		3 3.5						,		100	8 12尾再使
2	954		0.1	52.	626.1	1.832	856	2,688 99.5 5,236 98.6	1.832	856	2,688	99.5	100	
				69.	240.8	3.616	I - DZU							
		3,654 625 24		38.	240.8 416.6 913.3	2,146	1,003	3,149 100	5,588	1,899	7,487	99.8	38.4 98.3	
- -	3,654 625	3,654 625 24	_	38.9 36.9	4 16.6 9 13.3	2,146 116	1,003	3,149 100	5,588 118	1,899 41	7,487 159	100	98.3	打内 & 1220 柔路 & 12 再使
- -	3,654 625 24	3,654 625 24 10 , 930	_	38.4 36.5 31. 5	4 16.6 9 13.3	2,146 116 32 , 769 529	1,003 41 14,120 238	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5	5,588 118 36,601 542	1,899 41 15,174 261	7,487 159 51,775 803	99.8 100 72.4 85.8	38.4 98.3 89.5 97.6	【茶路 ↑ 12
4, 254	3,654 625 24 6,676 524 36	3,654 625 24 10,930 	10.1 13.4 8.2	38.4 36.5 31. 5 68.4	4 16.6 9 13.3 5 17.3 4 43.8 7 30.0	2,146 116 32,769 529 145 67	1,003 41 14,120 238 84 33	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8	5,588 118 36,601 542 145 67	1,899 41 15,174 261 84 33	7,487 159 51,775 803 229 100	99.8 100 1 72.4 85.8 100 91.8	98.3 89.5 97.6 100	
4, 254	3,654 625 24 6,676 524	3,654 625 24 10,930 607 42 781	10.1	38.4 36.5 31.4 68.4 53.3	4 16.6 9 13.3 5 17.3 4 43.8 7 30.0	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981	1,899 41 15,174 261 84 33	7,487 159 51,775 803 229 100	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8	38.4 98.3 89.5 97.6 100 100	
4, 254 83 6 690 2	3,654 625 24 6,676 524 36 91 59	3,654 625 24 10,930 607 	10.1 13.4 	38.4 36.5 31.4 68.4 53.7 0.5 13.8	4 16.66 9 13.3 5 17.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 35	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,205	85.8 100 85.8 100 91.8 82.1 87.8	98.3 98.3 97.6 100 100 100	
83 -690 2 19 490	3,654 625 24 6,676 524 — 36 91 59 63 25 920	3,654 625 24 10,930 607 42 781 61 85 25 1,410	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9	38.4 36.5 31.1 68.4 53.7 13.8 65.7	4 16.66 9 13.3 5 17.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143	1,003 41 14,120 238 84 357 357 35 31 370	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 127 100 1,51369.8	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,153	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 31 370	7,487 159 51,775 803 229 30,450 1,205 162 127 1,523	85.8 100 85.8 100 91.8 82.1 97.8 100 70.0	98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 99.1	
83 690 2	3,654 625 24 6,676 524 36 91 59 65 25	3,654 625 24 10,930 607 42 781 61 85 25 1,410 678	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0	38.4 36.5 31.4 68.4 53.7 13.8 65.7 44.6 71.5	4 16.66 9 13.3 5 17.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661	1,003 41 14,120 238 84 357 357 35 31 370	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 127 100	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,153 2,661	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 36 370 1,378	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,205 162 1,523 4,039	85.8 100 85.8 100 91.8 82.1 97.8 100 70.0	98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 99.1	【杂路 8 12 再使) 【♀641 河中 8 21 還
4,254 83 6 690 2 19 490 198	3,654 625 24 6,676 524 36 91 59 65 25 920 480	3,654 625 24 10,930 607 42 781 61 85 25 1,410 678 365	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9 6.8	53 68 53 671 44 70 47	416.69 913.3 517.3 443.8 730.0 72.1 84.7 334.4 616.4 348.2 513.5 344.2 423.9	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 31 370 1,378 112 875 567	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 1,51369.8 4,03991.8 39670.6	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,153 2,661 317 2,289 f,090	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 370 1,378 128 1,094	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,205 162 1,523 4,039 445 3,383 1,657	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8 82.1 97.8 87.0 70.0 91.8 72.7	98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 99.1 100 89.6 80.1	
4,254 83 6 690 2 19 490 198 67 17	3,654 625 24 6,676 524 36 91 59 63 25 920 480 298 789 601 221 3,441	3,654 625 24 10,930 607 42 78[61 85 25 1,410 678 365 856 601 221 3,989	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9 6.8 16.7 3.5 —	38. 36. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31	4 16.69 9 13.3 5 17.3 5 17.3 6 43.8 7 30.0 7 30.0 7 334.4 6 4.7 8 4.7 8 4.7 8 4.2 9 5 13.5 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661 2,844 1,833 1,090 1,102 10,515	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 35 31 370 1,378 [12 875 567 536 5,370	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 127 100 1,51369.8 4,03991.8 39670.6 2,70895.8 1,657 100 1,638 100 15,88595.0	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,153 2,661 317 2,289 1,090 1,102 10,697	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 31 370 1,378 128 1,094 557 536 5,405	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,203 1,523 4,039 445 3,383 1,657 1,658 16,102	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8 82.1 197.8 87.0 70.0 91.8 72.7 96.9 100 100 93.0	38.4 98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 99.1 100 89.6 80.1 100 98.3	【
83 690 2 199 490 198 67 17 — 548	3,654 625 24 6,676 524 	3,654 625 24 10,930 607 -42 781 61 85 25 1,410 678 335 856 601 221 3,989 10	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9 6.8 15.7 3.5 5.0 19.0	38. 36. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31	416.64 913.3 517.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661 284 1,833 1,090 1,102 10,515	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 31 370 1,378 [12 875 567 536 5,370 13	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 1,51369.8 4,03991.8 39670.6 2,70895.8 1,657 100 1,638 100 15,88595.0 3081.0	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,153 2,661 317 2,289 1,090 1,102 10,697	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 31 370 1,378 128 1,094 567 536 5,405	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,205 162 127 1,523 4,039 445 3,383 1,657 1,638 16,102	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8 82.1 97.8 87.0 70.0 91.8 72.7 96.9 100 100 93.0 86.4	38.4 98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 99.1 100 89.6 80.1 100 98.3 89.5	【
4,254 83 690 2 19 490 198 67 17 — 548 4	3,654 625 24 6,676 524 36 91 59 63 25 920 480 298 789 601 221 3,441 6	3,654 625 24 10,930 607 42 78[61 85 25 1,410 678 365 856 601 221 3,989 10 205 14	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9 6.8 16.7 3.5 — 5.0 19.0	38. 36. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31	416.66 913.3 517.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661 2,844 1,833 1,090 1,102 10,515 17 2,019 40	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 35 31 370 1,378 112 875 567 536 5,370 13	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 4,03991.8 4,03991.8 39670.6 2,70895.8 1,657 100 15,18595.0 3081.0	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,153 2,661 317 2,289 1,090 1,102 10,697 19 7,878	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 31 370 1,378 128 1,094 55,765 5,405 13	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,203 1,523 4,039 445 3,383 1,657 1,638 16,102 32 4,467 68	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8 82.1 97.8 87.0 100 70.0 91.8 100 70.0 93.0 86.4	38.4 98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 99.1 100 89.6 80.1 100 98.3 89.5	【
83 	3,654 625 24 6,676 524 	3,654 625 24 10,930 607 42 78[61 85 25 1,410 678 365 856 601 221 3,989 10 205 14	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9 6.8 16.7 3.5 5.0 19.0	38. 36. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31	416.66 913.3 517.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661 2,844 1,833 1,090 1,102 10,515 17 2,019 40	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 35 31 370 1,378 112 875 567 536 5,370 13	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 1,51369.8 4,03991.8 39670.6 2,70895.8 1,657 100 1,638 100 15,88595.0 3081.0 3,26398.7 63 100 4,54495.8	5,588 118 36,601 542 145 677 20,981 848 127 96 1,153 2,661 317 2,289 1,090 1,102 10,697 19 7,878 44 2,960 1,66	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35,370 1,378 128 1,094 567 536 5,405 13 1,589 24 1,670 84	7,487 159 51,775 803 209 100 30,450 1,209 162 127 1,523 4,039 445 3,383 1,657 1,638 16,102 32 4,467 68 4,467 68	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8 87.8 87.6 100 791.8 72.7 96.9 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	38.4 98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 100 100 89.6 80.1 100 98.3 89.5 70.2 99.9 97.4	
83 690 2 19 490 198 67 17 548 4 25 127	3,654 625 24 6,676 524 36 91 59 63 25 920 480 298 789 601 221 3,441 6	3,654 625 24 10,930 607 42 78[61 85 25 1,410 678 365 856 601 221 3,989 10 205 14 651	10.1 13.4 8.2 2.7 0.2 13.0 29.9 6.8 16.7 3.5 — 5.0 19.0 1.2 — 4.2	38. 36. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31. 31	416.63 517.3 	2,146 116 32,769 529 145 67 20,981 848 127 96 1,143 2,661 1,833 1,090 1,102 10,515 17 2,019 40 2,884	1,003 41 14,120 238 84 33 9,435 357 35 31 370 1,378 [1]2 875 536 5,370 [3]	3,149 100 157 100 46.83977.9 76785.5 229 100 10091.8 30,41682.9 1,20597.8 16287.0 1,51369.8 4,03991.8 39670.6 2,70895.8 1,657 100 1,638 100 15,88595.0 3081.0 3,26398.7 63 100 4,54495.8	5,588 118 36,601 542 145 67 20,981 848 127 96 1,163 2,661 317 2,289 1,090 1,102 10,697 19 2,960 166 2,637	1,899 41 15,174 261 84 33 9,469 357 35 31 370 1,378 128 1,094 567 5,405 13 1,589 24 1,670 84 1,316	7,487 159 51,775 803 229 100 30,450 1,203 4,039 445 3,383 1,657 1,638 16,102 32 4,467 68 4,630 2,503 3,953	99.8 100 72.4 85.8 100 91.8 82.1 97.8 87.0 100 70.0 100 93.0 86.4 95.7 97.8 96.8	38.4 98.3 89.5 97.6 100 100 100 100 89.1 100 89.6 100 89.6 70.2 99.9 97.4	

養率8.4%, ♀親魚使用率4.1%が最低で、次いで晋江採卵場の蓄養率39.5%, ♀親魚使用率37.5%で、高で、斃死原因は主に親魚を蓄養池まで運搬する間の傷害によるもので、今後運搬の方法の改善が必要

た一例であつて、これは斎藤兵大郎氏の尽力に負うことが多い。

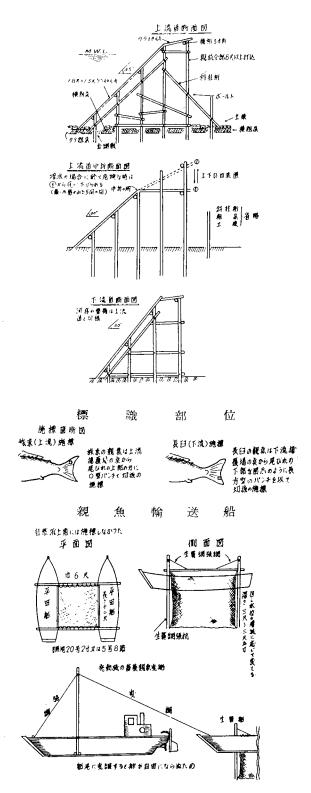
- 設 置 本蓄養池は、昭和26年同川下流において試験蓄養を行い昭和27年現在地に設置したものであつて 以来連年の増水による被害防止に種々の改善を図りつつ現在に至つたものである。
- 場 所 十勝郡大津村学鑑奴(十勝川と打内川分流点より下流 360間の打内川)
- 構 造 打内川の一部を二重留とし、その間を蓄養池(7,500坪)として、上流捕獲場から生資船によつて 運搬(下図)した親魚を蓄養催熟せしめる。なお一部蓄産池下流よりの親魚も沂入するよう下留 に装置してある。

※河 市 平均20間,水深6~7尺(最深部12~15尺) 底質砂泥質更に下層は粘土質

結 **果** 蓄養数[3,138尾,採卵数28,273,500粒で,運搬害死卵数も少く,孵化室収容後の成績も良好であった。

打內川蓄養池略図打內川葡養池略図

打内川蓄養池構造図



~ この表の説明 ~ 楼鱒の蓄養或績をみると、蓄養率は鮭に比べてよく、催熟率も良好であつた。 に蓄養率は上或績であつたが、斃死率が高く鱒の蓄養技術の問題を残している。

育		- Dec		ρχ,		9 4	- 1X							
取	易尾	数	取	揚率	催泉	親魚	复数	♀親 魚催	便用	月親魚	8数	♀親	♀催 成熟	備考
Q	ô	計	Ş	8 181	P	ð	計	熟率	Ş	8	Ff	開室	比	Vm 15
尾 — — — 106 —	尾 — 107 50 —	月 107 156 一		# # 19.5 [3.0 55.8 47.7 	尾 14 171 527 113 58	5 58 174 23 20	229 701 136	100 97.7 96.2 45.0 100	元 14 171 527 113 58	后 5 58 174 23 20	229 701 136	100 97.7 96.2 45.0 100	100 100	{ ♀13尾誤認 蓄 養
37 70 —	9 1 - -	-	_	34.648.9 1.318.5 	19	16 11 58 5	30 ! 167 :	41.2 22.6 35.6 100	28 19 109 27 —	16 11 58 5	30 167	38.4 20.4 21.8 100	001 001	
37 250	34 201			55.739.7 8 1.519 .7	81 1.147	27 397	1086 1,544 6	68.6 69.4	81 1,147	27 397	108 1,544	68.7 61.6	100 100	{斜里♀[3尾誤 認蓄養
10 -3 -	- 4 - 7 23 17	10 23 17	2.72 2	3.4 2.3 23.3 7.1 23.2 5.2 4.717.9	57 339 5 94 310 57	20 102 1 29 73	441 6 62 123 8 383 9 78	20.0 35.5 90.9	57 339 5 94 310	20 102 1 29 73 21	441 6 123 383 78	100 52.4 20.0 74.6 81.6		む10尾再使用む4尾再使用さ14尾再使用
47 60	60 4 115	4		35.776.4 100 100 3 0.411.3	390 890	10 256		27.1 100 76.3	19 9 390	10 — 256		27.1 100 64.9	100 100 100	{ 8 5 尾信砂よ 9 使用 8 28尾再使用
- -	-		_ _ _		5 19 1	1 10 2	29	100 100 100	5 24 2	2 10 2		100	100 79.2 50.0	♀ 6 尾再使用
					25	13	33	100	31	- 14	45	100	80.6	♀再使用6尾
34 — — 34	13	_	_	3.346.1 8.7 6.3	320 119 38 32 509	76 32 17 15 140		100 52.8 97.0	559 146 55 124 334	188 56 25 33 302	202 80 a	100 50.4 95.1	57.2 81.5 69.1 25.8 57.6	8 3 尾再使用 8 3 尾再使用
8 3	-		 19.5 14.5	 [5.1 10.5	33 33	12 12	458 456	 80.5 8 0.0	33 33 —	12 12			100 100	
12 — — 26	44 80 — 3	80	— 3 —	2.413.2 5.035.8	299 361 — 12	121 167 — 5	420 9 528 — 17 1		311 361 2 12	131 167 1 5	528 3	95.7 100 100 19.7	96.1 100 — 100	蓄養せず 取揚魚は逃逸
·	-	_	-		501	133	6348	37.6	501	133	6348	37.6	100	
12 12 —	6 4 1 —	4 13 :	4 52.22 	5.069.2 0.011.1 5.048.1	6 26 9 6	2 6 2 1	32 113 76	33.3 100 39.1 50.0	6 26 9 6	2 6 2 1	32 11: 7:	100 1.98 0.0	100 100 100 100	♀12â6 逃逸 ♀12â1 逃逸
12 6	11			8.835.9 3.825.1	13 238	1 60	142 2988	27.1	13 238	7 60			100	*
- 14	- 4		_	7.160.0	1	1		5.9	1	1		83.8 58.8 —	100	
94	156			2.210.2		499	1,9718	34.0	1.436	516	2,002	34.0	99.1	
446	435	931	8.62	5.613.1	4.076	1,317	5,3937	3.4	4.471	1,497	5,963	74.3	91.2	斜里♀13尾 誤認蓄養

養

成

績

表

蓄養率並に♀親魚使用率共に不良の個所は、元西採卵場の蓄養率61.1%、使用率21.8%を除いては、共

						3		樺	太		鱒	老	魚 魚
-6.00	- :→ - \\ -	15 DP 10	捕	嬳 尾	数	蓄	養 尾	数	♀蓄	斃	死 尾	数	斃 死 率
支場	事業場	採卵場	ę	8	īf	Ŷ	8	計	養率	φ	ô	計	♀ る 計
北見	岩尾別 斜 果 "	ル岩海斜止 ヤ別別里別	151 1,904 19 483 234	80 1,193 17 324 111	231 3,097 36 807 345	148 1,904 19 474 234	69 790 11 320 72	2.694 30	98.0 001 001 100 1.89 001	尾 3 19 一 33	屋 	尾 4 30 一 42	鬼 鬼 鬼 0.2 0.1 0.1 100 100 100 - 14.1 12.5 13.7
	藻網北湧 琴走見別 "	藻網端佐中 琴走野間別	140 94 69 57 426	97 94 31 50 690	237 188 100 107 1,116	134 49 69 52 140	87 8 31 18 54	57 100 70	95.7 52.1 100 91.2 32.9			 3 	6.1 - 5.3
	猪 類 パ // パ // パ // パ // パ // パ // パ // パ	元興雄幌 西部武内	337 200 229 395	393 222 271 413	730 422 500 809	225 1 <i>5</i> 2 206 396	69 54 185 290	206 392 685		61 25 —	4 25 —	_	27.1 5.822.1 12.1 13.412.8
北	見支	場計	4,739	3,936	3,725	4,202	2,059	6,261	33.7	144	50	194	3.4 2.4 3.1
天塩	徳志別 " 歌 登	風烈布 別志別	103 852 137	38 1,405 145	141 2,257 282	103 852 134	24 158 61	127 1,010 195		160 —	40 —	200	18.825.319.8
	屯 別 天 塩	屯 穂 別 内 暑 別	386 14 	285 10 1	671 24 I	256 13 —	66 9 —		66.3 92.9 —	[] 2 —		11 2 —	$\begin{array}{rrrr} 4.3 & - & 3.4 \\ 15.4 & - & 9.1 \\ - & - & - \end{array}$
天	塩 支	場 計	1,492	1,834	3,376	1,353	313	1,676	91.0	173	40	213	12.7 12.6 12.7
渡鳥	遊楽部	遊楽部	34	47	18	25	15	40	73.6	3	_	3	12.0 — 7.5
渡	島支	場計	34	47	31	25	15	40	73.6	3			12.0 — 7.5 ————
十勝	十阿太 勝寒田	西 3 号 阿 寒 別寒辺牛	10 4 47	18 3 37	28 7 84	10 4 47	18 3 19	28 7 65	001 001 001	10 2 3	18 ! !	28 3 4	100 100 100 50.033.342.9 6.4 5.3 6.1
+	勝 支	場計	61	53	119	61	40	101	100	15	20	35	24.650.034.7
根室	厚浜虹 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長 計長	別風 14 香 類 類 類 類 別 別	11 10 1,415 23 3	25 11 1,478 76 3	36 21 2,893 99 6	11 10 1,415 23 3	25 11 1,078 76 3	36 21 2,493 99 6	001 001 001 001 001	437 —	1 595 —	1,032 —	- 4.0 2.8 30.955.241.4
	// 中標津 // 伊茶仁	当武チ標忠 ナ ナ	3 99 29 45 143	2 120 114 105 221	5 219 143 150 364	3 99 29 44 143	2 61 30 60 221	5 160 59 104 364	100 100 100 97.8 100	22 3 1 24	18 - 7 56	3 8	22.229.525.0 10.3 5.1 2.311.7 7.7 51.725.335.7
	薫別羅田	植 別 春刈古丹 羅 臼 サシェイ	99 43 17 46	85 15 12 65	184 58 29 111	93 43 17 46	71 15 12 24	58 29 70	93.9 100 100 100	55 6 2 	34 	5 2 —	59.147.954.3 14.0 — 10.3 11.8 — 6.9
根	室 支	場計	1,936	2,332	4,313	1,979	1,639	3,663	99.6	600	711	1,311	30.342.035.7
総		計		3,3071		2 205			04 (1	932	200	4 750	12.319.914.9

[~] この表の說明 ~

樺太鱒の蓄養についても前掲の楼鱒と同様なことが考察される。

表	
	表

取	揚尾	数	取	揚	率	催熟	親魚	、数 ♀親 	使月	用親魚絲	8数	♀親	♀催 成熟	備考
9	8	āf	Ŷ	8	計	Ş	8	計繁率	φ	8	âf	用率	比	1/用 ~5
展 一 —	249 —	尾 一 249 一	_		_	月 148 1,901	尾 69 540	鬼	原 151 1,901	尾 70 540	足 221 2.441	99.8	98.0 100	
20 55	171 26	191 81		53.4 36.1	24.1 26.5	454 146	149 37	603.95.8 183.62.4	454 146	149 37		— 94.0 52.4	100 100	
4 17 10 14	36 5 	10	_		22.0 14.3	130 46 52 42 126	51 8 26 18 54	18197.0 5493.9 7875.4 6080.8 18090.0	130 46 52 42 126	51 8 26 18 54	54 · 78 · 60 ·	75.4 73.7	100 100 100 100 100	
32 -41 136	13 96 187	— 137 323	 19.9 34.3	64.5	34.9 47.8	132 152 140 260	52 54 65 103	18458.7 206 100 20568.0 36365.7	132 152 140 260	52 54 65 103	206′ 2056 3 6 36	76.0 61.1 65.7	100 100 100 100	
329	100	1,112		33.0	17.3	3,729		4,95533.7	3,732 	1,227		73.3	99.9	
	_ _ 34	_ _ [15	60.4	_ 55.7	- 59.0	103 692 53	24 118 27	127 100 81081.2 8039.6	103 692 53	24 120 27	127 8128 803	1.2	100 100 100	
_ 2 _		_ 4 _	15.4	22.2	18.2	245 9 —	65 7 —	3[195.7 1669.2	245 9 —	66 7 —	3116 166	3.5		
33	36	119	6.1	11.3	7.1	1,102	242	1,34431.1	1,102	244	1,3467	3.9	100	
6	4	10	24.0	26.7	25.0	16	11	2764.0	16	11	274	7.1	100	
6	4	10	24.0	26.7	25.0	16	11	2764.0	16	11	274	7.1	100	
_ 27	<u> </u>	 39	57.4	63.2	_ 59.1	_ 2 17	 2 6	450.0 2336.2		 2 6		- 50.0 36.2		
27	12	39	44.3	30.0	33.6	19	3	2731.1	19	3	273	1.1	100	
2 525 -	19 7 279 64 3		20.0 37.1	76.0 63.6 25.9 84.2 100	42.9 32.3	11 8 453 23	5 4 204 12	16 100 1280.0 657 42.0 35 100	11 8 453 23	5 4 204 12	128 6573	100 80.0 82.0 100	100 100 100 100	♀525 8279逃逸 全魚逃逸
- 9 4 6	1 20 24 38 143	1 20 33 42 149	31.0 9.1	50.0 32.8 80.0 63.3 64.7	12.5 55.9 40.4	3 77 17 39 63	1 23 6 15 22	4 100 100 77.8 23 58.6 54 88.6 85 44.1	3 77 17 39 63	1 23 6 15 22	100 7 23 4 54 8	100 77.8 14.7 15.7 14.1	100 100 100 100 100	♀8 8 10逃逸
10 20 11 8	24 6 7 1	26 18	46.5 64.7	33.8 40.0 58.3 4.2	44.8 62.1	28 17 4 38	13 9 5 23	41 30.1 26 39.5 9 23.5 61 82.6	28 17 4 38	13 9 5 23	263 92	8.3 9.5 3.5 2.6	100 100 100 100	98 81 逃逸

1,043 1,043 2,514 13.7 35.7 21.4 5.647 1,829 7,47674.1 5,650 1,832 7,43263.0 99.9

8. 鮭鱒種卵の移殖

(1) 鮭卵の移殖概況

北海道沿岸における鮭鱒漁獲の普遍的な向上を図ることと、既設の孵化設備の効果的な使用を目的として、例年豊漁河川より不漁河川に鮭鱒卵子の移殖を行つているが、前述の通り本年度における鮭鱒の収容卵数は孵化事業創設以来の最高成績を示した関係で、移植成績も亦最高を示すに至つた。各支場区域内の移殖卵総数は57,434,050粒、同区域外移殖卵総数は28,447,100粒に遂しており、その間の運搬害死卵数は、発限卵のものでは0~2.26%の好成績であつた。受精直後のものは前年度に比べて悪く2.6~18.6%を示した。

支場管外,管内移殖時の運搬害死卵数の最も多い支場は前年度と同様に根室支場管内であつたが,同場の移殖は孵化設備の不足によつて,採卵直後卵を主としたことに原因がある。

※ 附 表

鮭 卵 移 殖 成 績 表

北見支場管内

-					at the second	vot ion of TV MHWI.	ur de no Wa	nany taka silat	177	717
移殖月日	供給	場	移殖場	易丹	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	那品地	摘	要
12. 2 12. 17 12. 14 12. 24	網幌北網	走闪見走里	藻浴 //	琴滑琴	1,060,000 425,000 1,725,000 1,000,000	0	1,000,000 302,000 1,725,000 1,000,000	28.9 0 0	受精直後 "発眼"	
1. 19 1. 21 1. 31	網 //	甩 走	北斜	別見里	1,200,000 400,000 975,000	0	1,200,000 400,000 975,000	0	// //	
受 発 北馬	精 眼 支場管	卵 卵 内 科	計	•	1,485,000 5,300,000 6,735,000		1.302,000 5,300,000 6,602,000	_		

根室支場管內移殖

移殖月日	供給場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	要
9. 23 9. 26 10. 1 10. 7 10. 13	14 線 " " "	根 室	5,300 5,500 2,550 67,850 5,050	500 50 350	5,000 5,000 2,500 67,500 5,000	5.7 9.1 2.0 5.2	受精直後 // // // //	
11. 1 11. 7 11. 12 11. 17 11. 17	// // // // // // // // // // // // //	浜 / 中 計 根 //	1,666,000 1,400,000 1,050,000 1,943,000 961,300	350,000 175,000 220,500	1,450,000 1,050,000 875,000 1,722,500 795,000	25.0 16.7 11.3	// // // //	
11. 19 11. 19 11. 19 11. 24	%無 無 無 無 無 無 無 無 無 異 別 異 異 異 異 異 異 異 異 異	伊茶仁	270,700 493,700 1,893,600 1,410,600 19,800		245,000 450,000 1,800,000 1,325,000 19,000	8.7 4.9 6.1	11 11 11 11	

移殖月日	供給場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	要
11. 25 11. 25 11. 29 12. 3 12. 4	類 別相 別 別 14 線 " "	伊 浜厚中 標	3,139,200 843,000 937,000 1,376,800 2,246,750	259,200 108,000 117,000 156,800 204,250	2,880,000 735,000 820,000 1,220,000 2,042,500	8.3 12.8 12.5 11.4	受精直後 " " " "	
12. 4 12. 4 12. 4 12. 5 12. 7	類 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 果 異 線 別	" " " "	916,900 712,800 24,750 1,741,500 979,200	51,900 52,800 2,250 129,000 79,200	865,000 660,000 22,500 1,612,500 900,000	7.4 9.1 7.4	" " " " "	
12. 7 12. 8 12. 12 12. 11 12. 14	類 別線 収計 根計	根 忠 類 丹	641,300 41,100 82,100 500,000 600,000	36,300 6,100 17,100 0	605,000 35,000 65,000 500,000 600,000	4.9 20.9 0	" " 彩 彩 卵 別	
12. 18	根 室	忠 類	500,000	0	500,000	0	"	
受 発 根室	精 卵眼 卵支場管内科	計	24,377,350 1,600,000 26,477,350	2,593,350 0 2,593,350	22,279,000 1,600,000 23,379,000	0		

十 勝 支 場 管 内

移殖月日	供給場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	要
10. 29 10. 30 11. 1 11. 2	仮 監 """""""""""""""""""""""""""""""""""	釧 路 " " "	729,300 772,600 771,300 359,900 823,000	59,300 40,100 31,300 27,400 38,000	670,000 732,500 740,000 332,500 785,000	8.1 5.2 4.1 7.6	受精直後 " " "	
11. 12 11. 19 11. 22 11. 23 11. 23	" " 千代田 "	""" 尾樹	800,200 638,300 847,100 1,000,000 800,000	35,200 30,800 37,100 22,000 17,000	765,000 607,500 810,000 978,000 783,000	4.8 4.4 2.2	" " " " "	
11. 26 11. 27 11. 25 1. 30	仮 <u>監</u> 幕 別 路	釧 路 // 十勝支場 音 別	922,900 375,600 1,500,000 770,000	50,400 15,600 0	872,500 360,000 1,500,000 770,000			別〜930,000 5号〜570,000 線より受給卵
受 発 十勝	精 卵眼 卵支 場管内 和	計	3,340,200 2,270,000 11,110,200	404, 2 00 0 404,200	3,436,000 2,270,000 10,706,000	4.6 0 3.7		

天 塩 支 場 管 内

移殖月日	供約	場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	要
11. 1 11. 5 11. 8 11. 8	天美天美 //	塩深塩深	增名增名 //	1,050,000 307,500 540,000 440,000 355,000	*xx' *xx'	1,050,000 307,500 540,000 440,000 355,000		受精直後 " " "	
11. 19 11. 22 11. 24 11. 25 11. 27	· 製 / 美幌美	別際別课	徳 名徳名	230,000		230,000 207,500 655,000 137,500 475,000	_ _ _	11 11 11 11	
11. 28	幌歌	別登	徳 志 別 天 塩	200,000		200,000 125,000	-	<i>"</i> 発 眼 卵	

移殖月日 供 給 場 移殖場所	移殖 卵数 運搬	害死卵数 収容	卵 数 運害率	摘	要
受精 卵 計 発 眼 卵 計 天塩支場管内 移 殖 計	4,597,500 125,000 4,722,500	- 1	97,500 25,000 22,500		·
千 才 支 場 管 内 移 殖					

移殖月日	供給	場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	耍
12. 5 12. 5 12. 17 12. 17	石干 勇	扌	千石 勇竭	40,000 898,300 200,000 496,100	- -	40,000 898,300 200,000 495,100		発 眼 卵	
2. 8 11. 26 千才	静 幌 支場管		新 冠 元 浦 河 多殖 計	1,000,000 562,700 3,197,10 0	12,700	997,600 550,000 3,132,000	2.25	// //	

渡 鳥 支 場 管 内移 殖

移殖月日	供給場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	蓮書率	摘	要
11. 21 11. 24 11. 27 12. 9	厚 遊厚 遊野	// //	1,173,200 892,500 870,000 324,900 459,000	37,500 30,000 32,400	1,140,000 855,000 840,000 292,500 469,000	4.3 3.4 11.0	受精 直後 "" " 発 眼 卵	
11. 30 1. 26	摩 // m // // // // // // // // // // // // //	長万部	465,000 947,300	0	465,000 947,300	0)E 100 911 //	
受 発 _後 自		卵 計 卵 計 移願計	3,260,600 1,891,300 5,141,900	0	1,331,300	0		

区			運搬害死卵数			摘	婆
受精発	-	14,373,400	•	14,358,300	0.1		

根室支場管外

								
移殖月日	供給場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	要
11. 28 11. 30 11. 30 11. 30	類 古崎植 // // // // // // // // // // // // //	"	2,506,400 849,100 13,000 1,171,900 932,700	96,400 36,600 500 49,400		4.3 3.8 4.2	受精直後 " " " "	
11. 30 12. 7 12. 10 12. 10 12. 11	元崎無異 14 編 武 武 14 新	藻 琴	20,900 1,315,000 3,010,000 1,710,000 2,299,200	245,000 225,000 120,000	1,070,000 2,785,000 1,590,000	18.6 7.5 7.0	// // // //	

移殖月日 供 給 場	移殖場所	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	要
12. 16 14 線 12. 22 // 緊定支場管外 移 !	北 見 釧 路 直計	2,220,000 2'488,900 13,537,100		_,,-	17.1	受精直後	

十勝 芰 場 管外移殖

移殖月日	供給場	移殖場	所	移殖卵数	運搬害死卵数	收容别数	運害率	摘	要
12. 15 12. 15 12. 22 12. 26 12. 26	釧 路一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件一件<	虻伊八浜磐	田茎雲盆浦	1,000,000 (1,000,000 1,500,000 500,000 1,000,000		\$1,000,000 1,000,000 1,500,000 500,000 1,000,000	0 0	発限明 " " "	仮監より受給卵 // 打内より受給卵 仮監より受給卵 //
1. 6 1. 15 2. 11 2. 11	// // 支場管外 科	元 浦 泊	太骨石可	1,000,000 1,000,000 1,910,000 1,000,000 9,910,000	0 0 0 0	000,000,1 000,000,1 000,000,000,1 000,000,	000	// // //	// // 14線より受給卵 //

	区分	移殖卵数	運 搬害死 卵数	収容卵数	運害率	摘	要
	受 精 卵	18,537,100	1,979,600	16,557,500	10.7		
管外移殖卵合計	発 眼 卵	9,910,000	0	9,910,000	0		
	合 計	23,447,100	1,979,600	26,467,500	7.0		

ĺΣ					分	移殖卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘	
移	殖	gg.	, 	合	計	85,881,150	5,313,450	80,567,800	6.2	<u> </u>	
	管	内	移	殖	計	57,434,050	3,333,750	54,100,300	5.8		
	管	外	移	殖	ī†	23,447,100	1,979,600	25,457,500	7.0		

(2) 鱒卵移殖の概況

鱒の採卵成績は鮭に比べて非常に悪い成績を示したので、移殖成績も不良のうちに終了した。

※ 附 表

鱒 卵 移 殖 成 績 表

根室支場管内移殖 (桜鱒)

移殖月日 供 給 場	移殖場所	移殖卵数	重搬害死卵数	収容卵数	運害率	備	考
10.20 虹 別	羅臼	213,000	1 50	213,000	70	発 银卵	

(3) 調査試験及広報用分讓卵

試験用として、鮭鱒卵を北大水産学部え、その他広報用として札幌三越、福岡玉屋デパート、 江の島水族館等から分譲依頼がありそれぞれ分譲した。

魚種	分讓月日	供給地	分讓先	分讓卵数	摘要	魚運	分譲月日	供給地	分譲先	分讓卵数	摘要
桜鱒卵	11.13	尻 別	北大水産学部	3,000	発展卵	鮭卵	11.15	干歳	札幌三越	%2 2,000	発視卵
鮭奶	11.29	遊楽部	"	5,000	受精直後	"	12.23	 "	福岡玉屋	2,000	"
"	12.13	"	"	2,500	"	"	2.4	"	江の鳥 水族館	1,000	"
"	"	"	"	2,500	未受精卵	"	(広報分	譲卵計)		(5,000)	
"	(試験卵計	分譲卵)		(13,000)		合	ät			18,000	

調查試験及広報用分讚卵一覧表

9. 陸封性鱒増殖事業(姬鱒)

(1) 親魚捕獲及び採卵

本年度の捕獲区域は支笏湖一円とし、主に事業場前、ニナル、シシヤムナイの3カ所を重点とした。主漁具は刺網を使用し、捕獲目標を11,000尾として10月10日より捕獲、採卵を行い11月11日をもつて終了した。その間における捕獲尾数は5,123尾、採卵数は797,000粒で目標に対する遂行率は捕獲数において56.53%でありこれを前年に比べると捕獲数3,263尾の減、採卵数においては59,500粒の増加である。

本年度の捕獲魚の平均全長は26cm, 孕卵数204粒であり, これを前年に比べると全長30mm, 孕卵数26粒のそれぞれ増であり, これらの要因は前年度北海道立水産孵化場でこの湖水に化学肥料の投入を行つたため, 植物性プランクトンの繁殖増加によるものと思考される。

以上を表示すると下表の通りである。

													•					
•				AM		穫	尾数	(使	用	親	魚数	1	. I			. 平 1	1	
	支	場	事	業場	\$	â	5	† 9		8	計	採卵数	艾贝汉	容卵数	使用	率採卵	摘	要
	Ť	才	支	笏 湖	3,97	ž 1,	150 5,	尼 123 3,9	房 923	65	7 4,580	797,00	新 00 79	7,000	98	.7 20	^粒 運搬 3 なし	害死卵
-	/ 年		区	分	捕	穫	尾	数		使	用親	魚数言	†	45. MU	***	仅容卵类	- - /宙 円 玄	平均
		变 別			ę		8	計		ę	ô	<u> </u>	Ħ	1× 911	300	12.127.917.35		採卵数
	本	年	度	計	3,9	尾 73	1,150	5,12	is 3	3,92	尾 3	658 4	, 580	797,	000	797,00	93.7	
	前	年	度	計	4,2	51	4,135	8,98	16	4,11	8	865 4	,983	737,	001	737,10	95.9	179
	対	比	増	澍	⊖2'	78 E	92,985	Θ 3,26	3	⊝19	5 €	208 6	∋403	① 59,	900(£ 59,90	3.1⊕ C	3 ⊕24

姫觸親魚捕獲採卵成績表

(2) 孵化及び放流

本年度の収容卵数は797,000粒で計画目標の53.1%で前年度に対比すると 59,900 粒の増加であった。収容中における死卵は殆んど不受精卵で、これらの要因は蓄養に因をなしているように考えられる。10月下旬頃より孵化用水に浮泥の流入が著しく、卵子の淘汰後 4~5 日位いで卵子を覆う状態であつた。これらの悪条件にもかかわらず孵出率80.8%で2月20日をもつて孵出を完了した。

放流は本年度始めての試みとして稚魚638,300尾の中255,000尾を川口より比較的離れた元山, モーラツプ方面え2回に亘り船で輸送の上放流を実施したところ稚魚の降河は例年より不足となり間内に残存する率が非常に良好であつたので今後も引続き研究の上実施を予定している。

姫 鱒 孵 化 放 流 成 績 表

10. 広 報 活 動

本年度も前年と同様,主として予算上の制約から,特記するような広報活動を実施し得なかつたことは遺憾であつた。ただ年度当初から北洋漁業再開記念北海道大博覧会に出品すべく全力を注いだことで,海の資源と増殖という標題のもとに大きく一般に孵化事業の効果をアツビールさせた。会期が7月10日から2カ月にも亘つたことでもあり大きな効果があつたことと思われる。その他例年のように札幌三越で水産製品展示即売会が開催され前年東京で実施した要領で人工孵化の実演と鮭活魚を水槽に入れて公開した。ラヂオ放送では下表の通り実施したが月刊誌,魚と卵においては予算の都合等で4月から9月まで休刊の止むなきに至つた。

ラヂオ放送番組内容

年	月	H	放	送	内	容
29.	5.	1	稚魚の保護について		(N•H•K	武田技官)
29.	5.	12	ひめますの養殖について		(H•B•C	場 長)
29.	7.		孵化場をだづねて		(N•H•K	場長、武田、菊地技官)
29.	11.	7	孵化事業の効果について		(N•H•K	石川技官)
30.	2.	23	北洋で再捕された標識魚につ	ついて	(N•H•K	佐野技官)

11. 調 香 及 び 試 験

鮭鱘資源の維持培養のための有効適切な施策の実施には、鮭鱘の生態、資源の循環、資源量の 実態及びその変勤等を明らかにする必要がある。このため統計的手段による資源の量的な調査並 にその裏付けとなり、判断の重要な資源となつて資源の分析に必須の要件となり、又具体的な増 殖施策の基礎資料となる鮭鱈族特有な生態の調査その他関係の環境要因等の調査についても綜合 的に進められる必要がある。こうした点から前年度より特に各調査試験相互の連繫を図つて綜合 的に進めることになつたが、関係調査事項が広範に亘るため各方面の共同調査によつて、始めて 完成されるような性格を有するので本年度当初、水産庁調査研究部が中心となつて、綜合計画が 樹てられ、当場においては沿岸及び河川における調査を担当することとなり、又内部的には現場 でなし得る簡易な調査は事業と併行して行うように体制をとりつつ次の調査項目によつて実施す ることになつた。

鮭鱒資源の維持増殖に関する調査試験(綜合計画)

- Ⅰ. 資源量に関する調査試験
- ① 天然蕃殖に関する調査
- ② 人工孵化による稚魚生産量調査
- (3) 稚魚の降海量調査
- ④ 海篠統計調査
- ■. 生態に関する調査試験
- ① 稚魚の標識放流試験
- ② 親魚の標識放流試験
- ③ 稚魚の生態調査
 - a. 移動に関する調査
 - b. 生理, 生態実験
- c. 食 性 調 查
- ④ 親魚の生態調査
 - a. 産卵生態調查
 - b. 種族系統調查
 - c. 漁獲物組成調查

本年はこの計画による実施第1年に当り、人員、予算の関係で全般的に進めることができない 点もあつたが、その概要を示すと次の通りである。 (詳細は試験報告参照)

Ⅰ 資源量に関する調査試験

Ⅰ一① 天然蕃殖に関する研究

-- 68 **-**-

能鱘の蕃殖の状況を明らかにして、資源補充の実態を正確に知るためには、自然の状態におけ る雅魚の発生量と人工孵化増殖による稚魚生産量を明らかにしなければならない。

天然蕃殖の状況は極めて多くの要因の影響を受けて稍々広範囲に亘る調査を必要とし、各種条件の異なる河川を選定して進められて来た。

本年は特に十勝川支流のメム川、従来から行われて来た遊楽部川、知内川等を対照として調査 を准め、一方千才支場試験池において自然産卵を観察するための実験を行つた。

調査方法並に経過

十勝川支流メム川においては、天然蕃殖発生量に関する予備的調査を行いダム及び水門によつて仕切られた約1.9kmの河流を利用して、親魚220尾を放養して、産卵せしめその産卵経過、産卵床並に卵の発生状況を調査した。

知内川並に遊楽部川においては自然産卵を行うための各種要因に関する基礎的な調査を進め、 2~3の新現象を認め、又干才支場養魚池においては、産卵生態の観察を主として産卵時における各種障害等について一部調査が進められた。

これら本年度中に行われた調査概要は次の通りである。

調 沓 結 果

メム川における産卵実験は10月 $3\sim26$ 日までの間に、この川に自然に拆上した親魚\$<85尾\$<86 尾計171 尾、本流捕獲親魚\$<25\$<24計49尾に全部番号入り標識を施して実験区域に放養して行われた。

- (a) 放發親魚の大部分は最上流ダム迄亦上して更に適当な場所迄降下して,産卵する状況が 見られ,特に全区間の上流3分の1の区間に最も多数産卵するを認められた。
- (b) 産卵は10月の第1週目から第5週目迄の間に行われ第3及び第4週目にその大部分の産卵が行なわれた,放養後産卵迄の日数はメム川え自然派上したものが本流捕獲親魚に比し約1週間早く放卵する状況が見られた。
- (c) 試験区全域に認められた産卵床は61箇を数え卵径或は発生段階について見た結果では、 2尾以上によつて産卵せられた卵床は認め得なかつた。
- (d) 放養雌全数に対する放卵親魚の取揚数は約45.4%でその他の54.6%は斃死体として発見 出来す密漁その他による被害が考え得られる。
- (e) 1 卵床の埋蔵されている卵数の平均は 758 粒を数えその90%以上の卵が発生態勢にある 状況が見られたが一部卵床中には発生後稍々多くの斃死魚が認められた。
- (f) 卵床のある部分の地下温は何れも可成高くメム川では6.5~11.5°C 遊楽部川では 4~10.5°C 知内川では7.5°C前後を示した。
- (g) 知内川及び千才川試験池の一部では全卵不受精の卵床が認められた。自然産卵の場合に おいても雌のみの産卵が行われ得ることが知られた。
- (h) 産卵時における障害特に害魚の食害は虹鱒(メム川において15cm位のもの20尾)による実験結果では、顕著な被害が認められなかつた。

(i) 遊楽部川の一部では2月上旬の調査時に既に卵黄吸収の終つた浮游鮭稚魚の姿が認められその一部を採取し得た。これらの稚魚の大部の消化器内にはユスリカ属の幼生を稍々多数に見られ一部のよのにはカゲロウ属の幼生が認められた。

【一② 人工孵化による稚魚生産量調査

人工孵化によって生産される鮭稚魚の量を算定する方法を検討する目的でその一部として、親 魚を採上げてから卵が発眼する迄の間に減耗して行く状態を三つの段階に分けて観察し、又収容 卵の算定方法を検討してみた。

此調査は千才支場で僅かな期間に行つたのであるが、このような調査の性質上得られた結果の 卵の消耗の絶対量を問題にするというよりもむしろそれらの割合と傾向を知るための予備的な調 査として行つたものであつて、鮭の雌親魚一尾の本来の孕卵が採卵前及び採卵後にどのように減 耗して行くか、その状態を知るための第一歩として「卵の減耗」を調査した。

- 1. 卵の減耗 卵の減耗の実数を次の三つの段階に分けて数えた。
- (1) 受精に利用されないで残る卵(a粒)
- (2) 孵化槽に収容して直後に検出される死卵 (b粒)
- (3) 以後発眼期までに検出される死卵 (c粒)
 - この結果を表示すれば次の通りである。

試料番号	(♀) 使用親魚数	孵化盆数	a	Ь	c	生卵数	(T) 生卵数と a,b,cの計
1	39	48	2,680	841	1,210	141,504	146,235
2	55	67	3,111	1,560	608	167,366	172,645
3	94	115	5,791	2,401	1,818	308,870	318,880
Tに対する 割 合	_	-	1.8	0.8	0.6		

即ち,発眼期の淘汰時迄の死卵数を含めた卵の総数に対する b 及びcの比率は夫々 0.8%及 ひ0.6%位いで a の割合は1.8%であり最少に見積つても a は所謂運搬害死卵 と 言 われている b の 2 倍である。

2. 卵数の算定

卵を盆に盛る時は、現行の方法では一枚 2,500 粒見当に盛つて、これを収容卵数や採卵数の算定基礎にしている。この調査では、淘汰検卵後に盆に盛つた卵についてその中から無作為に盆を抽出し40枚の盆について、その卵数を生卵、死卵別に実数を数えて、その生卵の平均2,498粒を得た、これに供試卵の盆数を乗じた(前表の「生卵数」はこの様にして算定した)ものにそれ迄のCの死卵数(総実数)を加えた収容卵数と、従来の盆一枚当り 2,500 粒として計算した収容卵数を比較して見ると、後者は前者に較べて100万粒について 16,000 粒位いの割合で過少に算定されていた。

Ⅱ 生態に関する調査試験

Ⅱ_①稚魚標識放流試験

1) 鮭 鮭稚魚の標識放流試試験は北見支場で行い常呂川に放流した。その実施概要は 次の通りである。

実施期間 昭和29年4月7~21日 14日間

放流河川 常 呂 川

標識部位 脂鰭及右腹鰭(切除)

標識人員 延 297名

標識尾数 506,117尾

斃死数 6,100尾

放流数 500,017尾

2) 棒太鱏 樺太鱏稚魚の標識放流試験は、渡島支場八雲事業場で行い、遊楽部川に放流した、供試魚は昭和28年10月に北見支場管内の幌内及び端野の各捕獲場で捕獲採卵された卵を八雲事業場に移殖したものからの孵出稚魚である。その実施概要は次の通りである。

実施期間 昭和29年3月3~10日 8日間

放流河川 遊 楽 部 川

標識部位 脂鰭及び左鰓蓋(切除)

標識八員 延 155名

標識尾数 103,009尾

斃死数 3,920尾

放流尾数 99,089尾

なお、以上の両種の標識作業結果の標識部位の切除の完全さの検査も同時に行つた。

3. 標識魚の再捕

昭和26年に鮭鱒増殖協議会の申合せによる初めての稚魚標識放流が行われ同年春に道内では常呂川,千才川,知内川の三川で行なつたが,本州の二三の県でも同じ頃相次いで行つた。昭和26年及び27年に標識稚魚を放流した河川は夫々次の通りである。

昭 和 26 年

魚	湩	放	流	:	場所	標識	部	位	放	流	尾数
鮭		常		呂	Щ	脂 鰭	右	腹 鰭			27,600
"		7		才	Л	"	両	//			31,800
"		知		内	Щ	"	左 1	鰓蓋			37,000
"		相	坂	Щ	(青森)	"	左	腹鰭			10,662
"		月	光	Щ	(山形)	"	尾鱸	下葉			18,107
"		≡	面	Щ	(新潟)	<i>"</i> 脂鰭のみ	铝	川鯖			173 18,593

昭 和 27 年

魚		種	放	統	場	所	標	識	部	位	放	流	尾	数
	鮭		岩	尾	别	Л	胎	E	臀	譜			30,	000
	"		月	光	III (i	山形)	"		尾鳍					000
	"		Ξ	面	H (新潟)	<i>"</i> 胎鯖の	4	背	鳕			23,	365 936
	"		邦	珂)	III (灰城)	脂腫の						5,	306
榫	太	鱘	遊	楽	部	Щ	脂(懂	左鰓	蓋			42,	335
	"		湧	5	ijIJ	Щ	"		両 腹	但当			113,	195

これらの河川から放流した標識魚で26年放流のものは28年秋に一部が3年魚として再捕され、29年秋には121尾の再捕報告があったがこの内67尾は26年常呂川放流分ということが確認された。この再捕魚121尾の内訳を示すると次の通りである。

	·tdf va				 -	(2)	 -			(9)			
再捕炸	新所	河川名	岩尾別川	常呂川	千才川	计划	即约川村	1版川月	月光川 月	光川	画川	?	計
岩	尾別	Л	1		_			_		_	_		1
綵	里()	6岸)	! -	1	_	_	_	1	-	_	<i>,</i>	_	2
網	走	Щ	-		_		6	_		_		2	8
常	呂	Щ	-	42 ▲22	ı	_	_	▲ f			_	² ▲ ²	70
枝	幸 沿	岸	_		_		_		-			1	1
芙	塩	Л	! →	1	_	_		1	-	_	1 🛦	2	5
石料	守川(及)	可口)	-		<u>2</u> ▲ 1	1	1		_			3	8
羅	Ħ	Ĩij	-	_		_	-	_	·		-	1	1
植	JUR	ΙΙ	-	_		_	•	_		_		2	2
唉	無意	: Л	_	-	_	-	-	_				1	1
罴	別	Ж	-	-	_			_		_		4	4
西	St	Щ	-	1		_	_		-		1	4	6
39	当 質	Л	_		-	1	-	_		_			1
筝	裡	Jij	_	-		1					_	3	4
[P]	怒	71[_	_		-	_	-	1			1
茶	路	Ж	_	_		_		1	-	_		· 1	2
+	朥	Л	_	_		_	1		_		_	•	1
幌	别川饼	節()	_	_		1	_	_	-		_	•	1
新	冠	Щ	-	-				_	-	1			1
白	老	Щ	-		_		1					1	2
国	縫 沿	岸	_	_	-		1	_		_	_	1	2
知	内	Щ	_	_	_	_	1	-		_			1
北		洋	-	1	_		_	_	ı		_	ı	3
	計		ı	68	4	4	11	4	1	2	2	31	128

(▲は川口附近で捕れた尾数)

この表中放流河川名のあとに (?) を附したのは、その川から放流されたものではないかという意味であつて、これは2カ所以上の組合せになつている筈の標識部位が1カ所より確認出

来ないためにはきつりとした放流河川を断定出来ないからである。この種の再捕魚の数は意外に多く、資料の正確さから言つても放流河川を断定出来ないために著しく価値を減ずるものである。放流河川名の欄の(?)のないものは勿論(?)あるものも年令が放流年次と符合するものだけをこの欄に入れたもので標識部位はあつていても年令の符合しないものと標識部位が協定外のもの、及び標識魚とは思われないと判断したものは総て最後の?の印に計上した。

又県外からの報告で新潟県から合計25尾,山形県から2尾,あつたのが新潟県の分に,知内 川から放流したものではないか(何れも右鰓蓋だけが切断されているもの)と思われるものが 5尾あつた以外は総て放流河川名不明のものであつた。

以上は、本場で各地からの報告だけ或は魚体送付を受けた分だけであるが、此の他に発見も れが、特に沿岸定置の分には、かなりあるだろうということが推測される。

なお、再捕記録の詳細については、後日「鮭標識親魚の再捕記録に関する報告書」を発表する予定である。

【一② 親魚の標識放流試験

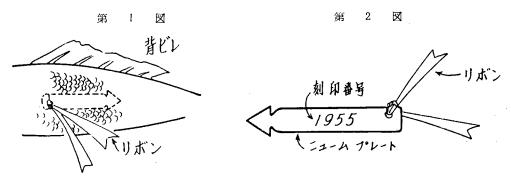
河川が上した親魚について、人工孵化に利用される割合、天然蕃殖する割合、各種障害による 滅耗等について検討せんとするもので、同一河川で河口及び上流に数個所の捕獲場のある河川の 中、十勝川、西別川、常呂川、天塩川を選定して、標識放流を実施した。この実施は関係各支場 員に担当せしめ各支場毎の結果を取纏めることとした。

結果の概要は次の通りである。

1) 試 験 方 法

- a) 標識方法は前年同様標識ペンチを使用して鰓蓋に○△□○○の5種類の孔を穿ける標識と脂鰭切断を組合せて行つた。千代田より上流への放流は図に示した様な(図1)アルミニユーム製のナンバープレートにビニールのリボンを附したものを図2の様に背鰭の下の体側にさし込んだ。
- b) 放流は十勝川,西別川,常呂川においては実施期間中毎日20~50尾を放流し,天塩川に 於いては9月21~23日の3日間に100尾,10月12日に100尾と2回放流した。
- c) 西別川14線並に千代田においては0.5%ウレタン液による麻酔をして施標した。

手代田に於いて使用した標識票



2) 結果

標識放流魚の再補成績を表示すれば次の通りであるが、一方天然に産卵する親魚の数量並に 各種障害による滅耗等については見るべき結果を得られなかつた。

放	流河	ÌΠ	放流場所	放流	時 期	放流尾数	再捕尾数	再捕率	上流に於け放 る再捕迄の於 所 要 日 数捕	流点に ける再 尾 数	前年度 再 捕 率
+	勝]	打内	10月3日	~ 9日	200	度 [4	7	4~27日	発 5	23.5
	"		千代田	10月8日	~ 19日	300	60	20	1~13"	27	
西	别	Щ	14 線	9月3日~1	0月16日	409	163	41	4~29 "	4	8.9
常	呂	Щ	常呂	10月10日	~ 20日	100	71	71	12~53 "	15	• • • •
天	塩	Щ	天 塩	9月21日	~ 23日	100	25	26	-		41
	"		"	10 月	12 日	100	11	11	-		

再捕率は前年に比較して著しく相違があり、又各河川間にも著しい相違を認めたがその原因としては河川の状況、密漁被害状況等が河川及び年度毎に異なるためと考えられるが、その他に放流実施の時期、標識方法等に原因することも考慮される。例えば上表に於いて天塩川の第1回目(9月21日~23日)放流と第2回目(10月12日)放流を比較すると、第1回目は未熟魚が多く、標識操作等により魚体が傷み易いにもかかわらず、より良い再捕率を示しておる等の点から見て魚体の熟否状態が近上に大きな関係のあることが判る。標識方法については同一河川で2種類の異なる標識方法を実施した十勝川に於いてはナンバープレートを使用した方が良い成績を示しておる。これは放流場所の異なるためもあるが試験実施の経過から見て再捕発見が容易であることの影響も無視できない。

パンチ式は操作は容易であるが再補の際発見が困難である。又孔の型が紛らわしいものがあるためのと放流日を知るための組合せが複雑となることの欠点があるので更に検討を要する。

千代田において使用したナンバー・プレート式の標識は操作も比較的容易であり、又再捕発 見にも好都合で、方法としては非常に良好である。只本年使用のプレートはアルミニューム製 で柔軟なことと、リボンが弱くて欠損する場合があつたので之等の点について改善の必要があ る。

標識を附す場合ウレタンの麻酔をすることは、特に魚体の傷付き易い早期の未熟親魚に使用 すれば標識作業による魚体への影響を減少するので良好な成績を得られる。

今後の問題として以上の各点の検討改善の他、天然産卵する親魚並に各種障害による滅耗に ついては更に究明する必要がある。

【一③ 稚魚の生態調査

石狩水系並びに沿岸における,鮭稚魚の生態に関しては26年以来継続的に実施して来た。本年 度においては次の項目について実施した。

a) 移動に関する調査

この調査は主として灌漑溝流入状況調査に重点を置き沿岸河川における調査は標本の蒐集程度に止めた。

灌溉溝流入状况調查:

千才川,沿川開発の進展に伴いその河水利用の強化は、さけ、ます人工孵化事業の将来に対 し深く憂慮される現状にある。その対策に関しては、種々考案され腐心されて来たが、さけ稚 毎の溝内流入状況については、未だ詳らかではない。

1954年5月その被害状況の検討とその対策の基本的資料を得るため舞鶴第1灌漑溝において調査を試みた。

第1灌漑溝は、千才川、漁川の合流点より600間ばかり上流にあり、揚水は250馬力による吸込渦巻ポンプ (1,836m²/分) により行われ水田約600町歩に給水される。揚水は約2,400間の幹線に導水され、この途中次々と支線に配水されて水田に供給される。

揚水時期は、5月3~5日より8月下旬頃までで5月23~25日頃まではその揚水能力の2.5/10~3/10の揚水が行われ、なお、揚水中過剰揚水のために3ヵ所の排水溝を設けその一部を排水 し換水している5月23~25日以降はフールに揚水され、全部水田に吸水される現状である。

4回の調査(5月13~16日,6月2~4日,6月22~24日,7月14日)の結果より流入稚魚は急速 に移動することなく比較的流水中の緩慢な幹線の下流部分に主に乗り、長期間その部分に滞在 することが標識放流の結果明らかにされた。

1日の稚魚の流入状況は(6月2~4日調査)は昼間は極く少く夕方より夜間にかけて多数流入する。

6月下旬より7月に入ると、気温の上昇と共に水温も上昇し、主としてその生理的面えの障害によるものか、稚魚の斃死体は溝内或は水田中に散見されるようになり、停滞部の稚魚数も減少する。

流入量の算定に関しては、非常に困難な調査であり、唯その放流数と時期により大きく変動するものと考えるが、被害に関しては、放流数、揚水状況、稚魚の降河時期、取入口の状態、その他を充分考慮に入れて検討すべきことである。

b) 成長鱗相に関する研究

蒐集標本についての分析結果は後日詳細に報告する予定であるが稚魚の鱗の発生は既報の如く 3.5cm内外に達すると体表に認められ年令にはあまり関係がないようである。発現初期は楕円形であるが成長するに従い、親魚と同様な円鱗となる。その成長過程において、同心円的に成長するのでなく、機軸の成長度より、縦軸の成長が大でその鱗巾/鱗長×100の値を求め、体長(胴長)との関係は曲線的関係がある(胴長2.5~7.0cmにおいて)

なお又、親魚の鱗の中心部の型は未だ検討の余地が多いが稚魚の鱗相或は飼育実験よりして 主として環境要因に深く関係があるものと推察される。

c) 標識部位に関する研究

干才支場において28年度産稚魚 600 尾を右鰓蓋と腹鰭300尾,背鰭と脂鰭300尾の組合せ切断 法で標識しそれの比較として,実験魚 600 尾を湧水池で飼育したが,そのゆがめられた環境下 の飼育のためか,或は飼育管理の不備なためか,所期の目的には充分達し得られぬ憾みがある。 しかし今迄の経過より、その再生問題は主として、切断程度によるもので脂鰭、腹鰭の完全な 切断には再生現象は起らないことが、明らかである。鰓蓋の切断は、再生があつても、往々不 完全な再生状態を示すが、その初めの切断の程度により完全な再生をなすものがある。何れに しても、標識(切断)は完全に切断することが肝要なことである。

d) 食性に関する調査

道立孵化場において昭和28年春,本道沿岸で採集した標本並に本年度稚魚生態調査に採集した標本について目下検討中である。

Ⅱ一④ 親魚の生態調査

a) 種族系統調查

道内主要河川8ヵ川を選定し、水産庁調査研究部との協定測定法にもとづき 1ヵ川 100 尾の抽出測定を行つた。

調査河川 知内川,遊楽部川,千才川,石狩川,常呂川,薫別川,西別川,十勝川 測定部位 全長,体長,フォークレングス,頭長吻端~背鰭の起部末端迄,吻端~脂鰭起部 末端迄,鰓耙数測鱗数,背椎骨数,採鱗,採骨

測定資料は現在整理中であるが各河川間の相違を個々の測定資料をもつて,統計的に分析し, なお又採取せる鱗より成長度分析との相関々係を追求し,その河川独自の種なるものか,或は 又同一群団の分れたものか追求する。

なお又北洋の白鮭との関係については、水産庁調査研究部より資料を譲渡或は発表データを 基礎にして究明する。

b) 漁獲物組成調查

道内各河川或は沿岸で漁獲される鮭, 鱘親魚の組成 (年令, 体長, 体重組成) を調べ漁獲統計分析, 或は生態調査の基本資料とするため, 従来より鋭意資料の蒐積を計つて来た。

今回ここに、昭和27年度、28年度の主なる河川の年令組成を示すと、下表の通りである。な お体長組成又それを基にした分析結果は後日報告する。29年度分は目下整理中である。

年度	河	Ж	名	標本数	2 年 魚	3 年 魚	4 年 魚	5 年 魚	6 年 魚
	知	内	Щ	177	0	58 (32.8)	35 (19.8)	84 (47.4)	0
27	遊	楽 部	ДЦ	627	(0.3)	165 (26.3)	199 (31.7)	261 (41.6)	0 0
	石	狩	Щ	447	44 (9.8)	143 (32.0)	209 (46.8)	51 (11.4)	0 0
年	天	塩	Щ	109	4 (3.7)	20 (18.3)	74 (67.9)	11 (10.1)	0 0
度	常	呂	Щ	_	 -		_	_	0
	西	別	别 川 78			25 (32.0)	47 (60.3)	6 (7.7)	0 0
	+	勝	Щ	553	4 (0.7)	152 (27.5)	28.7 (51.9)	110 (19.9)	0 0

年度	河	Л	名	標本数	2 年 魚	3 年 魚	4 年 魚	5 年 魚	6 年 魚
	931	内	Щ	176	0 0	117 (66.5)	56 (31.8)	3 (1.7)	0
28	遊	楽 部	Ш.	26	0 0	(7.7)	24 (92.3)	0	0
	石	犲	Ш	3 66	(0.3)	189 (51.6)	11.5 (31.4)	59 (16.1)	2 (0.6)
年	天	塩	Ш	85	0 0	46 (54.1)	34 (40.0)	5 (5.9)	3 (5.0)
度	常	呂	Щ	383	0 0	86 (22.4)	280 (73.1)	15 (4.2)	(0.2)
	西	别	Ш	211	0 0	3 9 (18 . 5)	128 (60.7)	44 (20.8)	0 0
		朥	Ш	271	(0.4)	71 (26.2)	164 (60.5)	35 (12.9)	0 0

註 () 内は%を示す。

Ⅲ 環境並に障害に関する調査試験

食害調査

1953年秋より行つた西別川虹鱏生態調査は1954年8月を除き、鮭稚魚放流期より9月、10月の鮭捕獲期迄継続実施したので、その期間中に採集された標本について、概記するものである。先づこの約40里にわたる河川において、鮭卵及び鮭の稚魚を捕食する所謂害魚は、虹鱏、イトウ、ウグイ、アメマス、ヤマベの5種類である。今まで行つた釣が西別川害魚の資源を代表したよい方法では決してないが、そのいくつかが満足しているとするならば、虹鱏が鮭卵にとつて最も害があるようである。雨鱘は数が少いので除いた。次に春季稚魚放流期における稚魚捕食量と秋季鮭卵捕食量を見るのに各地区により多少異なるが鮭稚魚が鮭卵の被害より多いとは云はれない。これは鮭卵の被害と鮭稚魚の被害とは共に連続するものではあるが、それを考察判断する場合には完全に分けるべき項目である等は、論ずるまでもない。

次に各地区における1954年度の採集魚を 100 とした比率を見ると、次の如くである。

	1	虹 別		ŧ	t X	西	春 別	地 区	中西别地区						
	月別	稚食	魚尾	捕数	稚魚非捕食 尾 数	月別	唯 魚 捕食 尾 数	雅魚非捕	月別	稚 魚 捕食 尾 数	稚魚非捕食 尾 数				
奢	4月		24.	% 24	7 5.76	4.5月	5.36	94 .64	-		_				
~Er 	5月		6.	38	93.62	6.7月	4.69	95.31	-						
秋	9.10月		11.9	94	88.07	9月	43.33	56 .67	9月	33.06	65.94				
174				_		10月	56.25	43.75	10月	37.13	62.82				

₩ 支笏湖の調査

昭和28年道立水産孵化場と共同して行つた施肥試験の結果を引続き観察した結果として本年の

プランクトンの発生状態は、良好であり、春季より植物プランクトン melosira italica が増加し、それに引続き夏期には甲穀類プランクトン中 Bosmina coregoni, Daphnia longiopina (姫鰐軒プランクトン) が急増しかつて本湖で重要な姫鰐餌料プランクトンであり数年来極減して採集されなかつた甲穀類 Acanthodaptomus pacificus も夏季若干採集された。その後もDaphnia longiopina は、かなりの量出現している。

なお昭和29年夏季姫鱒の消化管内容物の観察によると27年,28年にはほとんど、空胃のものが多かつたが29年夏頃のものは Daphnia longisprina を飽食しているものが多く、従つて本年度秋の姫鰐親魚は平均体長♀24.07cm、δ24.00cmと前年度同時期の親魚平均体長♀20.27cm、δ19.88cmに比較して体長において♀、δ 共 4 cm内外大型となり1 尾当り、採卵数も前年度1 尾当り179粒に比較して204粒と増加していた。

網はずれ魚調査

かなり以前からこのことについては、色々と云われていたが、特に最近本道近海河川で問題化されて来た。

これは遠くは、北方漁場及び近海漁場における刺網流網による傷魚のことである。その結果 各地より集つた資料を基礎として1954年度分について、報告のあつたもののみ簡単に 報告 す る。大まかに見て、傷魚の傷の程度及びその鱗の有無状況よりして、沖合、沿岸、河川の魚網 3つに分けられるように思う。次に各地よりの報告にのつとり、調査日、合計、捕獲数に対す る網はずれ魚の%は次の通りである。

支場名	I	天 塩 支							場	管	内					北見	支場"	
	徳	志)	别门	11	屯	别		Щ	天	塩		幌	510		<u> </u>	谫	别	Л
月	網はずれ無	%	摘	要	網はずれ魚	%	摘	要	網はずれ魚	%	摘要	網はずれ無	%	摘	要	網はずれ魚	%	摘要
7月	4	2	棒力	(鱒	1	17	桜	龥	_	_		6	6	樺	太	8	6	
8月	14	5	,	,	40	30	棒	太鹏		-		8	8		"	8	2	
9月	8	15	/	,	5	15 35		// 注	9	2 6	鮭	16	3	É	ø	7	1	
10月		_			32	14	•	″	81	2	"	7	4	•	"	[4	0.5	
11月		_			. 2	40	,	"	21	6	"	<u> </u>	-			23	0.2	
12月	-	-			<u> </u>	_			_				_				_	
at	_	46	鮭に当た			20	3 (1)	の計	† <u> </u>	2.5	桜,棒 診 当なし		7	健, 計	樺の		0.3	

支場名	渡阜	支发	易管	内	十勝	根室			支	支 場 管				千才支場管内					
	厚	沢	部	Ш	別變	辺	牛	711	植	別		川_	上忠	類		Ш	元	浦	
月	網はずれ魚	%	摘	要	網はずれ魚	%	摘	要	網はずれ魚	%	摘	要	網はずれ魚	%	摘		網はずれ_魚	%	摘要
7月月月 10月月 11月月 12月 計	2	20		ŧ	1	10	ź	進	77	- 9 - - - - 9	棒	太觸	60	- 30 - - - 30	樺	太網	1	50 20 20	

- 78 -

註 天塩支場管内, 信砂, 暑寒別川には該当魚なし渡島支場管内, 長万部川(4) 利別川(2) ある も捕獲尾数不明に付き未調査

千才支場管内, 白老川, 敷生川には該当魚なし。

斯る調査は長期間の正確な資料収集が必要であるから今後も継続して行う。

Ⅴ 支場における試験

(1) 鮭稚魚の共食いに関する試験(十勝支場)

孵出した稚魚を養魚池内に飼育する際に、孵出期の相当異つたものの混養を余儀なくされる場合があるがこの時に生ずる共食による減耗の実態調査を行つた結果下記事項が稍々明瞭となったので、今後の稚魚飼育に対する有効な資料を得た。

- (a) 孵出直後の稚魚と腹中線縫合直前の稚魚を1間槽に夫々200尾宛混養して飼育試験したところ放流適期までに前者は後者に全数食害される。
- (b) 孵出直後の稚魚と浮上開始前(約6~7割臍嚢吸収したもの)の稚魚を混養した場合 17日目までに、前者は30%の食客減耗を生じた。
- (2) 電光管利用の鮭鱒親魚涌渦記録試験(根室支場)

河川に**诉上す**る鮭**鱘親**魚の通過数を自然のままで正確に記録出来得るとすれば,事業面,調 **査面に益すること甚大であり,これを電光の利用によつて記録装置の完成を根室支場において 試みた。**

この原理は一定の水中区間を常時電光を照射し、この区間を通過する魚体によつて、光線が 遮断されるために、電流変化を生じての変化が電光の照射を受けている継電器に影響して直結 してある度数計に刻々断続の印が現はれて通過尾数が自動的に示されることになる。

以上の実験は数回に亘つて行われた結果、狭い水中区間で、混流物のない水中では稍々正確 な済上数を得るに至つたが、未だ六区域で且つ混流物の多い天然河川中の記録は困難であり、 今後更に研究の要がある。

(3) マラカイト・グリーンの消毒が鮭稚魚に及ぼす影響について(根室支場)

マラカイト・グリーンが鮭鱒卵子の孵化過程中の消毒に著しく効果があることが認められ, 広く使用されているが、消毒後の溶液が直接養魚池に注水して、養魚池用水と混流する場合に これに飼育中の稚魚に如何なる影響を与えるものであるかを究明するため今年度本試験を行つ て下記概要の結果を得た。

鮭稚魚をマラカイト・グリーン溶液に浸漬した場合は,鰓耙より血液内の赤血球が汚濁され, 魚体内の未分化組織に障害を与え赤血球が汚濁される場合濃度が1/20万より大なるときは色素 がとれなくなつて毒性を表はし、解毒の期間は、濃度に比例し、浸漬回数が反復されるにつれ て魚体内の組織にマラカイト・グリーンの蓄積が増加し遂に斃死する。又反復浸漬が終つた後 解毒作用が進んで発育する稚魚においても成長は対照魚より著しく遅れる。

以上のことより養魚池内においては1/40万以下の濃度にしなければ、稚魚誘死の原因になると思はれるが、更に溶液の濃度、浸水時間、稚魚の成長区分等については今後継続試験を必要

12. 総 括

- (1) 鮭総捕獲数は、385,796尾であつて、過去5カ年平均数に比べて32,416尾の上昇を示した。
- (2) 鮭総採卵数334,235,460粒の最高の成績を示し、過去5ヵ年平均採卵数に比べて96,985,800 粒の上昇を示した。
- (3) 鮭雌, 親魚使用率は76.2%を示し、これを過去5 カ年平均数に比べると19.6%の上昇を示した。
- (4) 桜鱒総捕獲数は8,773尾であつて、過去5カ年平均に比べると16,964尾の減少を示した。
- (5) 桜鰐採卵数は9,314,930粒で、過去5カ年平均に比べると1,472,260粒の減少を示した。
- (6) 桜鱒雌親魚使用率は74.3%で過去5カ年平均より33.4%上昇した。
- (7) 樺太鰐総捕獲数16,619尾で,過去5カ年平均に比べて84,667尾の減少を示した。
- (8) 樺太鱘採卵数7,745,120粒で、過去5カ年平均に比べて17,907,090粒の減少を示した。
- [9] 樺太鰐雌親魚使用率は68.0%で、過去5カ年平均に比べて23.6%の上昇を示した。
- [10] 鮭鱒蓄養個所数は,158個所で,使用面積は25,847坪であり,構造としては,二重留が圧倒的に多く,全体の81.3%を占め,用水は河川水が93.3%で139個所を示した。
- [1] 鮭親魚蓄養成績は、雌蕎養率74.6%、雌親魚催熟率83.7%であつた。
- [12] 桜鱒親魚蓄養成績は、雌蓄養率86.4%、雌親魚催熟率は78.4%であつた。
- (13) 樺太鱘親魚蓄養成績は、雌蓄養率91.7%、雌親魚催熟率は、74.1%であつた。
- (14) 鮭移殖総卵数は,85,881,150粒で,その中支場区域内の移殖は,57,434,050粒であつた。
- (15) 雌親魚の完全使用に最善の努力を払い上昇せしめた。
- (16) 石狩捕獲場においては,多数の不受精卵を出し,又幕別事業場では多数の斃死稚魚を出したがこの原因については目下究明中である。
- (17) 鮭鱗綜合調査の第1年目にあたり実施した事項は次の通りである。

記

- 1) 天然藩殖に関する研究
- 2) 鮭鱒稚魚の標識放流試験
- 3) 鮭親魚の標識放流試験
- 4) 稚魚の生態調査
 - a. 移動に関する調査
 - b. 成長鱗相に関する研究
 - c. 標識部位に関する研究
- 5) 親魚の生態調査
 - a. 種属系統調查

- b. 漁獲物組成調查
- 6) 虹顱食害調查
- 7) 支笏湖の調査
- 8) 網はずれ魚調査
- (18) 支場において実施したもの次の通りである。
- 2) 光電管利用の鮭鱘親魚通過数記録装置
- 3) マラカイト・グリーンの消毒が鮭稚魚に及ぼす影響について

昭和31年1月31日 昭和31年2月15日

発 行 所 水産庁北海道さけ・ますふ化場

札幌市外中の島

印刷所 岩橋 印 刷 株 式 会 社 札幌市北大通西九丁目